

Xenon™ 1950g/1952g, 1950h/1952h, 1952g-BF/1952h-BF

エリアイメージングスキャナ

ユーザーズガイド

免責事項

Honeywell International Inc. (以下“ハネウエル社”)は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウエル社にお問い合わせください。本書の情報についてハネウエル社では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、ハネウエル社では一切の責任を負いません。意図した結果を得るためのソフトウェアやハードウェアの選択と使用のすべての責任をハネウエル社は負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、ハネウエル社の文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

ã 2010-2015 Honeywell International Inc. All rights reserved.

Web アドレス : www.honeywellaidc.com

Microsoft® Windows®, Windows NT®, Windows 2000, Windows ME, Windows XP、ならびに Windows ロゴは Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有です。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

著作権については、www.hsmpats.comを参照してください。

目次

第 1 章 - はじめに

本マニュアルについて	11
製品の開梱	11
接続	11
USB接続	11
キーボードウェッジ接続	13
RS232シリアルポート接続	14
RS485接続	16
CCB10(11)-010BT-07N / CCB13(14)-010BTの設置	17
読み取り方法	19
メニューバーコードのセキュリティ設定	19
カスタムデフォルトの設定	19
カスタムデフォルトの再設定	20

第 2 章 - インターフェースの設定

はじめに	21
インターフェースのプログラム設定- プラグ&プレイ	21
キーボードウェッジ	21
ノート型PCとの直接接続	21
RS232シリアルポート	21
RS485	22
USB IBM SurePos	22
パソコンUSBもしくはマッキントッシュのキーボード	23
USB HID	23
USB シリアル	23
CTS/RTS エミュレーション	23
ACK/NAK モード	23
Verifone® Ruby 端末の初期設定	24
Gilbarco® 端末の初期設定	24
Honeywell 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定	24
Datalogic™ Magellan® 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定	24
Wincor Nixdorf 端末の初期設定	25
Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定	25
Wincor Nixdorf RS232 モードA	25
国別キーボード	26
キーボードスタイル	33
キーボードの変換	34
コントロールキャラクタの出力	35
キーボード設定	35
RS232 モディファイ	36
RS232 ボーレート	36
RS232 ワード長 : データビット・ストップビット・パリティ	38
RS232 レシーバタイムアウト	39
RS232 ハンドシェイク	39
RS232 タイムアウト	41
XON/XOFF	41

ACK/NAK.....	41
スキャナから2面式カウンタースキャナへの通信	42
2面式カウンタースキャナパケットモード	42
2面式カウンタースキャナ ACK/NAK モード	42
2面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウト	42

第 3 章 - コードレスシステムの操作

コードレスチャージベース/アクセスポイントの仕組	43
スキャナとコードレスチャージベースの接続	43
スキャナとアクセスポイントの接続	44
リンクされたスキャナの交換	44
コードレスシステムとホストデバイス間の通信	44
スキャナとコードレスベースユニットまたはアクセスポイントのプログラム	45
RF (無線周波) モジュールの操作	45
システム条件	45
通信プロセス	46
スキャナが通信可能範囲外にあるとき	46
スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき	46
バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り	46
ページ (呼出し) ボタン	46
バッテリーについて	48
充電について	48
バッテリーについての推奨事項	48
バッテリーの適切な処分	48
ブザー・LEDのシーケンスと意味	49
スキャナのLEDシーケンスと意味	49
コードレスベースユニット/アクセスポイントのLEDシーケンスと意味	50
コードレスベースユニットパワー/通信インジケーター	50
スキャナのリセット	52
コードレスベースユニット上での読み取り	52
コードレスベースチャージモード	53
ページング (スキャナの呼び出し)	54
ページングモード (スキャナの呼び出し)	54
ページング (呼び出し) 音の音程	54
エラーインジケーター	55
ブザー音の音程 : コードレスベースユニットのエラー発生時	55
ブザー音の回数 : コードレスベースのエラー発生時	55
スキャナレポート	55
スキャナのアドレス	56
コードレスベースまたはアクセスポイントのアドレス	56
スキャナモード	56
充電限定モード	56
通信モード	56
スキャナとの通信解除	57
通信固定されたスキャナの上書き	57
通信範囲外アラーム	57
アラーム音の種類	58
スキャナパワータイムアウトタイマー	59
出力管理 (フレキシブルパワーマネージメント)	60
バッチモード	61
バッチモード : ブザー音	62
バッチモード : 保存形式	62
バッチモード : 個数	62
バッチモード : 出力順序	64
レコードの合計件数	64
最後のコードを削除	64

すべてのコードを削除	65
保存したデータをホストシステムへ送信	65
バッチモード：送信ディレイ（間隔）.....	65
複数スキャナでの操作	65
スキャナ名.....	66
アプリケーションワークグループ	66
アプリケーションワークグループセレクション	66
初期設定へのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ	66
カスタムデフォルトへのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ	68
Bluetooth 対応機器との併用	68
Bluetooth Secure Simple Pairing (SSP)	68
Bluetooth HID キーボード接続.....	69
バーチャルキーボード	69
Bluetooth HID キーボード通信切断	70
Bluetooth シリアルポート：デスクトップ型PC/ノート型PC	70
PDAやモバイルデバイスとのコードレスベースなしBT接続	71
スキャナのBluetooth 暗証コード変更.....	71
Bluetooth/ISM 帯域ネットワーク干渉の最小化	71
自動再接続モード.....	71
再接続試行回数	73
再接続タイムアウト.....	74
Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例	74
ホストコマンドの認知	75

第 4 章 - 入力・出力設定

起動ブザー.....	77
BELブザー	77
トリガークリック音	78
読み取り成功インジケータ	78
ブザー：読み取り成功時.....	78
ブザーの音量：読み取り成功時.....	78
ブザーの音程：読み取り成功時.....	78
振動：読み取り成功時	79
ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時.....	79
ブザーの長さ：読み取り成功時.....	80
LED：読み取り成功時	80
ブザーの回数：読み取り成功時.....	81
ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時.....	81
ブザー音最大.....	81
読み取り成功ディレイ	81
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	82
マニュアルトリガーモード	82
LED照明：マニュアルトリガーモード	83
シリアルトリガーモード.....	84
読み取りタイムアウト	84
プレゼンテーションモード	85
LED照明：プレゼンテーションモード.....	85
読み取り後のプレゼンテーションLEDの動作.....	85
プレゼンテーション感度.....	85
プレゼンテーションセンタリング	85
スタンド使用時のセンサーモード	87
CodeGate®	88
ストリーミングプレゼンテーション™ モード	88
スタンド使用時のストリーミングプレゼンテーション設定	89
携帯端末読み取りモード.....	89
ハンズフリータイムアウト	89

再読み取りディレイ	89
ユーザー定義の再読み取りディレイ	90
2D読み取りディレイ	90
キャラクタ有効化モード	90
アクティベーションキャラタ	90
読み取り成功後の終端文字有効化	91
キャラクタ無効化モード	91
無効化キャラタ	92
照明設定	92
エイマーディレイ	92
ユーザー定義のエイマーディレイ	92
エイマーモード	92
センタリング	93
優先シンボル	94
高優先度シンボル	95
低優先度シンボル	95
優先シンボルのタイムアウト	96
優先シンボルの初期設定	96
アウトプットシーケンスの概要	96
アウトプットシーケンスエディタ	96
アウトプットシーケンスを追加する	96
他のプログラム設定	97
アウトプットシーケンスエディタ	97
パーティシャルシーケンス	100
アウトプットシーケンス要求	102
複数シンボル	103
No Read	103
ビデオリバース（反転コード）	103
ワーキングオリエンテーション	104

第 5 章 - ヘルスケア設定

クワイエットオペレーション- コンビネーションコード	106
LED 点滅消音モード	106
長いLED 消音モード	106
超小音量（夜間モード）	106
小音量（昼間モード）	107
一時的ストリーミングプレゼンテーションタイムアウト	107
クワイエットオペレーション- LEDとボリューム設定	107
LEDの色と音のリンク	107
LED点滅回数	107
LED点滅間隔	108
LED Solid (LED 固定、点滅なし)	108
呼び出し音制御	108
通信範囲外アラーム	109
範囲外アラームディレイ	109

第 6 章 - データ編集

プリフィックス／サフィックスについて	110
プリフィックスまたはサフィックスの追加手順	110
1つまたはすべてのプリフィックスまたはサフィックスの削除	111
キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する	111
プリフィックスの設定	111
サフィックスの設定	112
ファンクションコード送信	112
キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ	112

キャラクタ間ディレイ（間隔）.....	112
ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ（間隔）.....	113
ファンクション間ディレイ.....	113
メッセージ間ディレイ.....	114

第 7 章 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて.....	115
データフォーマットの追加.....	116
他のプログラミング設定.....	117
ターミナルIDテーブル.....	117
データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）.....	117
送信コマンド.....	117
移動コマンド.....	118
検索コマンド.....	118
その他のコマンド.....	119
データフォーマット.....	127
データフォーマット非適合エラーブザー.....	128
基準/ 代用データフォーマット.....	128
データフォーマットの切り替え.....	129

第 8 章 - シンボル

すべてのシンボル.....	132
読み取り桁数について.....	132
Codabar(NW7).....	133
Codabar(NW7)の連結.....	134
Code 39.....	135
Code 32 Pharmaceutical (PARAF).....	138
Full ASCII.....	138
Code 39 コードページ.....	139
Interleaved 2 of 5.....	139
NEC 2 of 5.....	141
Code 93.....	141
Code 93 コードページ.....	142
Straight 2 of 5 Industrial (3バースタート/ ストップ).....	143
Straight 2 of 5 IATA (2バースタート/ ストップ).....	143
Matrix 2 of 5.....	144
Code 11.....	144
Code 128.....	145
ISBT 128 連結機能.....	145
Code 128 コードページ.....	147
GS1-128.....	147
Telepen.....	148
UPC-A.....	149
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13.....	151
クーポンGS1データバー出力.....	151
UPC-E0.....	152
UPC-E1.....	154
EAN/JAN-13.....	155
クーポンGS1データバー出力.....	159
ISBN 変換.....	160
EAN/JAN-8.....	161
MSI.....	163
GS1 データバー標準型設定（オムニディレイクショナル）.....	165
GS1 データバー限定型（リミテッド）.....	165
GS1 データバー拡張型（エクспанデッド）.....	166

Triopticコード	166
Codablock A	167
Codablock F	167
ラベルコード	168
PDF417	169
MicroPDF417	169
GS1コンポジットシンボル	169
UPC/EAN バージョン	171
GS1エミュレーション	171
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	172
QRコード	172
QRコードページ	172
Data Matrix	176
Data Matrixコードページ	176
Maxiコード	177
Aztecコード	178
Aztec コードページ	178
中国郵便コード (漢信コード)	179
2次元郵便コード	180
2次元郵便コード (単独)	180
2次元郵便コード (組み合わせ)	181
1次元郵便コード	184
中国郵便コード (香港 2 of 5)	184
韓国郵便	185

第 9 章 - イメージングコマンド

シングル使用ベース	186
コマンドシナタックス	186
イメージスナップ : IMGSNP	186
IMGSNP モディファイヤ	186
画像送信 - IMGSHIP	188
IMGSHIP モディファイヤ	188
インテリジェント署名取り込み - IMGBOX	196
署名取り込みの最適化	196
IMGBOX モディファイヤ	197
RF 初期設定のイメージングデバイス	199

第 10 章 - インターフェースキー

キーボードファンクションの関係	200
サポートされているインターフェースキー	201

第 11 章 - ユーティリティ

すべてのシンボル体系へのテストコードID プリフィックス追加	202
デコーダーの改訂情報の表示	202
ドライバーの改訂情報の表示	202
ソフトウェアの改訂情報表示	202
データフォーマットの表示	202
テストメニュー	202
TotalFreedom (トータルフリーダム)	202
プラグインアプリケーション	203
EZConfig について	203
ウェブサイトからのEZConfig のインストール	203
標準の製品初期設定へのリセット	205

第 12 章 - シリアルプログラミングコマンド

記述上の語句.....	206
メニューコマンドシンタックス（構文）.....	206
質問コマンド.....	208
レスポンス.....	209
トリガーコマンド.....	209
標準の製品初期設定へのリセット.....	209
メニューコマンド.....	210

第 13 章 - 製品仕様

Xenon 1950/1950h スキャナ製品仕様.....	245
Xenon 1952スキャナ製品仕様.....	246
チャージャーコードレスベース製品仕様.....	248
読取深度.....	250
Xenon スキャナ標準性能.....	250
Xenon スキャナ保証性能.....	250
標準ケーブルのピン配.....	252
キーボードウェッジ.....	252
シリアル出力.....	252
RS485 アウトプット.....	253
USB.....	253
必要な安全ラベル.....	253

第 14 章 - 保守

修理.....	256
保守.....	256
機器の清掃.....	256
ウィンドウの清掃.....	256
ヘルスケアハウジング（殺菌洗浄可能ハウジング）について.....	256
ケーブルとコネクタの点検.....	257
スキャナのインターフェースケーブルの交換.....	257
Xenon スキャナのインターフェースケーブルの交換.....	257
コードレスシステムのケーブルおよびバッテリーの交換.....	257
コードレスベースユニットのインターフェースケーブルの交換.....	257
Xenon スキャナバッテリーの交換.....	258
スキャナのトラブルシューティング.....	258
コードレスシステムのトラブルシューティング.....	259
コードレスベースユニットのトラブルシューティング.....	259
コードレススキャナのトラブルシューティング.....	259

第15 章 カスタマーサポート

テクニカルサポート.....	261
製品のサービスと修理.....	261

付録 A - 付録チャート

シンボルチャート.....	263
リニアシンボル.....	263
2次元シンボル.....	264
郵便シンボル.....	265
ASCII 換算チャート (Code Page 1252).....	265
下位 ASCII R リファレンステーブル.....	266
ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換.....	269
キーマップ.....	272

サンプルシンボル

プログラミングチャート

はじめに

本マニュアルについて

本書では、Xenon™ 1950 と1950h エリアイメージングスキャナならびに Xenon1952コードレスエリアイメージングスキャナの使用方法と設定の手順について説明しています。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

ハネウェル社のバーコードスキャナは、工場出荷時に一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定 変更が必要な場合は、本書記載のバーコードを読み取ってプログラム設定をしてください。

アスタリスク（*）が付いているオプションは工場出荷時の設定を示しています。

製品の梱包

梱包箱開封後、以下の手順に従ってください。

- 輸送中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配送した運送会社に連絡してください。
- 箱の中身に間違いがないか確認してください。
- 返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

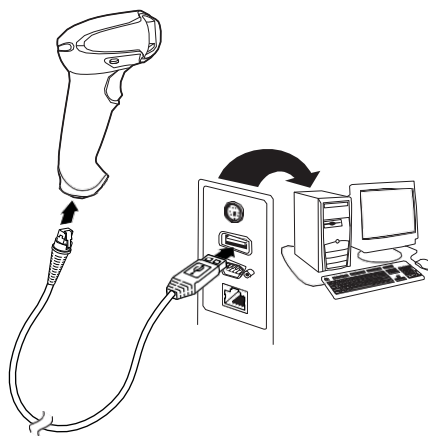
接続

USB接続

スキャナもしくはコードレスベースをホストデバイスのUSB ポートに接続します。

1. まず、適切なインターフェースケーブルとスキャナを接続し、次にホストデバイスと接続します。

Xenon1950 コード付きスキャナのUSB接続



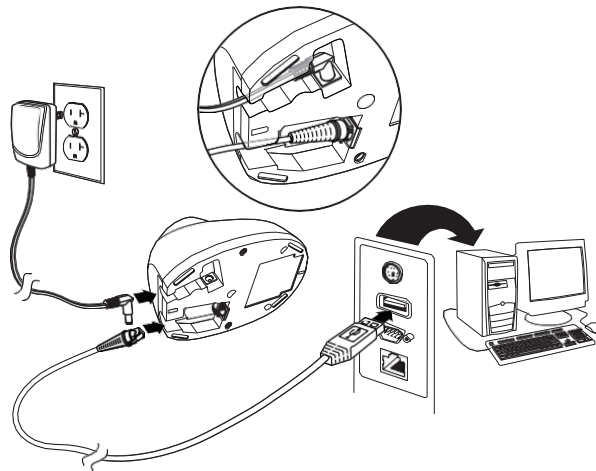
注意：必要な場合、Honeywell製ACアダプタを別途購入してください。

2. コードレスベースに接続する場合、ケーブルがコードレスベースの底部にあるコネクタ部に接続され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認をします。
3. スキャナからピーツという起動音がします。
4. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。

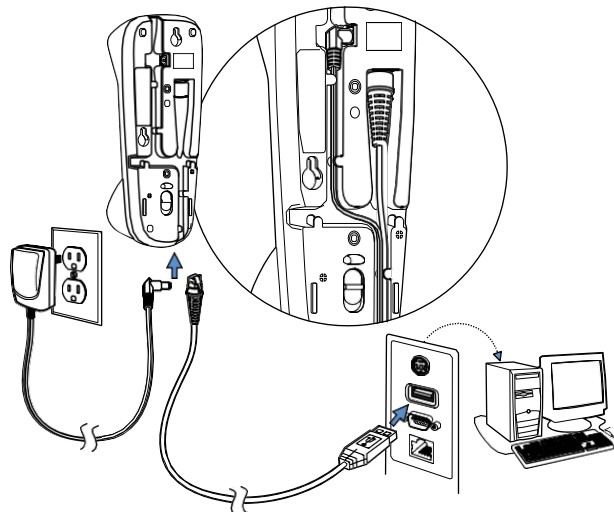
この機器は PC USB キーボード用に初期設定されています。その他のUSB 端末との接続については 21 ページを参照してください。

その他の USB のプログラム設定と技術情報については、ウェブサイト www.honeywellaidc.com の『USB Application Note』(USBアプリケーションノート) をご参照ください。

コードレスベースCCB10(11)-010BT-07NのUSB接続



コードレスベースCCB13(14)-010BT-07NのUSB接続



注意：必要な場合、Honeywell製ACアダプタを別途購入してください。

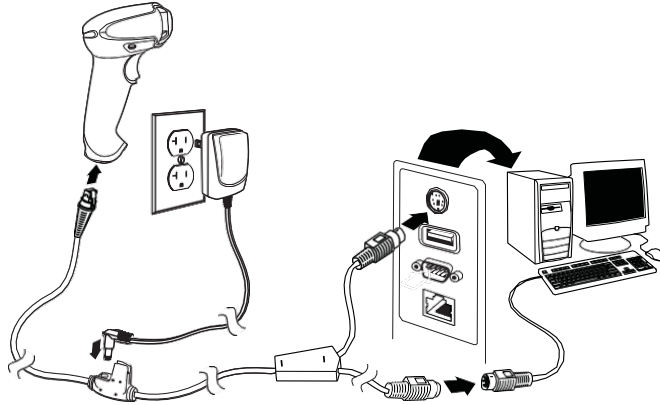
キーボードウェッジ接続

スキャナもしくはコードレスベースはキーボードとホストデバイスの間をキーボード入力と同様にスキャナがデータ出力をするキーボードウェッジで接続ができます。

以下は、キーボードウェッジ接続の一例です。

1. ホストデバイスの電源をオフにし、裏側のキーボードケーブル接続をはずします。
2. 適切なインターフェースケーブルをスキャナおよびホストデバイスに接続します。

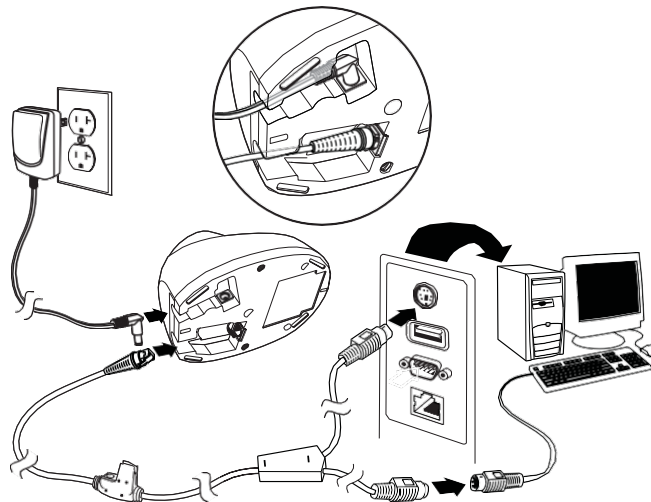
Xenon1950コード付きスキャナのキーボードウェッジ接続

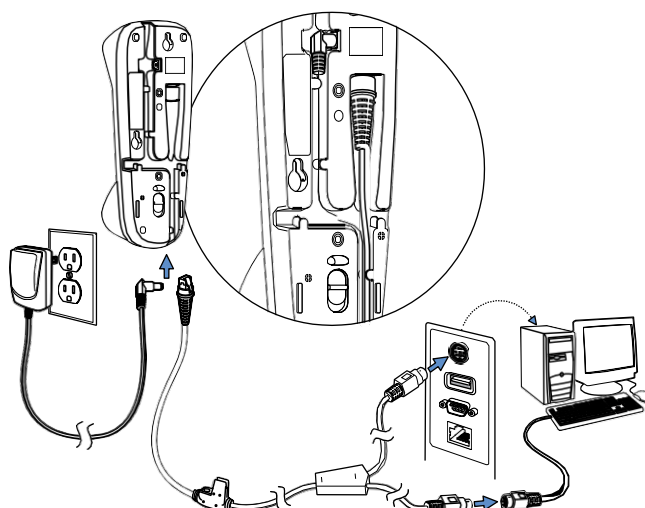


注意：必要な場合、Honeywell製ACアダプタを別途購入してください。

3. コードレスベースに接続する場合、ケーブルがコードレスベースの底部にあるコネクタ部に接続され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。

コードレスベースCCB10(11)-010BT-07Nのキーボードウェッジ接続





コードレスベースCCB13(14)-010BT-07Nのキーボードウェッジ接続

4. 端末／コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーツという起動音がします
5. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ビープ音が鳴ります。

お使いのスキャナもしくはコードレスベースは、IBM PC AT でのUSA キーボードウェッジインターフェース用に設定されています。バーコードデータにはキャリッジリターン（CR）サフィックスが付加されます。

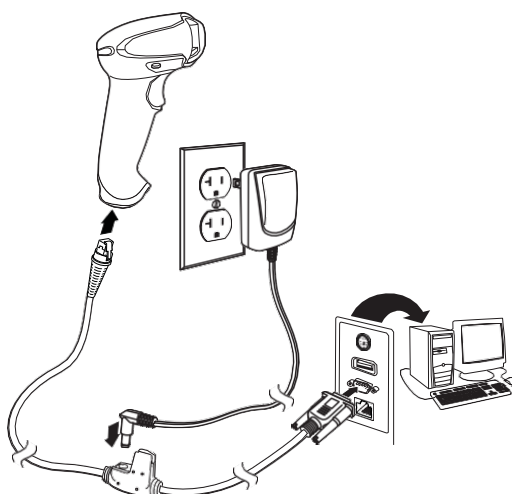
RS232 シリアルポート接続

1. 端末／コンピュータの電源をオフにします。
2. 適切なインターフェースケーブルをスキャナに接続します。

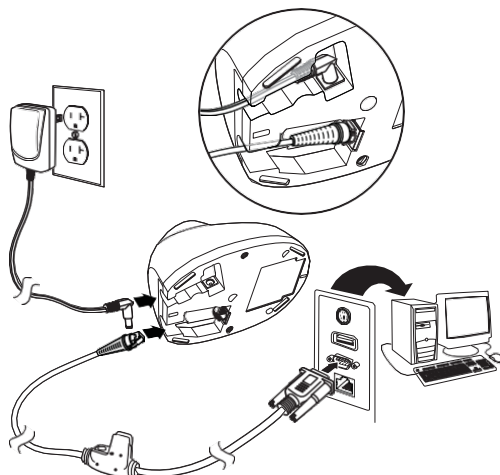
注意： スキャナもしくはコードレスベースが正常に作動するようにお使いのホストデバイスに適したケーブルをご用意ください。

3. コードレスベースに接続する場合、ケーブルがコードレスベースの底部にあるコネクタ部に接続され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。

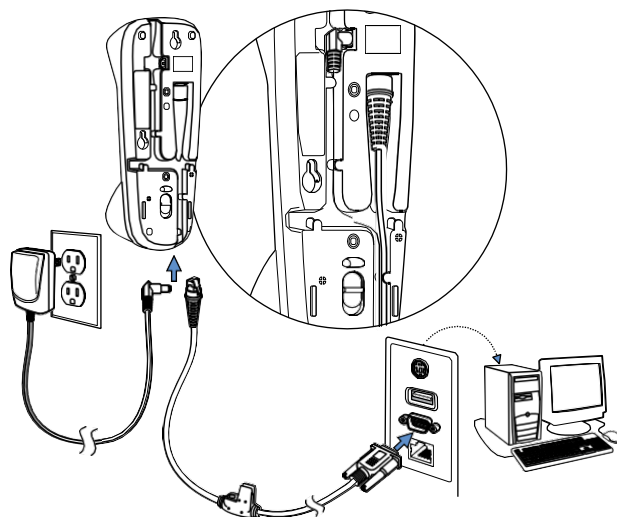
Xenon1950コード付きスキャナのRS232シリアルポート接続



コードレスベースCCB10(11)-010BT-07NのRS232シリアルポート接続



コードレスベースCCB13(14)-010BT-07NのRS232 シリアルポート接続



注意：必要な場合、Honeywell製ACアダプタを別途購入してください。

4. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。2本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
5. スキャナもしくはコードレスベースの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。

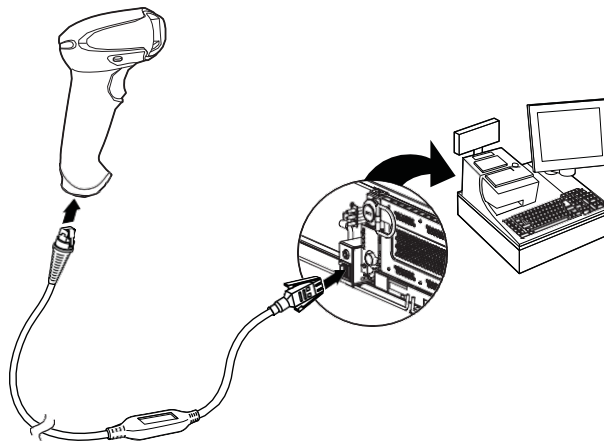
このインターフェースはボーレート 115,200 、8 データバイト、パリティ無し、1 ストップビットに設定されています。

RS485 接続

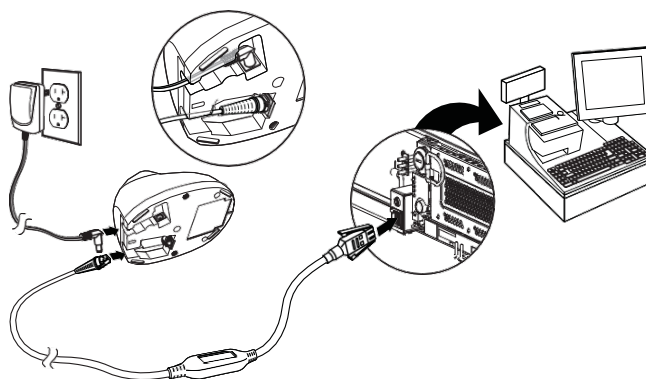
スキャナまたはコードレスベースを IBM POS 端末と接続します。

1. まず、適切なインターフェースケーブルをスキャナ/コードレスベースに接続した後、ホストデバイスに接続します。

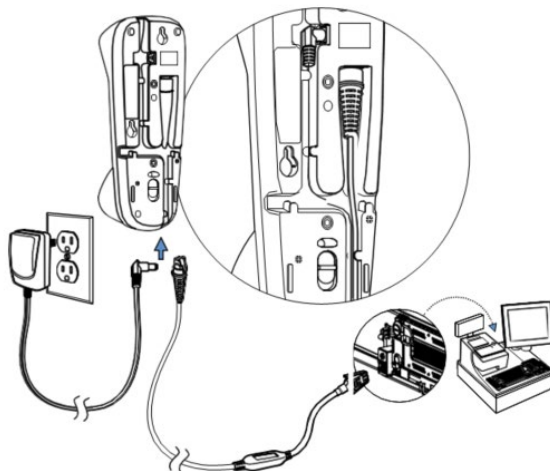
Xenon1950コード付きスキャナのRS485接続



コードレスベースCCB10(11)-010BT-07NのRS485接続

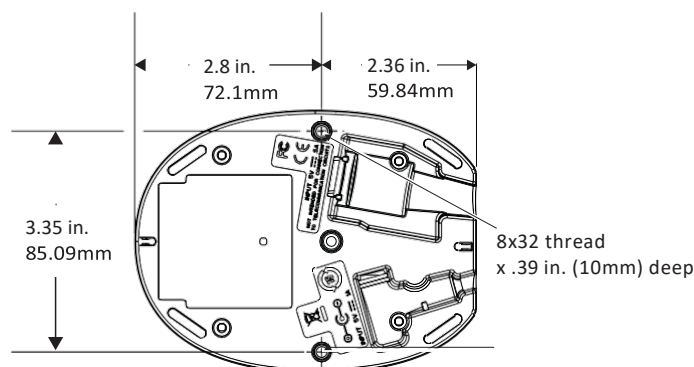


コードレスベースCCB13(14)-010BT-07NのRS485接続



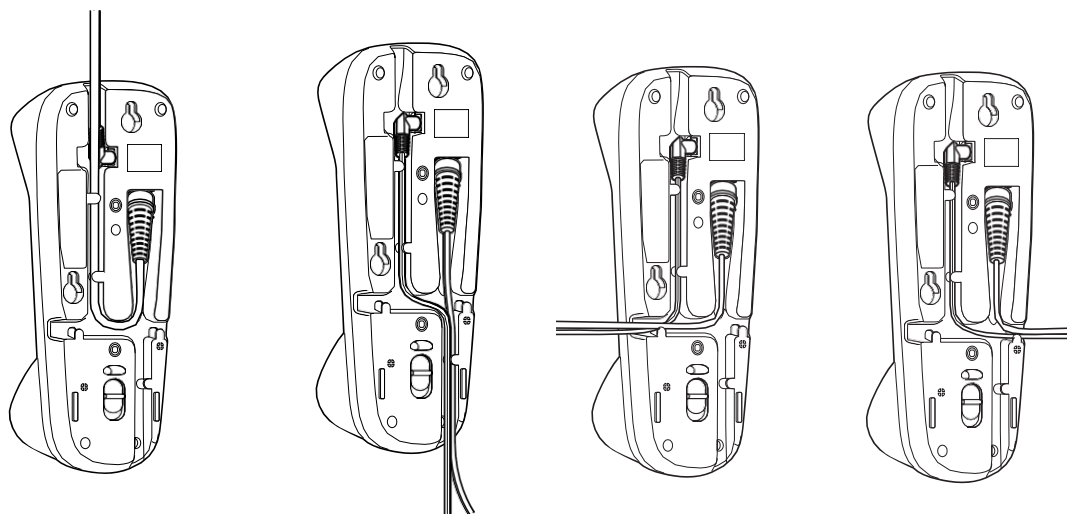
2. コードレスベースに接続する場合、ケーブルがコードレスベースの底部にあるコネクタ部に接続され、コードレスベースが水平な台の上になすぐ置かれているか確認します。
3. 端末／コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーツという起動音がします。
4. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ピーブ音が鳴ります。

CCB10(11)-010BT/CCB10-010BT-BFの設置

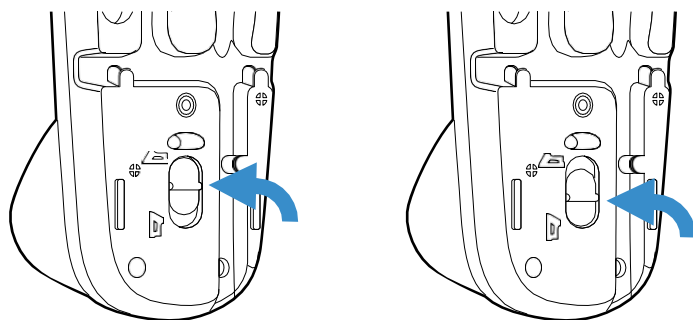


CCB13(14)-010BT/CCB13(14)-010BT-BFの設置

コードレスベースCCB13(14)-010BT/CCB13(14)-010BT-BFは水平面または垂直面のどちらからでも設置できます。ケーブルはコードレスベースの上面または底面のどちらからでも配線可能です。



垂直面に設置する場合、ロッキングシステムでスタンドに置いたスキャナを保護します。水平面に設置する場合、ロッキングを解除にセットしてください(上に押し込む)。垂直面に設置する場合、ロッキングをオンにしてください(下に押し込む)。

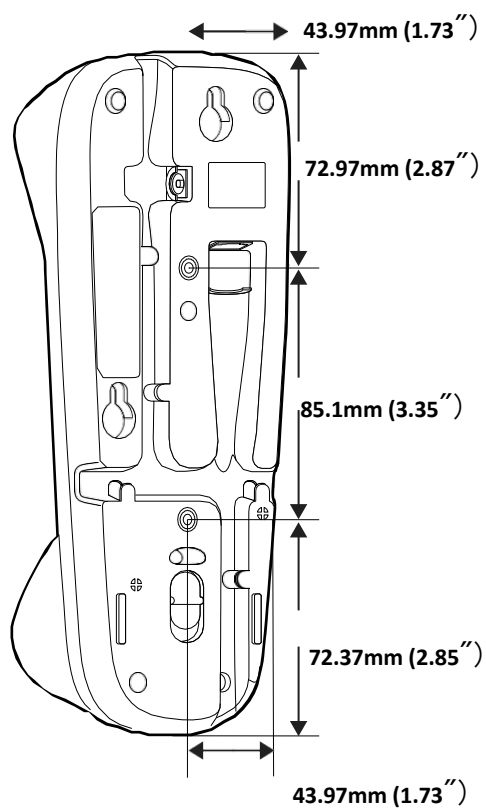


垂直面設置のロック

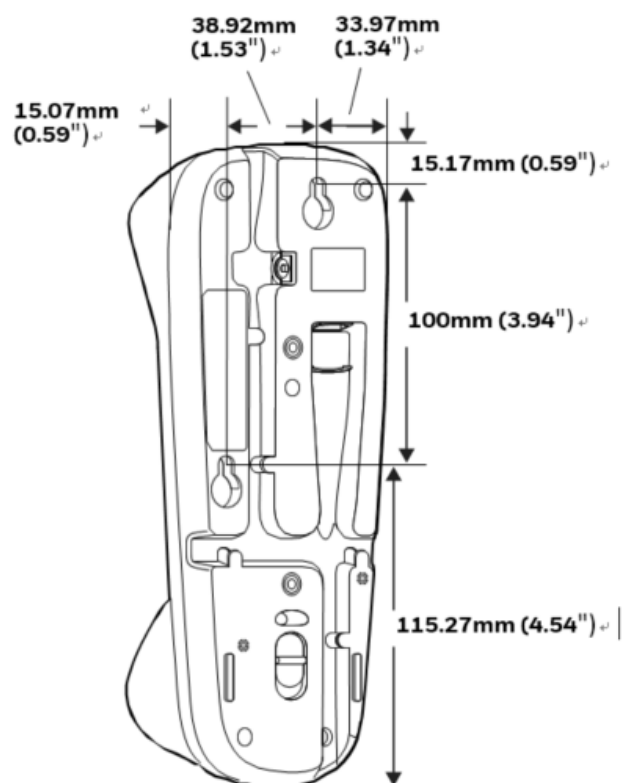
水平面設置のロック解除

取付面の素材に適した 30mm のネジを使用し、コードレスベースを安全に取り付けてください。

水平面設置



垂直面設置



読み取り方法

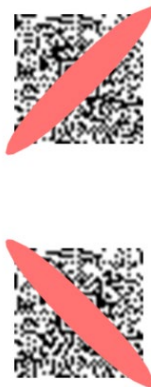
Xenon 1950/1952

Xenon1950/1952 スキャナにはスキャナの横方向の視野に相当する明るい赤のエイミングビームを照射するビューファインダがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。全方向の読み取りをしますので、どの方向に向けてもかまいません。

Linear barcodes



2D Matrix symbol



メニューバーコードのセキュリティ設定

スキャナ設定はメニューバーコードを読み取るか、シリアルコマンドを送るよう設計されています。メニューバーコード読み取りを制限したい場合は、メニューバーコードのセキュリティ設定をご利用可能です。

カスタムデフォルトの設定

ユーザー独自のカスタムデフォルトのメニューコマンドを作成することができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に Set Custom defaults (カスタムデフォルトの設定) バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとにSave (保存) のコードを読み取ればシーケンス全体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に Set Custom defaults (カスタムデフォルトの設定) コードを再度読み取ります。



MNUCDP.

カスタムデフォルトの設定



MNUCDS.

カスタムデフォルトの保存

注意: コードレスシステムを使用する場合、カスタムデフォルト設定はすべてのワークグループに適用されます。コードレスシステムを使用している場合、Save Defaults バーコードをスキャンすることでスキャナとコードレスベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク非接続になります。リンクを再確立するには、セットアップコードが入力される前にスキャナをコードレスベースに置かれなければなりません。アクセスポイントを使用している場合、リンバーコードを読み取ってください。

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち1つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きします。例えば、ブザーの音量をカスタムデフォルトでは「低」に設定しており、「高」に変更しようとする場合、Set Custom defaults バーコードを読み取り、次にBeeper Volume High (ブザー音量 大)バーコードを読み取った後に Save Custom defaults を読み取ります。他のカスタムデフォルトは残り、ブザー音量の設定は更新されます。

カスタムデフォルトの再設定

ご使用のスキナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults (カスタムデフォルトを起動) バーコードを読み取ってください。これは多くのユーザーのために推奨するデフォルトバーコードです。これはスキナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

注意: コードレスシステムをご使用の場合、Save Defaults/バーコードを読み取ると、スキナとコードレスベースにもリセットを実行し、非接続となってしまいます。設定リンクを再構築するには、セットアップコードが入力される前にスキナをコードレスベースに置かなければなりません。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキナをコードレスベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。

第2章 インターフェースの設定

はじめに

この章では、最適なインターフェースのためのシステム設定についてご紹介します。

インターフェースのプログラム設定 - プラグ&プレイ

プラグ&プレイのバーコードで、一般的に使用されているインターフェース用に簡易スキャナセットアップを行うことができます。

注意：設定バーコードを読み取った後、ホスト端末インターフェースを有効にするため、再起動する必要があります。

キーボードウェッジ

ご使用のシステムを IBM PC AT 互換機やアメリカ向けのキーボードと互換性のあるキーボードウェッジインターフェースで設定される場合は、以下のバーコードを読み取ってください。キーボードウェッジは初期設定のインターフェースです。

注意：Granit1980i はキーボードウェッジインターフェースをサポートしていません。

注意：以下のバーコードを読み取ると、キャリッジリターン（CR）サフィックスも有効になります。



PAP_AT.

IBM PC AT と互換機、CR サフィックスあり

ノート型PCとの直接接続

ほとんどのノート型 PC の場合、**Laptop Direct Connect** のバーコードを読み取ることで、内蔵キーボードとの同時操作が可能になります。以下の Laptop Direct Connect バーコードもまたキャリッジリターン（CR）サフィックスの設定を行い、外付けキーボードの使用を有効にします。



PAPLTD.

ノート型 PC との直接接続、
CR サフィックスあり

RS232シリアルポート

RS232 インターフェース設定はパソコンもしくは端末のシリアルポートとの接続に用います。以下の RS232 インターフェース設定もキャリッジリターン（CR）やラインフィード（LF）サフィックス、ならびに以下で示されるようなボーレートやデータフォーマット設定を行います。またトリガーモードもマニュアルに変換します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
データフォーマット	8 データビット、パリティビットなし、1 ストップビット



PAP232.

RS232 インターフェース

RS485

IBM POSの端末インターフェースへスキャナを接続する場合は、以下のいずれかの設定バーコードを読み取ってください。

注意：このインターフェースは Granit デバイスではサポートしていません。

設定バーコードを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタを再起動してください。



PAPP5B.

IBM ポート 5B インターフェース



PAP9B1.

IBM ポート 9B HHBCR-1 インターフェース



PAPP17.

IBM ポート 17 インターフェース



PAP9B2.

IBM Port 9B HHBCR-2 インターフェース

前述の設定バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128 *	00 0A 0B
UPC E	0A	Code 128 **	00 18 0B
		MaxiCode	00 2F 0B

* サフィックスは IBM 4683 Port 5B、IBM 4683 Port 9B、HHBCR-1、ならびに IBM 4683 Port 17 インターフェース用の Code 128用 に設定されています。

**サフィックスは IBM 4683 Port 9 HHBCR-2 インターフェース Code 128 用に設定されています。

USB IBM SurePos

以下の「プラグ&プレイ」コードのうち一つを読み取り、IBM SurePos (USB ハンドヘルドスキャナ) もしくは IBM SurePos (USB 卓上スキャナ) インターフェースの設定を行ってください。

注意：設定バーコード読み取り後、キャッシュレジスタを再起動して、インターフェースを有効にしてください

USB IBM SurePos



PAPSPH.

USB IBM SurePos ハンドヘルドスキャナインターフェース



PAPSPT.

USB IBM SurePos 卓上スキャナインターフェース

上記の設定バーコードでは、シンボルごとに以下のサフィックスをプログラム設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC E	0A	Code 39	00 0A 0B

パソコンUSBもしくはマッキントッシュのキーボード

以下のバーコードのうち一つを読み取り、パソコンのUSB キーボードもしくはマッキントッシュの USB キーボードの設定を行ってください。これらの設定バーコードを読み取ると、CR ならびに LF も設定されます。



PAP124.

USB キーボード - PC



PAP125.

USB キーボード - Mac



TRMUSB134.

USB 日本語キーボード - PC

USB HID

以下のバーコードを読み取り、USB HID バーコードスキャナのスキャナ設定を行ってください。



PAP131.

USB HID バーコードスキャナ

USB シリアル

以下のバーコードを読み取り、標準の RS232 コードレスペースの COM Port にエミュレートするようスキャナを設定してください。ユーザーが Microsoft® Windows® のパソコンをお使いの場合は当社ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) からドライバーをダウンロードしていただく必要があります。ドライバーは空いているCOM ポートに接続します。Apple® マッキントッシュコンピュータの場合は、スキャナを USB CDCクラスデバイスとして認識し、自動でクラスドライバーを使用します。



TRMUSB130.

USB シリアル

注意：他の設定（ボーレートなど）は不要です。

CTS/RTS エミュレーション



USBCTS1.

CTS/RTS エミュレーション 有効



USBCTS0.

*CTS/RTS エミュレーション 無効

ACK/NAK モード*



USBACK1.

ACK/NAK モード 有効



USBACK0.

* ACK/NAK モード 無効

Verifone® Ruby 端末の初期設定

Verifone Ruby 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 1200 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットにします。また、ラインフィード (LF) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィックス設定を行います。

シンボル	プリフィックス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPRBY.
Verifone Ruby の設定

Gilbarco® 端末の初期設定

Gilbarco 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 2400 bps に、データフォーマットを 7 データビット、偶数パリティビット、2 ストップビットにします。また、キャリッジリターン (CR) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィックス設定を行います。

シンボル	プリフィックス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPGLB.
Gilbarco の設定

Honeywell 2面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Honeywell 2面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 38400 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットにします。



PAPBIO.

Honeywell2 面式カウンタースキャナの設定

Datalogic™ Magellan®2面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Datalogic Magellan 2面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットにします。



PAPMAG.

Datalogic Magellan2 面式カウンタースキャナの設定

Wincor Nixdorf 端末の初期設定

Wincor Nixdorf 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキヤナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットに設定します。



PAPWVX.
Wincor Nixdorf 端末の設定

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキヤナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィックス設定も行います。

シンボル	プリフィックス	シンボル	プリフィックス
Aztec Code	V	Interleaved 2 of 5	I
Codabar	N	MaxiCode	T
Code 93	L	MicroPDF417	S
Code 128	K	PDF417	Q
Data Matrix	R	QR Code	U
EAN-8	B	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-13	A	UPC-A	A0
GS1 DataBar	E	UPC-E	C
GS1-128	P	その他すべてのバーコード	M



PAPBTL
Wincor Nixdorf Beetle の設定

Wincor Nixdorf RS232 モード A

WincorNixdorfRS232モードA端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキヤナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプリフィックス設定も行います。

注意：このインターフェースは Granit デバイスではサポートしていません。

シンボル	プリフィックス	シンボル	プリフィックス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	K
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Plessey	O
UPC-E	C	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-8	B	GS1 DataBar	E
その他すべてのバーコード	M		



PAPWMA.

Wincor Nixdorf RS232 モード A の設定

国別キーボード

USBキーボードまたはキーボードウェッジインターフェースの場合、キーボードはアメリカキーボードに初期設定されています。以下から該当する国コードを読み取り、自国もしくは自言語用のキーボードを設定します。原則として、以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な留意が必要です。# \$ @ [¥] ^ ' { | } ~. 各国のキャラクタ変換を見るには"ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 "ページを参照してください。

国別キーボード



KBDCTY0.

* アメリカ



KBDCTY35.

アルバニア



KBDCTY81.

アゼリー キリル文字



KBDCTY80.

アゼリー ラテン



KBDCTY82.

ベラルーシ



KBDCTY1.

ベルギー



KBDCTY33.

ボスニア



KBDCTY16.

ブラジル



KBDCTY59.

ブラジル MS



KBDCTY52.

ブルガリア キリル文字

国別キーボード (つづき)



KBDCTY53.
ブルガリア ラテン



KBDCTY54.
カナダ (フランス語 Legacy)



KBDCTY18.
カナダ フランス語



KBDCTY55.
カナダ 多言語



KBDCTY32.
クロアチア



KBDCTY15.
チェコ



KBDCTY40.
チェコ プログラマー



KBDCTY39.
チェコ QWERTY



KBDCTY38.
チェコ QWERTZ



KBDCTY8.
デンマーク



KBDCTY11.
オランダ



KBDCTY41.
エストニア



KBDCTY83.

フェロー語



KBDCTY2.

フィンランド



KBDCTY3.

フランス



KBDCTY84.

ゲール語



KBDCTY4.

ドイツ



KBDCTY17.

ギリシャ



KBDCTY64.

ギリシャ 220 ラテン



KBDCTY61.

ギリシャ 220



KBDCTY65.

ギリシャ 319 ラテン



KBDCTY62.

ギリシャ 319



KBDCTY63.

ギリシャ ラテン



KBDCTY66.

ギリシャ MS

国別キーボード (つづき)



KBDCTY60.
ギリシャ Polytonic



KBDCTY12.
ヘブライ語



KBDCTY50.
ハンガリー語 101 キー



KBDCTY19.
ハンガリー



KBDCTY75.
アイスランド



KBDCTY73.
アイルランド



KBDCTY56.
イタリア語 142



KBDCTY5.
イタリア



KBDCTY28.
日本語



KBDCTY78.
カザフスタン



KBDCTY79.
キルギスタン キリル文字



KBDCTY14.
ラテンアメリカ



KBDCTY42.

ラトビア



KBDCTY43.

ラトビア QWERTY



KBDCTY44.

リトアニア



KBDCTY45.

リトアニア IBM



KBDCTY34.

マケドニア



KBDCTY74.

マルタ



KBDCTY86.

モンゴル キリル文字



KBDCTY9.

ノルウェー



KBDCTY20.

ポーランド



KBDCTY57.

ポーランド語 214



KBDCTY58.

ポーランド語 プログラマー



KBDCTY13.

ポルトガル語

国別キーボード（つづき）



KBDCTY25.

ルーマニア



KBDCTY26.

ロシア



KBDCTY67.

ロシア MS



KBDCTY68.

ロシア タイプライター



KBDCTY21.

SCS



KBDCTY37.

セルビア キリル文字



KBDCTY36.

セルビア ラテン



KBDCTY22.

スロヴァキア



KBDCTY49.

スロヴァキア QWERTY



KBDCTY48.

スロヴァキア QWERTZ



KBDCTY31.

スロヴェニア



KBDCTY10.

スペイン

国別キーボード (つづき)



KBDCTY51.
スペイン語 変動



KBDCTY23.
スウェーデン



KBDCTY29.
スイス フランス語



KBDCTY6.
スイス ドイツ語



KBDCTY85.
タタール語



KBDCTY27.
トルコ F



KBDCTY24.
トルコ Q



KBDCTY76.
ウクライナ



KBDCTY7.
イギリス



KBDCTY87.
アメリカ Dvorak



KBDCTY88.
アメリカ Dvorak right



KBDCTY89.
アメリカ Dvorak right



KBDCTY30.
アメリカ インターナショナル



KBDCTY77.
ウズベキスタン キリル文字

キーボードウェッジ モディファイ

ALT モード

バーコードにASCIIチャートのスペシャルキャラクターがある場合は、ALT モードを使用します。例えば e の上にアクセントがのっている è 等が対象になります。

注意：ALT モード は通常のキーボードカントリーコードを読んだ後でスキャンしてください。

キーストローク（キー入力）の際に、ALTキーと 3 か 4 キャラクターが必要な時は、3 Characters か 4 Characters バーコードを読み込んでください。 データは 00-255 のスペシャルキャラクターがアウトプットされます。 デフォルト=off



キーボードスタイル

Caps Lock やShift Lock などのキーボードスタイルを設定します。キーボードの変換設定を行った場合は、以下のキーボードスタイル設定すべてを上書きします。初期設定 = Regular (レギュラー)

通常、Caps Lock キーがオフの場合は、Regular を使用します。



通常、Caps Lock キーがオンの場合は Caps Lock を使用します。



通常、Shift Lock キーがオンの場合は、Shift Lock を使用します。(アメリカキーボードでは通常不使用)



Caps Lock キーのオン/オフを切り換える場合は、自動 Caps Lock を使用します。 キーをオン/オフすると、ソフトウェアが自動で判断して対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lock の状態を確認する LED があるシステム（ATキーボード）の場合のみです。



自動 Caps Lock

Caps Lock の切り換えに Caps Lock キーを使用できない国（ドイツ、フランスなど）では Autocaps via NumLock のバーコードを読み取ります。NumLock オプションは、通常の Autocaps と同じ動きをしますが、Caps Lock の現在の状態を確認するには、NumLock を使用します。



KBDSTY7.
Autocaps via NumLock

外付けキーボード(IBM AT または相当品) を使用していない場合は、Emulate External Keyboard を読み取ります。



KBDSTY5.
Emulate External Keyboard

注意：Emulate External Keyboard のバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

キーボードの変換

アルファベットのキーボード文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にできます。例えば、「abc569GK」というバーコードの場合、すべてのキャラクタを大文字に変換のバーコードを読み取ると、「ABC569GK」と出力させることができます。また、すべてのキャラクタを小文字に変換のバーコードを読み取ると、「abc569gk」と出力します。

この設定はキーボードスタイルキーボードスタイルでの設定を上書きします。

注意：お使いのインターフェースがキーボードウェッジの場合は、自動 Caps Lockを最初に読み取ってください。ご希望と違う出力になることがあります。

初期設定 = Keyboard Conversion Off（キーボードの変換 無効）



KBDCNV0.
* キーボード変換 無効



KBDCNV1.
すべてのキャラクタを大文字に変換



KBDCNV2.
すべてのキャラクタを小文字に変換

コントロールキャラクタの出力

この機能を選択すると、コントロールキャラクタの代わりにテキスト文字を送信します。例えば、キャリッジリターンのためのコントロールキャラクタが必要なとき、ASCII コードの 0D の代わりに、「CR」と出力表示されます。ASCII 変換チャートページを参照してください。00 から 1F までは変換されます。初期設定 = Off (無効)

注意 : Control + ASCII モードはこのモードを上書きします。



KBDNPE1.
コントロールキャラクタ出力 有効



KBDNPE0.
* コントロールキャラクタ出力 無効

キーボード設定

ここでは、CTRL+ ASCII コードやターボモードといった特別なキーボードの機能調整を行います。

Control + X (Control + ASCII) Mode On 00 ~ 1F の値について、ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせさせて送信します。Windows は推薦モードです。すべてのキーボードの国別コードがサポートされています。DOS モードはレガシーモードであり、すべてのキーボードの国別コードをサポートしているわけではありません。新規ユーザーはWindowsモードをお使いください。

Windows Mode Prefix/Suffix Off: 00 ~ 1F の値について ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせさせて送信しますが、プリフィックスならびにサフィックスの情報転送は一切行いません。

初期設定 = Control + X Mode Off (Control + X モード 無効)



KBDCAS2.
Windows モードの Control + X モード 有効



KBDCAS0.
* Control + X モード 無効



KBDCAS1.
DOS モードの Control + X モード 有効



Windows Mode Prefix/Suffix Off
KBDCAS3.



KBDCAS4.
DOSモードのControl+Xモード On with
Windowsモード Prefix/Suffix



KBDCAS5.
Supports ALT 3 Digit HEX Mode

Turbo Mode : ホストへのキャラクタ送信を高速化します。ホストでキャラクタの欠落がある場合は使用しないでください。

初期設定 = Off (無効)



KBDTMD1.

ターボモード 有効



KBDTMD0.

* ターボモード 無効

数字キーパッドモード : テンキーで入力したように数字を送信します。初期設定 = Off



KBDNPS1.

数字キーパッドモード 有効



KBDNPS0.

* 数字キーパッドモード 無効

自動直接接続モード : IBM AT 型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。

初期設定 = Off (無効)



KBDADC1.

自動直接接続モード 有効



KBDADC0.

* 自動直接接続モード 無効

RS232 モディファイ

RS-232 ボーレート

スキャナからホストターミナルに指定の速度でデータを送信します。ホストターミナルは、スキャナと同じボーレートに設定してください。初期設定 = 115,200



232BAD0.

300



232BAD1.

600



232BAD2.

1200



232BAD4.

4800



232BAD6.

19200



232BAD8.

57,600



232BAD3.

2400



232BAD5.

9600



232BAD7.

38400



232BAD9.

* 115,200

RS232 ワード長：データビットストップビットパリティ

データビットはワード長をキャラクタあたり 7 または 8 データビットに設定します。アプリケーションで必要なのがASCII Hex キャラクタの 0 ～ 7F（文字、数値、句読点）だけの場合は、7 データビットを選択してください。フルセットの ASCII キャラクタを使用するアプリケーションでは、キャラクタあたり 8 データビットを選択します。初期設定＝ 8

ストップビットは 1 または 2 に設定します。初期設定＝1

パリティはキャラクタビットパターンが適正かどうかをチェックします。初期設定＝None



232WRD3.

7 データビット、1 ストップビット、偶数



232WRD0.

7 データビット、1 ストップビット、パリティなし



232WRD6.

7 データビット、1 ストップビット、奇数



232WRD4.

7 データビット、2 ストップビット、偶数



232WRD1.

7 データビット、2 ストップビット、パリティなし



232WRD7.

7 データビット、2 ストップビット、奇数



232WRD5.

8 データビット、1 ストップビット、偶数



232WRD8.

8 データビット、1 ストップビット、奇数



232WRD2.

*8 データビット、1 ストップビット、パリティ無し



232WRD14.

8 データビット、1 ストップビット、パリティMark

スキャナは RS232 レシーバertimeアウトが切れるまで、データを受信するために待機しています。マニュアルまたはリアルトリガーでタイムアウトをリセットします。RS232 レシーバertimeアウトの場合、キャラクタを送信してレシーバertimeアウトを起動し、タイムアウトをリセットすることができます。CTS ライン上のトランザクションでも、レシーバertimeアウトを起動します。レシーバertimeアウトが完全に起動するには 300 ミリ秒かかります。次のバーコードを読み取って RS232 Receiver Timeout (RS232 レシーバertimeアウト) を変更し、本書の裏表紙内側から数字を読み取り、次に **Save** (保存) を読み取ります。設定範囲は 0 ~ 300 秒です。設定範囲は 0 ~ 300 秒です。初期値 = 0 秒 (タイムアウトなし常時オン)



232LPT.

RS232 レシーバertimeアウト

RS232 ハンドシェイク

RS232 ハンドシェイクとは、ホストデバイスから送信されるソフトウェアコマンドを利用して、スキャナからのデータ送信を制御するものです。RTS/CTS を無効にすると、データのフロー制御はできません。

Flow Control, No Timeout (フロー制御、タイムアウト無し): 送信するデータがある場合、スキャナは RTS をアサートし、無期限にホストからアサートされた CTS を待ちます。

Two-Direction Flow Control (双方向 フロー制御): スキャナはホストへの送信が可能な場合、RTS をアサートし、ホストはデバイスへの送信が可能な場合は CTS をアサートします。

Flow Control with Timeout (タイムアウトつきフロー制御): スキャナは送信するデータがある場合、RTS をアサートし、ホストにアサートされた CTS をディレイ分 (2-21 ページの RS232 タイムアウトを参照) 待ちます。もしディレイタイムが過ぎても CTS がアサートされていない場合、デバイスが送るバッファは取り消され、読み取りを再開します。

初期設定 = RTS/CTS Off (RTS/CTS 無効)



232CTS1.

フロー制御、タイムアウト無し



232CTS2.

双方向フロー制御



232CTS3.

タイムアウトあり、フロー制御



232CTS0.

RTS/CTS 無効

RS232 タイムアウト

タイムアウトつきのフロー制御を用いる場合は、ホストからの CTS 待機時間の長さを設定しなければなりません。以下のバーコードを読み取り、タイムアウトの長さ（ミリ秒単位）を設定し、裏表紙にある数字を読み取ってタイムアウト（1 ～ 5100 ミリ秒）を設定し、Save（保存）を読み取ってください。



232DEL.

XON/XOFF

スキャナヘデータ送信 (XON/XOFF On) や送信中止 (XON/XOFF Off) をおこなう際には標準 ASCII コントロールキャラクタが用いられます。ホストデバイスが XOFF キャラクタ (DC3, hex 13) をスキャナに送信することで送信を一時中断します。送信を再開するには、ホストから XON キャラクタ (DC1, hex 11) を送信します。データ送信は、XOFF 送信によって停止されたところから続行されます。Default = XON/XOFF 無効



232XON1.

XON/XOFF 有効



232XON0.

* XON/XOFF 無効

ACK/NAK

データ送信の後、スキャナはホストからの ACK キャラクタ (hex 06) もしくは NAK キャラクタ (hex 15) レスポンスを待ちます。ACK を受け取ると、通信は完成し、スキャナはさらなるバーコードを探します。NAK を受け取ると、最後のバーコードが送信され、スキャナは ACK や NAK を再度待ち受けします。ACK/NAK プロトコルを有効にする場合は、以下の ACK/NAK On (ACK/NAK 有効) バーコードを読み取ってください。ACK/NAK プロトコルをオフにする場合は ACK/NAK Off (ACK/NAK 無効) を読み取ります。Default = ACK/NAK 無効



232ACK1.

ACK/NAK 有効



232ACK0.

* ACK/NAK 無効

スキャナから 2面式カウンタースキャナへの通信

以下の設定はハネウェル社製スキャナと 2 面式カウンタースキャナとの通信の接続に用います。

注意：2 面式カウンタースキャナとの通信には、ボーレートを 38400 に、RS232 タイムアウトを 3000 に設定しなければなりません。

2面式カウンタースキャナパケットモード

Packet Mode On (パケットモード 有効) は 2 面式カウンタースキャナとの互換性のために、スキャナのフォーマットを設定するときに読み取ります。初期設定 = Packet Mode Off (パケットモード 無効)



232PKT0.

* パケットモード 無効



232PKT2.

パケットモード 有効

2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK モード

各パケットが送信された後、スキャナが 2 面式カウンタースキャナからの ACK もしくは NAK を待つ場合には 2面式カウンタースキャナACK/NAK On (2面式カウンター ACK/NAK 有効)を読み取ります。下記の 2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウトはスキャナがレスポンスに対しどの程度待つかを制御するものです。初期設定 = Bioptic ACK/NAK Off (2 面式カウンタースキャナACK/NAK 無効)



232NAK0.

* 2 面式カウンタースキャナ ACK/
NAK 無効



232NAK1.

2 面式カウンタースキャナACK/NAK 有効

2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウト

2 面式カウンタースキャナからの ACK/NAK レスポンスに対するタイムアウト時間（ミリ秒単位）を設定します。以下のバーコードを読み取り、裏表紙内側から数字を読み取り、タイムアウト時間（1～30,000 ミリ秒）を設定した後、Save（保存）を読み取ります。初期設定 = 5100



232DLK.

ACK/NAK タイムアウト

コードレスシステムの操作

注意：本章はコードレススキャナのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。

コードレスチャージコードレスベース / アクセスポイントの仕組

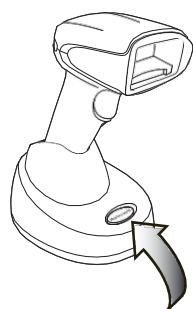
コードレスチャージコードレスベースまたはアクセスポイントはコードレススキャナとホストシステム間の通信を行います。コードレスベースまたはアクセスポイントはインターフェースアセンブリと無線周波（RF）モジュールから成ります。RF モジュールは、コードレススキャナとインターフェースアセンブリ間のデータ交換を行います。制御アセンブリは中枢インターフェースの動作を調整します。それには、ホストシステムとの間で行われるコマンドやデータの送受信、ソフトウェアの実行（パラメータのメニュー化、視覚インジケータのサポート、パワーオン診断）ホストシステムのために必要なデータ変換を含みます。コードレスチャージコードレスベースはスキャナの充電器でもあります。

スキャナとコードレスチャージベースへの接続

コードレスベースを接続する前に電源をオフにし、コードレスベースが完全に接続された時点でホストデバイスを起動してください。コードレスベースが接続され、ホストデバイスが起動してからスキャナをコードレスベースに挿しこみ通信します。コードレスベースの緑色の LED が点滅すると、スキャナのバッテリーが充電中であることを示します。

スキャナとコードレスベースが以前に通信していた場合は、反応はありません。スキャナとコードレスベースが今回初めて通信接続された場合、双方の無線が通信した時点でスキャナとコードレスベースの両方から音が鳴ります。これでこの一台のスキャナが一台のコードレスベースに接続されたことになります。

Xenon スキャナ

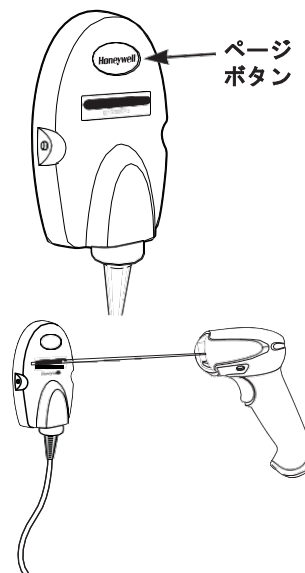


コードレスチャージベース

コードレスシステムが正しく設定されているか判断するには、本書の終わりにあるサンプルバーコードの1つを読み取ってみてください。スキャナから読み取り有効を示すピーツという音が一回発せられ、緑の LED が点灯した場合、スキャナとコードレスベースの連結が成功しています。Granit スキャナの場合、振動します。エラーブザーが鳴り、赤い LED が点灯した場合、スキャナはコードレスベースに接続されていません。

スキャナとアクセスポイントの接続

コンピューター（ノートPC/ デスクトップ）を起動します。はじめにインターフェースケーブルをアクセスポイントに接続し、次にコンピューターのポートへ接続します。ホストへの接続が確立するとページボタンが点灯します。



アクセスポイントの上部にあるリンクバーコードを読み取り、アクセスポイントとスキャナ間の接続を確立します。スキャナは短いピープ音が鳴り、緑のLED が点滅し、アクセスポイントの接続が確認できます。アクセスポイントのページボタンが青のままです。

リンクされたスキャナの交換

コードレスチャージコードレスベースまたはアクセスポイントにリンクされたスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の **Override Locked Scanner**（ロックスキャナの無効化）バーコードを読み取り、スキャナをコードレスベースユニットに置か、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、接続していたスキャナのコードレスベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



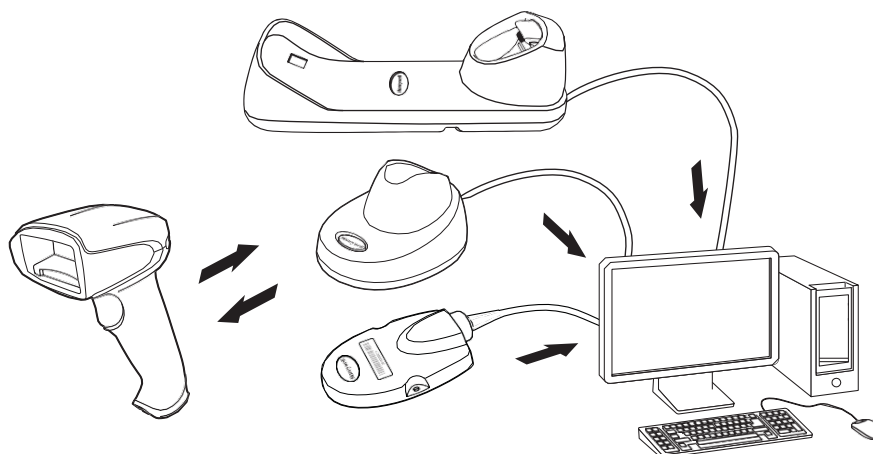
BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

コードレスシステムとホストデバイス間の通信

バーコードが正しく読み取られてコードレスベースがデータの受信を認知すると、コードレススキャナは「読み取り成功」を視覚的かつ聴覚的（スキャナ上部の緑色 LED が点灯し、とピーツという音が鳴る）に表示します。Granit スキャナの場合、振動します。バーコードが正しくスキャンされ、コードレスベースユニットまたはアクセスポイントからデータ受信確認がされたことを示します。コードレスシステムはスキャナとコードレスベースまたはアクセスポイントの間で双方向通信するため、このようなことが可能になります。

データが読み取られると、データはコードレスベースまたはアクセスポイントを介してホストシステムへ送られます。コードレススキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントからのデータの認知（ACK）を認識します。データがコードレスベースまたはアクセスポイントへ正しく送信されたか否か判定できない場合は、スキャナはエラーを表示します。その際には、スキャンされたデータがホストシステムによって受信されたかをチェックしなければなりません。



1. 読取成功するとコードレスベースユニットまたはアクセスポイントから ACK を受信します。
2. コードレスベースユニットまたはアクセスポイントがホストシステムへデータを送信します。

スキャナとコードレスベースユニットまたはアクセスポイントのプログラム

システムとしてスキャナとコードレスベースまたはアクセスポイントを一緒に使用する場合、メニューパラメータと設定がチャージコードレスベースまたはアクセスポイントに保存されます。それゆえ、メニュー構成設定をプログラムする場合、スキャナはチャージコードレスベースまたはアクセスポイントにリンクしている必要があります。

注意：スキャナがチャージコードレスベースまたはアクセスポイントにリンクされている場合のみ適応されます。スキャナがノンコードレスベースモードの場合、設定はスキャナに保存されます。

RF（無線周波）モジュールの操作

コードレスシステムは双方向 Bluetooth® 無線を利用して、スキャナおよびコードレスベースまたはアクセスポイント間におけるデータの送受信を行ないます。ライセンス不要なISM帯域を使用することで、周波数が無作為に変化する無線信号に、比較的小さいデータパケットを載せて高速なデータレートで送信しています。それ故に、当コードレスシステムを多様なデータ収集アプリケーションに対応でき、かつノイズの多い無線周波環境に対して強い耐性のある製品にしています。CCB01-010BT (Bluetooth クラス 2) は環境によりませんが、スキャナとコードレスベースまたはアクセスポイント間の通信距離はおよそ 10m 程度になります。CCB02-100BT/CCB05-100BT (Bluetooth クラス 1) は環境によりませんが、スキャナとコードレスベースまたはアクセスポイント間の通信距離はおよそ 100m 程度になります。この範囲のコントロールについては60ページのフレキシブル出力管理の項目をご覧ください。

システム条件

あるスキャナをコードレスベースまたはアクセスポイントに連動させたり、スキャナを通信可能範囲外へ持ち出したり、更に圏内へ再び持ち込んだり、2つのコードレスシステムの間でスキャナを交換したりする際、コードレスシステムの構成部分は、特定の相互作用を起こします。下記はコードレスシステムの動作条件について説明したものです。

通信プロセス

スキャナがコードレスチャージコードレスベースに差し込まれると、スキャナのバッテリー残量がチェックされ、ソフトウェアは自動的にスキャナを検知します。選択された接続モードに合わせてスキャナをコードレスベースに接続します。

スキャナが通信可能範囲外にあるとき

コードレススキャナはバーコードデータを送信していないときも、コードレスベースまたはアクセスポイントと通信しています。スキャナが数秒にわたってコードレスベースまたはアクセスポイントと通信できないときは、スキャナが通信可能範囲外にあることになります。スキャナが通信可能範囲外にあるときにバーコードを読み取ると、スキャナはエラーブザーを発してコードレスベースまたはアクセスポイントと通信していないことを示します。コードレスチャージベースもアラーム音を発することがあります。

スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき

スキャナ、コードレスベースまたはアクセスポイントがリセットされたか、スキャナが通信可能範囲内に戻ったとき、スキャナは再度通信を開始します。スキャナが通信を再度確立する際、通信再確立プロセス（パラメータテーブルのアップロード）が完了すると、音が一回鳴ります。

バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り

スキャナは通信可能範囲外において数多くのシンボル（UPC シンボル約 500個）を保存し、通信可能範囲内に戻った時点でコードレスベースへ送信することができます。

このモードでは、通信エラーブザーは聞こえませんが、無線通信が機能していない場合、トリガーを引いたときに短いブザー音が聞こえます。無線接続がされてデータがコードレスベースまたはアクセスポイントに送信されている間、スキャナは一連のピーツという音を発します。

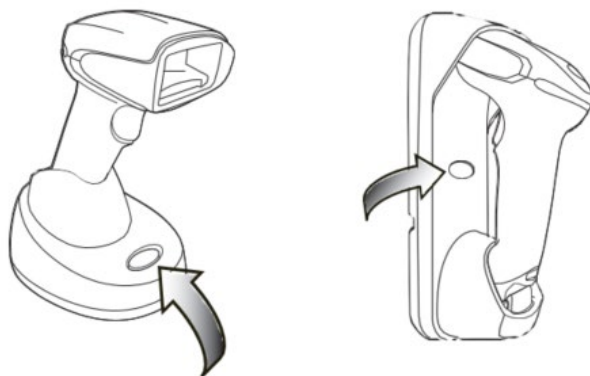
ページ（呼出し）ボタン

コードレスベースまたはアクセスポイントのページボタンを押すと、そのコードレスベースまたはアクセスポイントに接続しているスキャナがピーツという音（3回短く、1回長く）を鳴らし始めます。呼び出しに応じて鳴っているスキャナのトリガーを引くか、コードレスベースまたはアクセスポイントのページボタンをもう一回押すと、接続しているすべてのスキャナが鳴り止みます。

注意： Xenon 1950HC モデルをお使いの場合、ページボタンとプレゼンテーションモードページの追加ページングボタン設定をご参照ください。

ページ（呼出し）ボタンとプレゼンテーションモード

コードレスベースまたはアクセスポイントのページボタンを押すと、そのコードレスベースまたはアクセスポイントに接続しているスキャナが音を鳴らせて知らせます。



スキャナがストリーミングプレゼンテーションモードに設定されている時は、スキャナのエイマーは直ぐに消えますが、スキャナの光は点灯を続け、何時でもバーコードを読取れる状態をキープしています。テンポラリーストリーミングプレゼンテーションモードの時は、コードレスベースのページボタンを押すとスキャナはタイムアウトするまで、ストリーミングプレゼンテーションモードになります。タイムアウトになる前にバーコードを読取ると、タイマーはリセットされます。

スキャナがコードレスベースに設置されている時は、ページボタンを1回押す事でテンポラリーストリーミングプレゼンテーションモードになります。電源に繋がっているコードレスベースにスキャナが設置されている状態で、ページボタンを2回押すとスキャナはストリーミングプレゼンテーションモードになり、その状態で2回押すとストリーミングプレゼンテーションモードが終了します。

コードレスベースが電源に繋がっていない時はページボタンを2回押してもストリーミングプレゼンテーションモードにはなりません。又、スキャナがコードレスベースに設置されていない時は、ページボタンは通常の動作になります。 Default=テンポラリーストリーミングプレゼンテーションモードモード = ON



*テンポラリープレゼンテーションモード：有効

テンポラリーストリーミングプレゼンテーションモードを終了させたい時は、ページモード：有効のバーコードを読み取ります。



ページモード：有効

テンポラリーストリーミングプレゼンテーションモード タイムアウト

テンポラリーストリーミングプレゼンテーションモードでスキャナの点灯時間を設定する事が出来ます。点灯時間は10秒間か30秒間の設定を行う事が出来、その後スキャナはタイムアウトになります。



*10秒タイムアウト



30秒タイムアウト

コードレスベース設置時のプレゼンテーションモード設定



*無効



有効

バッテリーについて



バッテリー交換を誤ると、爆発するおそれがあります。ハネウェルが推奨するバッテリーのみに交換してください。使用済みバッテリーは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

コードレススキャナの電源は、スキャナハンドル内に組み込まれた充電式バッテリーから供給されます。出荷時には、約30%から60%程度バッテリーを充電してありますが、充電容量最大限まで完全に充電することを推奨致します。最初に使用する際、最適な性能を確保する為に最低 4時間の充電を行なってください。

充電について

バッテリーは、スキャナがコードレスチャージコードレスベースに差し込まれている間に充電される設計になっています。充電状態を現すインジケータの解釈については、コードレスベースユニット/アクセスポイントの LED シーケンスと意味のページにあるコードレスベースの LED シーケンスに関する項目をご参照ください。スキャナをコードレスベースに接続することなく充電する必要がある場合は、充電限定モードページの充電限定モードの項目をご覧ください。

適切な電源がコードレスベースに接続されていることを確認し、スキャナをコードレスベースに差し込んでください。定格出力 5 ~ 5.2Vdc、1A の Limited Power Source (LPS) かクラス 2 タイプの電源のみをご使用ください。

注意： 外部電源をチャージコードレスベースの補助ポートに差し込まず、インターフェースケーブル（例えば USB ケーブル）を介してホストデバイスからコードレスベースへ電力を供給する場合、充電に使える電力が減ってしまうので、充電時間がより長くなります。

バッテリーについての推奨事項

- ・ バッテリーはリチウムイオン電池で、完全に充電せずに使え、耐用寿命に悪影響を及ぼすことなく、いつでも放電がおこなえます。この種のバッテリーについては、充電 / 放電状態を確認する必要がありません。
- ・ ホストデバイスを使用していないときは、コードレスベースを電源に接続しておいてください。
- ・ 欠陥のあるバッテリーは、スキャナ破損の原因になりますので、直ちに交換してください。
- ・ バッテリーは何回も充電できますが、ご使用中に消耗します。十分に充電できなくなった場合、バッテリーを交換してください。
- ・ 電池や充電器が正常に機能しているか判らないときには、ハネウェルが正規サービスセンターへ送って点検してください。



注意：

当装置にはBAT- SCN05、定格 3.7 Vdc、7.4Whr のハネウェル社製リチウムイオン電池パックのみをご使用ください。ハネウェル社提供以外のバッテリーを使用して故障した場合、保証の対象外です。

リチウム電池の安全に関する注意事項

- ・ バッテリーを燃やしたり、加熱したりしないこと。
- ・ 火気・高温の場所を避けて保管すること。
- ・ 金属製品とともにバッテリーを保管したり、所持したりしないこと。
- ・ 水気を避け、バッテリーを濡らさないようにすること。
- ・ 金属製品を使ってバッテリーの陽極と陰極を接続（ショート）しないこと。
- ・ バッテリーに穴を開けたり、たたいたり、踏んだり、強い衝撃を与えたりしないこと。
- ・ バッテリーを解体・改造しないこと。



注意：

バッテリー交換を誤ると、爆発するおそれがあります。使用済みバッテリーは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

バッテリーの適切な処分



バッテリーが耐用年数の終わりに達したときは、資格を持つリサイクル業者ないし危険物取扱業者によって処分してください。バッテリーを一般廃棄物と共に焼却したり、処分したりしないでください。スキャナのバッテリーを弊社に御返却いただくことも可能です（送料のご負担をお願いします）。使用済みバッテリーの梱包、表示、明細書作成、輸送に関するすべての国・連邦・州・自治体法規の道守は輸送業者の責任です。リサイクル・処分に関しては、製品サービス部門にお問い合わせください。

バッテリーをご返送いただく費用が高額な場合、地元のリサイクル処理業者にて処分された方が経費を抑えられる場合もありますので、まずは御問い合わせください。

Xenon XP 1952g-BF/Xenon XP 1952h-BFインスタントチャージパックコードレスベース情報

注意：Xenon XP 1952g-BF/Xenon XP 1952h-BFはCCB01-010BT-BFかCCB-H-010BT-BFでしか充電が出来ません。それ以外の機器で充電を行い故障しても、保証されませんので、注意してください。

コードレススキャナはスキャナハンドルにある、リチャージ可能なインスタントチャージパックを通じて充電され稼働します。インスタントチャージパックは購入後初めて使用する前に充電する必要があります。スキャナを使用していない時はコードレスベースに設置して充電してください。

ブザー・LED のシーケンスと意味

スキャナ上部には LED が組み込まれており、通電・通信・電池残量を表示します。コードレスベース上部に LED があり、起動・通信・充電状態を表示します。赤色 LED = エラー、緑色 LED = あらゆる種類の正常な完了を意味します。スキャナとコードレスベースユニットにも音による表示もあります。エラーブザー1回=エラー、2回ピーツ=メニュー変更、1回ピーツ=それ以外のすべての正常な完了です。

下記の表にスキャナの LED 点灯・ブザーによる表示のしかたとその原因をまとめてあります。

スキャナの LED シーケンスと意味

LED 表示	ブザー表示	振動表示	原因
正常な操作			
赤点灯	なし	なし	バッテリー残量少
緑点灯	1 回ビーブ音	なし	通信またはリンクに成功
赤点滅	エラーブザー	なし	通信失敗
メニュー操作			
緑点灯	2 回ビーブ音	2 回振動	メニュー変更成功
赤点滅	エラーブザー	1 回長い振動	メニュー変更失敗

スキャナチャージパックステータス

スキャナがコードレスベースから離れている時にアイドル状態が5秒以上続いた時に、スキャナはLEDの点滅・ビーブ音で充電残量をお知らせします。

スキャナ LED	スキャナビーブ音	充電残量	残りのスキャン回数（参考値）
黄色点滅 3回	点滅時ビーブ音2回	30%	100
赤色点滅 3回	点滅時ビーブ音2回	10%	50

注意： 残りのスキャン回数は参考値であり、各種条件によりスキャン回数は変わります。

コードレスベースユニット / アクセスポイントの LED シーケンスと意味

コードレスベースについている赤色 LED とアクセスポイントについている青い LED が本体の状態を表し、ホストシステムとの通信状態を確認することができます。またコードレスベースユニットの緑色LED はスキャナのバッテリー充電状況を表します。

赤色もしくは青色LED：ホストとの通信	
赤色もしくは青色LED	通信状態
オフ	USB 保留
継続してオン	電源オン、システムアイドル
複数回にわたり短く点滅。無線モジュールまたはホストポートとの間のデータ通信中点滅	データ受信

コードレスベースパワー通信インジケータ

コードレスベースのパワーインジケータを表示するには、Base Power Communication Indicator On（コードレスベースパワー通信インジケータ 有効）バーコードを読み取ってください。パワーインジケータを無効にするには、Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = On（有効）



⌚:BASRED1.
* コードレスベースパワー通信
インジケータOn (有効)



⌚:BASREDO.
コードレスベースパワー通信
インジケータ 無効

コードレスベースチャージステータス

スキャナをコードレスベースに設置している時に充電状況をLEDで表示します。

LED	充電残量	残りのスキャン回数 (参考値)
緑色点灯	100%	450
緑色ゆっくり点滅	50-99%	200
緑色早く点滅	30-50%	100
黄色早く点滅	0-30%	充電中（スキャン不可）

注意： 残りのスキャン回数は参考値であり、各種条件によりスキャン回数は変わります。

Low Power (低充電残量) アラート

注意： Low Power アラートはバッテリーフリースキャナXenon XP 1952g-BF and Xenon XP 1952h-BFだけが対象となります。

充電残量が少なくなってきた時に点滅するLEDの設定を変更する事が可能です。

Low Powerアラート充電残量設定

Low Powerのアラートを発信する充電の残量を設定する事が出来ます。 Default=10-30%



LPIRAG0.

*Low Powerアラート 10-30%



LPIRAG1.

Low Powerアラート 10-50%

Low PowerアラートLED点滅回数設定

バッテリーフリースキャナがLow Powerアラートを発信するLED点滅回数を設定する事が出来ます。点滅回数は最大9回であり、設定には以下のバーコードをスキャンした後で、Programming Chartにある数値(1-9)をスキャンしてください。 Default=3 点滅



LPIFNO.

Low PowerアラートLED点滅回数

Low PowerアラートLED点滅インターバル設定

バッテリーフリースキャナがLow Powerアラートを発信するLED点滅のインターバル(点滅の間の秒数)を設定する事が出来ます。秒数は1から9秒の間で設定可能であり、設定には以下のバーコードをスキャンした後で、Programming Chartにある数値(1-9)をスキャンしてください。 Default=2秒



LPIFDL.

点滅インターバル設定

Low Powerアラートリピート回数設定

バッテリーフリースキャナがLow Powerアラートを発信するLED発信回数(設定した点滅回数とインターバル)を設定する事が出来ます。最大5回まで設定が可能であり、設定には以下のバーコードをスキャンした後で、Programming Chartにある数値(1-5)をスキャンしてください。 Default=1



LPI_NO.

Low Powerアラートリピート設定

Low Powerアラートリピート設定時のインターバル

バッテリーフリースキャナでアラート発信のリピートを設定した時に、次のリピートが始まるまでの秒数を設定する事が出来ます。秒数は10から120秒の間で設定可能であり、設定には以下のバーコードをスキャンした後で、Programming Chartにある数値(10-120)をスキャンしてください。Default=10秒



LPIFDL.

Low Powerアラートリピートのインターバル設定

Low Powerアラートビープ音設定

バッテリーフリースキャナでLow Power時にビープ音が鳴らない設定が可能です。(但しLEDは点滅します。)設定には以下のバーコードをスキャンしてください。Default=Low Powerアラートビープ音有効



LPIBEP0.

Low Powerアラートビープ音 無効



LPIBEP1.

*Low Powerアラートビープ音 有効

スキャナのリセット

下のバーコードを読み取ることによって、スキャナは再起動され、コードレスベースまたはアクセスポイントと再接続します。



RESET.

スキャナのリセット

スキャナをコードレスベース上での読み取り

注意：CCB01-010BT コードレスベースユニットのみの機能です。

スキャナをコードレスベースに置いた状態でバーコードを読み取ることができるようになりたい場合は、下記の Scanning in Cradle On (コードレスベースに置いた状態で読み取り許可) バーコードを読み取ってください。スキャナがコードレスベースに置かれていない状態でのみ読み取りを行うようにしたい場合は、Scanning in Cradle Off (コードレスベースに置いた状態での読み取り 禁止) を読み取ってください。スキャナをコードレスベースに置いてシャットダウンしたい場合は、Shut Down Scanner In Cradle (コードレスベースにおいてスキャナをシャットダウン) を読み取ってください。初期設定 = Scanning in Cradle On (コードレスベースに置いた状態での読み取り許可)



BT_SIC0.

コードレスベースに置いた状態での読み
取り禁止



BT_SIC1.

* コードレスベースに置いた状態での読み取り許可



BT_SIC2.

コードレスベースに置いてスキャナをシャットダウン

コードレスベースチャージモード

コードレスベースが外部電源（予備電源ポートに接続）とホストインターフェースケーブルの両方に接続されている場合、外部電源から電源を取ります。コードレスベースに外部電源がない場合、インターフェースケーブルから電源を取ります。しかし、スキャナのバッテリーは予備外部電源よりホストインターフェースケーブルからのほうがゆっくり充電されます。以下を使用し、スキャナを電源またはホストインターフェースケーブルから充電するか選択できます。

Base Charge Off（コードレスベースチャージオフ）が選択されると、スキャナバッテリーはコードレスベースに置かれている場合も充電されません。

External or Interface Cable Power（外部またはインターフェースケーブル電源）が選択される場合、スキャナバッテリーはコードレスベースの外部電源から充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリーはインターフェースケーブルから充電されます。

External Power Only（外部電源のみ）の場合、スキャナバッテリーは外部電源からのみ充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリーは充電されません。

注意：コードレスチャージコードレスベースを使用している場合、プレゼンテーションモード **External Power Only（外部電源のみ）** 設定のみが利用可能です。

初期設定 = External or Interface Cable Power (外部またはインターフェースケーブル電源)



BASCHG0.

コードレスベースチャージジョフ



BASCHG1.

外部またはインターフェースケーブル電源



BASCHG2.

外部電源のみ

ページング (スキャナの呼び出し)

ページングモード (スキャナの呼び出し)

初期設定では、コードレスベースのページングボタンを押すと、そのコードレスベースと通信を確立しているスキャナを呼び出します。コードレスベースのページングボタンを無効にしたい場合は、下記のPaging Mode Off (ページングモード 無効) バーコードを読み取ってください。ページングモードが無効のときは、ボタンを押してもコードレスベースまたはアクセスポイントはスキャナを呼び出さなくなります。コードレスベースの赤色 LED は点灯したままになり、ページングモードが無効であることを示します。(LED はボタンを押すと消え、ボタンが解除されると再度点灯します) 初期設定 = Paging Mode On (ページングモード 有効)

注意 : Xenon 1952HC モデルをお使いの場合、ページボタンとプレゼンテーションモードページのページボタン設定をご参照ください。



BEPPGE1.

* ページングモード On 有効



BEPPGE0.

ページングモード 無効

ページング (呼び出し) 音の音程

コードレスベースのページングボタンを押すと、そのコードレスベースと通信しているスキャナがピーツと鳴り始めます。
ページ (呼び出し) ボタン 3-4) ページ参照下記のバーコードの1つを読み取ることによってスキャナのページング音の高さを設定することができます。初期設定 = Low (低 1000Hz)



BEPPFQ1000.

* 低 (1000Hz)



BEPPFQ3250.

中 (3250Hz)



BEPPFQ4200.

高 (4200Hz)

エラーインジケータ

ブザー音の音程：コードレスベースのエラー発生時

注意：CCB01-010BT コードレスベースユニットのみの機能です。

CCB01-010BT コードレスベースをホストシステムへの通信上の問題などエラーが発生した際に特定のピッチでピーツと鳴るように設定することができます。以下のバーコードによって、エラー発生時にコードレスベースが発するエラーブザー音の音程を変更できます。初期設定 = Low (低)



BASFQ2250.

* 低 (250 Hz)



BASFQ23250.

中 (3250 Hz)



BASFQ24200.

高 (4200 Hz)

ブザー音の回数：コードレスベースのエラー発生時

注意：CCB01-010BT コードレスベースユニットのみの機能です。

エラー発生時に CCB01-010BT コードレスベースから発せられるブザー音やLEDの点滅回数を 1~9 回まで設定することができます。例えば、このオプションをエラーブザー音 5 回と設定すると、エラーに反応してエラーブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。エラーブザーの回数を変更するには、下記のバーコードを読み取ったのち、本書の裏表紙にあるかプログラミングチャートから数値 (1~9) バーコードを読み取り、次に Save (保存) バーコードを読み取ります。初期設定 = 1



BASERR.

コードレスベース：エラー発生時のブザー回数および LED 点滅

スキャナレポート

下記のバーコードを読み取ることで、接続されたスキャナについてのレポートを生成することができます。レポートには、ポート、ワークグループ、スキャナ名、アドレスが表示されます。スキャナに名前を割り当てるにはメニューコマンドシタックスページを参照してください。



RPTSCN.

スキャナレポート

スキャナのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のスキャナのアドレスを決定することができます。



コードレスベースまたはアクセスポイントのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のコードレスベースまたはアクセスポイントのアドレスを決定することができます。



スキャナモード

Xenon はスキャナ 1台または複数台のモードや、チャージコードレスベースやアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器とあわせて機能することができます。

充電限定モード

コードレスベースと通信をせずに、スキャナの充電のみをおこないたい場合があります。例えば、スキャナをアクセスポイントや他の Bluetooth 対応機器と通信しており、スキャナを充電する必要があるものの、その既存の通信を維持したい場合などです。

コードレスベースを充電限定モードに設定するには、そのコードレスベースにスキャナを1台接続しなければなりません。コードレスベースにスキャナを接続したら、Charge Only Mode（充電限定モード）バーコードを読み取ってください。その後、そのコードレスベースに差し込まれるスキャナはコードレスベースと通信せずに充電できます。設定のために使用したスキャナは、コードレスベースに接続したままとなります。そのスキャナとの通信を切断するには、スキャナとの解除を読み取ってください。



注意：充電限定モード時、スキャナは定期的に起動し、ピーツとブザーを鳴らします。この設定を変更するには、" 起動ブザー "4-1 ページを参照してください。

スキャナを充電し、コードレスベースと通信を接続したい場合は、Charge and Link Mode（充電および通信モード）を使用してください。コードレスベースが充電限定モードに設定されている場合、充電および通信モードに設定しなおすためには、まずスキャナ 1 台をそのコードレスベースと接続しなければなりません。コードレスベースのバーコードを読み取って、スキャナを接続してから Charge and Link Mode を読み取ります。初期設定 = Charge and Link Mode（充電および通信モード）



通信モード

Locked Link Mode（通信固定モード）と Open Link Mode（通信オープンモード）は、各々異なるアプリケーションに対応するモードです。これらモードを切り換えるには、下記の説明にある該当バーコードを読み取ってください。初期設定 Open Link Mode（通信オープンモード）

通信固定モード：スキャナ 1 台の場合

通信固定モードを使うと、スキャナをコードレスベース 1 台と通信させている時に誤って他のスキャナをそのコードレスベースと通信を確立しないように阻止できます。他のスキャナをコードレスベースに差し込んだ場合、スキャナは充電されますが、通信はできません。



BASCOND,DNG1.

通信固定モード
(シングルスキャナ)

異なるスキャナを使用する場合は、Unlink Scanner (スキャナとの通信解除) のバーコードを読み取って元のスキャナとの通信を切断します。

通信オープンモード

納品されたばかりのときや初期設定に戻された場合、スキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントと接続していません。スキャナをコードレスベースまたはアクセスポイントに差し込むと通信が確立されます。通信オープンモードの場合、新しいスキャナをコードレスベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードを読み取ると新しい通信を確立します。スキャナを1台コードレスベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードをスキャンするたびにそのスキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントに接続し、以前に接続していたスキャナとの通信は解除されます。



BASCON1,DNG1.

* 通信オープンモード
(シングルスキャナ)

スキャナとの通信解除

コードレスベースまたはアクセスポイントとスキャナが通信している場合、まずスキャナの通信を解除しなければ次の新しいスキャナと接続することができません。元のスキャナとの通信解除を行うと、コードレスベースまたはアクセスポイントは通信を切断します。コードレスベースまたはアクセスポイントとスキャナの通信を解除するには、下記の Unlink Scanner (スキャナとの解除) バーコードを読み取ってください。



BT_RMV.

スキャナとの解除

通信固定されたスキャナの上書き

チャージコードレスベースまたはアクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の **Override Locked Scanner** バーコードを読み取り、スキャナをコードレスベースユニットに置くと、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのコードレスベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

通信範囲外アラーム

コードレスベースの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、コードレスベースとスキャナの両方からアラーム音が鳴ります。アクセスポイントの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントに近づくか、コードレスベースまたはアクセスポイントが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過すると、アラームは止まります。スキャナまたはコードレスベースのアラームを有効にし、アラームが鳴る時間を設定するには下記の該当するバーコードを読み取り、その後、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数値を読み取り、タイムアウト時間（0 ～ 3000秒の間）を設定し、Save（保存）を読み取ります。

初期設定＝0 秒（アラームなし）



BASORD.

コードレスベースアラームの鳴動時間

注意：アクセスポイントにはコードレスベースアラームがありません。



BT ORD.

スキャナアラームの鳴動時間

注意：バーコード読み取り時に通信範囲外にいる場合、アラームを設定していなくても、エラーブザーが鳴ります。コードレスベース、アクセスポイントまたはホストヘータを送信することができない場合でも、同じくエラーブザーが鳴るようになっています。

アラーム音の種類

下記から該当するバーコードを読み取り、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数値（0～7）のバーコードとSaveを読み取ることで、スキャナやコードレスベースのアラーム音の種類を変更することができます。

初期設定＝0

アラーム音の種類：

設定	音
0	3 回長くピーツという音、音程 - 中
1	3 回長くピーツという音、音程 - 高
2	4 回短くピーツという音、音程 - 中
3	4 回短くピーツという音、音程 - 高
4	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 中
5	鳥のさえずりのような音が 2 回+ 1 回、音程 - 中
6	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 高
7	鳥のさえずりのような音が 2 回+ 1 回、音程 - 高



BASORW.

コードレスベースアラームの種類

注意：CCB01-010BT のみアラームがあります。



BT_ORW.

スキャナアラームの種類

スキャナパワータイムアウトタイマー

注意：スキャナパワータイムアウトタイマーは、コードレスシステムのみに適応されます。有線スキャナには適用できませんので、ご注意ください

指定時間内に動作しない場合、スキャナは低パワーモードに入ります。適切なスキャナパワータイムアウトバーコードを読み取って、タイムアウトの長さを秒単位で変更してください。

注意： タイムアウトの長さを「0」にすると、タイムアウトがない状態になります。

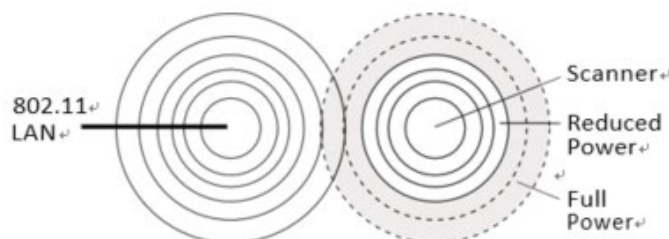
タイムアウト時間内にスキャナのトリガーを引かなかった場合、スキャナはパワーダウンモードに入ります。トリガーが有効・無効に関わらず、タイマーはリセットされます。スキャナがコードレスベースユニットに置かれていて、かつバッテリーが充電中の場合は、パワーダウンモードにはなりません。初期設定 = 3,600 秒



注意：スキャナがパワーダウンモードに入っている時にトリガーを引くと、パワーが戻ります。起動ブザーが鳴り、無線通信に入るまで数秒の遅れが発生します。その後、スキャナを使用できます。

出力管理

ネットワーク性能に問題があり、スキャナが他の装置と混線していると思われる場合は、スキャナの出力を下げることで済みます。これにより、下記の図に示されるとおり、スキャナまたはアクセスポイントとコードレスベース間の通信可能範囲が縮小されます。



Xenon XP 1952g/1852h 出力管理

下記のバーコードの1つを読み込むことで、以下のいずれかの出力を選択して設定することができます。完全出力（100%）、出力 - 中（35%）、出力 - 中低（5%）、出力 - 低（1%） 初期設定 = Full Power（フルパワー）



BT_TXP100.

* フルパワー



BT_TXP35.

出力 - 中



BT_TXP5.

出力 - 中低



BT_TXP1.

出力 - 低

Xenon XP 1952g-BF/1852h-BF 出力管理

下記のバーコードの1つを読み込むことで、以下のいずれかの出力を選択して設定することができます。完全出力（100%）、出力 - 高（87%）、出力 - 高中（50%）出力 - 低（1%） 初期設定 = Full Power（フルパワー）



BT_TXP8.

* フルパワー



BT_TXP7.

出力 - 高



BT_TXP4.

出力 - 高中



BT_TXP1.

出力 - 低

バッチモード

バッチモードは、スキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、または棚卸をするときのバーコードデータ保存に使用します。スキャナが通信範囲内に戻ったとき、あるいは記録が手作業で送信されたとき、データはコードレスベース またはアクセスポイントへ送信されます。

注意：バッチモードはハネウェルチャージ通信コードレスベース（CCB）とハネウェルアクセスポイント（AP）のみサポートしています。1台のコードレスベースまたはアクセスポイントに対して複数のスキャナを使用する際、バッチモードには限界があります。マルチリンクモードを使用すれば、最多7台のスキャナを1台のコードレスベースまたはアクセスポイントに接続することが可能です。ただし、スキャナが通信範囲エリアを常に出入りしている場合、蓄積された、もしくはバッチ処理された読み取りデータが失われる可能性があります。

Automatic Batch Mode（自動バッチモード）はスキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、バーコードデータを保存します。スキャナが通信範囲内に戻ると、データはコードレスベースへ自動的に送信されます。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、スキャナをコードレスベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に戻り、データが送信できるようにしなければなりません。

Inventory Batch Mode（棚卸バッチモード）ではコードレスベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に居る・居ないに関わらず、バーコードデータを保存します。保存されたデータをコードレスベースへ送信するには、スキャナをコードレスベースに差し込むか、棚卸の記録を送信のTransmit Inventory Records（棚卸レコードを送信）を読み取ります。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、データをコードレスベースまたはアクセスポイントへ送信しなければなりません。データを送信すると、スキャナ内のデータはクリアされます。

Persistent Batch Mode（持続バッチモード）はデータがコードレスベースまたはアクセスポイントに送信してもスキャナに保持される以外、Inventory Batch Mode と同じです。1回以上送信したい場合は、このモードを使用してください。スキャナのバッファをクリアするには、すべてのコードを削除のバーコードをスキャンしてください。

初期設定 = Batch Mode Off. （バッチモード 無効）



BATENA0.

* バッチモードオフ



BATENA1.

自動バッチモード



BATENA2.

棚卸バッチモード



BATENA3.

持続バッチモード

バッチモード：ブザー音

バッチモード使用時に棚卸バッチモード（バッチモードブザー 有効）を読み取ると、各バーコードを読み、そして保存するたびにスキヤナがカチッと鳴るように設定できます。Granit スキヤナの場合、振動します。**Batch Mode Beep** が有効の場合、各バーコードがホストに送信されるとクリック音が鳴ります。この音を無効にするには、バッチモードブザー無効をスキャンしてください。*初期設定 = Batch Mode Beep On*（バッチモードブザー 有効）



BATBEP0.

バッチモードブザー 無効



BATBEP1.

* バッチモードブザー 有効

バッチモード：保存形式

バッチモードにおいて、スキヤナがデータを保存する際、フラッシュメモリに保存するか RAM に保存するかを選択できます。

フラッシュ保存：スキヤナが低出力になる前に、送信していないデータをすべてフラッシュメモリに書き込みます。スキヤナが再起動した際もデータは残っています。しかし、スキヤナのパワーダウンタイムアウトに達した場合やバッテリー残量が非常に少なくなると、未送信のデータがあってもスキヤナは低出力になります。

RAM 保存：未送信データがスキヤナに残っているとき、スキヤナはパワーダウンタイムアウトに達しても低出力になりません。しかし、バッテリー切れになった場合は、スキヤナは低出力になり、データは失われます。

初期設定 = Flash Storage（フラッシュメモリに保存）



BATNVS1.

* フラッシュメモリに保存



BATNVS0.

RAMメモリに保存

バッチモード：個数

バッチモードにおいて、同一のバーコードを何個も送信するのではなく、バーコードの個数を送信したいことがあるかもしれません。例えば、Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数 無効）の状態で XYZ という 3 つのバーコードを読み取ったとすると、そのデータを送信したときには、XYZ が 3 個表示されます。Batch Mode Quantity On（バッチモードの個数 有効）との Quantity Codes（個数コード）を使えば代わりに「XYZ, 00003」と出力することができます。

注意：出力した内容をフォーマットしたい場合、例えばバーコードデータと数量の間に CR や Tab を挿入したいときは、データフォーマットページのデータフォーマットの項を参照してください。

初期設定 = Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数 無効）



BATQTY0.

* バッチモードの個数 無効



BATQTY1.

バッチモードの個数 有効

個数の入力

Quantity Codes（個数コード）を用いれば、最後に読み取ったバーコードについて、9999 までの個数（初期設定 = 1）を入力できます。個数の数字は右から左へ移動しますので、5 桁目の数字が読み込まれると既に読み込んだ 1 桁目の数字がなくなり、2・3・4 桁目の数字が左へずれて、新たな 1 桁を迎え入れます。

例えば、個数が 1234 に設定されたあとで、Quantity 5 バーコードを読み取ると、1 が脱落し、個数は 2345 になります。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 5 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 1,500 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 1 のバーコードを読み取ってください。
3. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。
4. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。
5. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：個数を 103 から 10 に変更する場合

間違った個数を訂正するには、Quantity 0 のバーコードを読み取り、間違った数字を置き換えます。その後、正しい数量コードを読み取ります。

1. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 1030 に変更します。
2. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0300 に変更します。
3. Quantity 1 バーコードを読み取って個数を 3001 に変更します。
4. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0010 に変更します。

初期設定=1

個数コード





BATNUM6.

6



BATNUM7.

7



BATNUM8.

8



BATNUM9.

9

バッチモード：出力順序

バッチモードでデータを送信する際には、データをFIFO（先入れ先出し）で送信するか、LIFO（後入れ先出し）で送信するかを選択してください。初期設定 = Batch Mode FIFO（先入れ先出し）



BATLIFO.

* バッチモード 先入れ先出し



BATLIF1.

バッチモード 後入れ先出し

レコードの合計件数

バッチモードの間に読み取ったバーコードの数量を出力したい場合は、Total Records（レコードの合計件数）を読み取ってください。



BATNRC.

レコードの合計件数

最後のコードを削除

バッチモードにおいて、最後に読み取ったバーコードを削除したい場合は Delete Last Code（最後のコードを削除）を読み取ってください。



BATUND.

最後のコードを削除

すべてのコードを削除

スキャナのバッファからバッチモードで蓄積されたすべてのデータを消去したい場合は、Clear All Codes（すべてのコードを削除）を読み取ってください。



保存したデータをホストシステムへ送信

Inventory Batch Mode (棚卸バッチモードページ参照)において、保存されたすべてのデータをホストシステムへ送信するには、下記のバーコードを読み取ってください。



バッチモード：送信ディレイ（間隔）

蓄積されたスキャンデータをホストシステムへ送信する際、送信が速すぎてアプリケーションが処理しきれないことがあります。蓄積されたスキャンデータ間にディレイ（間隔）を設定するには、下記のディレイのいずれかを読み取ってください。
初期設定 = Off（無効）

注意：ほとんどの場合、ディレイは短い（250 ミリ秒）ことが理想です。しかし、より長いディレイを設定することもできます。詳細については、テクニカルサポートにご連絡ください。



パッチモードの送信ディレイ 短
(250 ms)



複数スキャナでの操作

注意：Multiple Scanner Operation Mode（複数スキャナ操作モード）では、1台のコードレスベースまたはアクセスポイントにスキャナを最多 7 台まで接続することができます。その 7 台のスキャナのうち、1 台の通信を解除するか、通信可能範囲の外へ持ち出さなければ、8 番目のスキャナを追加することはできません。

スキャナを複数スキャナ操作モードに追加するには、以下のバーコードを読み取ってください。このバーコードを読み取る と、スキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントとの通信から解除されるため、再度接続するには、そのスキャナをコード

レスペースに差し込むか、アクセスポイント通信バーコードをスキャンしなければなりません。



BASCON2.DNG3.

複数スキャナでの操作

スキャナ名

使用中の各スキャナを識別できるように、それぞれに名前をつけることができます。例えば、コードレスペースまたはアクセスポイントから送信された画像コマンドを受信するスキャナに独自の識別名称をつけたいときなどです。

初期設定名は ScannerName_Model_SN_XXXXXXXXXX です。コードレスペースに複数のスキャナが接続されており、それらすべての同一の初期設定名が付いている場合、コードレスペースに最初に接続されたスキャナがコマンドを受信します。同一の初期設定名が付いている一連のスキャナの名称変更する際は、1 台を残してすべてのスキャナをコードレスペースとの通信から解除してください。

名称変更の操作はスキャナ名のセクションにあるバーコードを読み取るか、シリアルコマンド

「**ScannerName**:BT_NAMNEWname」を送信します。（NewName は新しいスキャナの名前）他のスキャナの名称も変更したい場合は、1 台ずつ接続し、各スキャナに

「ScannerName:BT_NAMname」(Xenon の場合、「Xenon:BT_NAMname」というコマンドを繰り返します。

スキャナに順序だった番号で名称変更する場合には、下記のバーコードを読み取ってください。名称を変更するたびに、Reset（リセット）コードを読み取り、スキャナがコードレスペースまたはアクセスポイントと再度接続するまで待ってから、次のスキャナを名称変更するためのバーコードを読み取ってください。



BT_NAM0001.

0001



BT_NAM0002.

0002



BT_NAM0003.

0003



BT_NAM0004.

0004



BT_NAM0005.

0005



BT_NAM0006.

0006



BT_NAM0007.

0007



RESET.

リセット

下記の Scanner Name（スキャナ名）バーコードを読み取り、その後スキャナ名として数字を読み取ることも可能です。例えば、通信済のスキャナを「312」と命名したい場合、下記のバーコードを読み取り、本書の裏表紙にあるプログラミングチャートから 3、1、2 のバーコードを読み取り、Save（保存）を読み取ってください。Reset バーコードを読み取り、スキャナがコードレスペースに再度接続されるまで待ってください。



BT_NAM.

スキャナ名

アプリケーションワークグループ

ご使用のコードレスシステムでは、1台のコードレスベースに対し最多 7 台までスキャナを接続することができます。また、最高7つまでワークグループを設定できます。すべてのスキャナを同一の設定にしたい場合は、複数のワークグループを使用する必要はありません。一方、各スキャナに独特な設定（ブザー音量、プリフィックス/ サフィックス、データフォーマットなど）を施したい場合は、各スキャナが独自のワークグループを持つように設定し、各スキャナを独立させることができます。例えば、小売/ 倉庫のアプリケーションでは、倉庫と小売店舗内でそれぞれ異なったデータをバーコードに付して使用したいことがあるかもしれません。その場合、小売店舗内のスキャナをすべて1つのワークグループに割り当て、倉庫内のスキャナをすべてもう1つのワークグループに割り当てることが可能です。これにより、小売店舗内であれ倉庫であれ、変更点は該当するワークグループ内のスキャナすべてに適用されます。ハネウエルの設定ツール、EZConfig では、複数のスキャナ、複数のワークグループへの設定変更が容易にできるようになっています。

スキャナは、自らが使用しているメニュー設定を保存しています。スキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントに接続または再接続するたびにコードレスベースまたはアクセスポイントからスキャナにそのワークグループの最新設定が送信され、そして更新されます。また、スキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントによって処理されたメニュー設定変更も受信します。スキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントから外されて別のコードレスベースまたはアクセスポイントに差し込まれたりすると、そのスキャナに元々割り当てられていたワークグループの新しい設定で更新されます。例えば、最初にコードレスベースと接続した際はワークグループ 1 だったスキャナは、2 台目のコードレスベースでもワークグループ 1 となり、関連の設定が付与されます。

アプリケーションワークグループセレクション

ここでは、下記のバーコードを読み取ることによってスキャナを特定のワークグループに割り当てることができます。その後、ご使用のアプリケーションが必要とする設定（ブザー音量、プリフィックス/ サフィックス、データフォーマットなど）を設定することができます。初期設定 = Group 0（グループ 0）



GRPSEL0.
* グループ 0



GRPSEL1.
グループ 1



GRPSEL2.
グループ 2



GRPSEL3.
グループ 3



GRPSEL4.
グループ 4



GRPSEL5.
グループ 5



GRPSEL6.
グループ 6

初期設定へのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

下記のバーコードを読み取ると、すべてのワークグループを工場出荷時設定に戻します。



PAPDFT&

工場出荷時設定にリセット：
すべてのワークグループ

工場出荷時設定の詳細については、メニューコマンドページのメニューコマンドの表を参照してください。標準製品の各コマンド初期設定は「*」で示されています。

注意：このバーコードを読み取ると、スキャナとコードレスベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキャナをコードレスベースに差し込まなければなりません。詳細は、スキャナモードページのスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがコードレスベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

カスタムデフォルトへのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

すべてのワークグループをカスタムデフォルト設定に戻したい場合は、下記の Custom Product Default Settings（カスタムデフォルト設定）バーコードを読み取ってください。カスタムデフォルトがない場合は、初期設定へリセットされます。カスタムデフォルトについての詳細は、「カスタムデフォルトの設定」1-13 ページのカスタムデフォルトの設定を参照してください。



PAPDFT.

カスタムデフォルト設定：
すべてのワークグループ

注意：このバーコードを読み取ると、スキャナとコードレスベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキャナをコードレスベースに差し込まなければなりません。詳細は、スキャナモードページのスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがコードレスベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

Bluetooth 対応機器との併用

スキャナはチャージコードレスベースまたはアクセスポイントや他の Bluetooth対応機器とも併せて使用することが可能です。他の Bluetooth 対応機器には、PC、ノート型 PC、PDA/ ハンディターミナルなどを含みます。

Bluetooth Secure Simple Pairing (SSP)

Secure Simple Pairing (SSP モード) は暗証コードを入力することなしに、以下で Bluetooth HID キーボード接続説明するように、他の Bluetooth 機器と簡単に安全に接続できます。SSP モードは Bluetooth バージョン 2.1 以降で利用できます。SSP モードでは暗証コードはペアリングに必要ありません。互換性のある Bluetooth バージョンを使用していない場合、SSP モードを無効にしてください。初期設定 = Bluetooth SSP 有効

注意：SSP モードは Granit1981i でのみ利用できます。



BT_SSP1.

* Bluetooth SPP 有効



BT_SSP0.

Bluetooth SPP 無効

Bluetooth HID キーボード接続

お使いのスキナは、iPad やスマートフォン、ノート型 PC などBluetooth 対応機器 と接続することが可能です。キーボードによるデータ入力と同じように、読み取ったデータが画面に表示されます。Bluetooth 機器と通信を確立するには、以下の手順に沿ってください。

1. Bluetooth HID Keyboard Connect (Bluetooth HID キーボード接続) を読み取ります。



Bluetooth HID 日本語キーボード接続

2. Bluetooth 対応ホストデバイスを立ち上げて、他の Bluetooth 機器を検索します。(ホストデバイスのユーザーズガイドを参照してください)
3. ホストデバイスがスキナを検知したら、スキナ名を選択してください。Bluetooth Secure Simple Pairing (SSP) デバイスを使用している場合、自動的に接続されます。使用していない場合、60 秒以内に入力する PIN コードをランダムに表示します。下記の Bluetooth PIN Code (Bluetooth PIN コード) を素早く読み取って、後続ページの番号バーコードを読み取ってください。最後に Save (保存) を読み取ります。





バーチャルキーボード

スキャナがiPad やスマートフォン、ノート型 PC など接続されると、スキャナのトリガーを 2 回素早く引くことでバーチャルキーボード入力ができます。

Bluetooth HID キーボード通信切断

お使いのスキャナが、Bluetooth HID キーボード接続によって iPad やスマートフォン、ノート型 PC のようなホストデバイスに直接接続されている場合、コードレスベースユニットに再接続する為に Bluetooth 接続を一旦切断する必要があります。Bluetooth HID Keyboard Disconnect (Bluetooth HID キーボード 通信切断) を読み取って、ホストデバイスとスキャナ間の通信を切断してください。コードレスベースユニットまたはアクセスポイント上の接続バーコードを読み取って、スキャナを再接続してください。



Bluetooth Low Energy (BLE) Devices接続

BLE機器との接続を行う時は以下のバーコードをスキャンします。スキャナを接続する時はHID BLE接続を、スキャナと相互にコミュニケーションを行う時は Serial BLE 接続をスキャンします。



Bluetooth シリアルポート : デスクトップ型 PC/ ノート型 PC

下記の Non-Base BT Connection（コードレスベースなし BT 接続）バーコードを読み取ると、スキャナを他の

Bluetooth 対応機器（PC/ ノート型 PC など）と併せて使用できるようになります。この設定を有効にすると、スキャナは RS232C インターフェースのスキャナと同様の動作を行い読み取ったデータを出力する為に PC 上の COM ポートを開く必要があります。

下記のバーコードを読み取った後、ご使用の Bluetooth 対応機器添付の取扱説明書に従い、スキャナを認識し、接続してください。スキャナを持って通信可能範囲の外に出ると、通信可能範囲内に戻ってきたとしても Bluetooth 対応機器に接続しませんのでご注意ください。チャージコードレスベースに再接続したい場合は、通信固定されたの上書きページを参照してください。

注意：スキャナをチャージコードレスベースまたはアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器と併せて使用している場合、複数のワークグループのオプションは使用できません。



BT_TRM0;BT_DNG5.

Non-Base BT Connection

PDA やモバイルデバイスとの コードレスベースなしBT 接続

スキャナを PDA やハネウエルのハンディターミナルと併せて使用することもできます。下記のバーコードを読み取り、ご使用の Bluetooth 対応機器に添付されていた取扱説明に従って、スキャナを認識し接続してください。



BT_TRM0;BT_DNG1.

PDA/ ハンディターミナル

スキャナの Bluetooth 暗証コード変更

一部の機器には、Bluetooth セキュリティ機能の一環として、暗証コードが必要です。スキャナの初期設定の暗証記号は 1234 で、ご使用の PDA または PC に初めて接続する際、入力が必要かもしれません。暗証コードは 1～16 文字の間でなければなりません。暗証コードを変更するには、下記のバーコードを読み取り、その後本書の裏表紙にあるプログラミングチャートから該当の数値バーコードを読み取ります。Save（保存）を読み取って選定した内容を保存してください。



BT_PIN.

Bluetooth 暗証コード

Bluetooth/ISM 帯域ネットワーク干渉の最小化

この設定は、コードレスエリアイメージングシステムの再接続時の動作をカスタマイズし、利便性を確保しながら、干渉を低く抑えるための最適な妥協点を見出すのに役立ちます。

注意：ISM 帯域とは、無線ネットワーク、コードレス電話、Bluetooth が使用する 2.4 GHz から 2.48 GHz の周波数帯域を指します。

自動再接続モード

自動再接続は、接続が中断されたことが検出されたときに、スキャナが自動的に再接続のプロセスを開始するか否かを制御するものです。AutoReconnectOn（自動再接続 有効）のバーコードを読み取ると、スキャナはユーザーの介入なしにただちに再接続のプロセスを開始します。初期設定 = Auto Reconnect On（自動再接続 有効）



BT_ACM1.

* 自動再接続 有効



BT_ACM0.

自動再接続 無効

注意 : Bluetooth のインターフェースモジュールに接続している場合には、Auto Reconnect Off に設定してください。

下の表は、Auto Reconnect が有効 および無効設定時の結果です。

事象	自動再接続 有効	自動再接続 無効
スキャナが通信範囲外にあるとき	自動的に再接続されます。再接続を最高限度回数まで試行しても成功しない場合は、トリガーを引くか、スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むか、接続バーコードを読み取るかのいずれかによってスキャナの再接続を行ってください。(" 再接続試行回数 "3-26 ページ) の再接続試行回数を参照	スキャナはトリガーを引くか、アクセスポイント接続バーコードを読み取ることによって再度接続されます。
(ファームウェアのアップグレードもしくは電源再起動により) コードレスベースまたはアクセスポイントリセットされたとき	スキャナは通信範囲外にあるかのように動作します。	コードレスベースまたはアクセスポイントの間は、再接続を試行しません。再接続を始めるためには、トリガーを引いてください。
スキャナのパワータイムアウトタイマーの設定によりスキャナの電源がオフのとき参照(4-7 ページ参照)	再接続を行うには、トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをコードレスベースに差し込むかのいずれかを行います。 (注意：スキャナは起動時に再接続しますが、起動するには上記の操作いずれかを行なう必要があります。)	
ファームウェアのアップグレードによりスキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
バッテリー交換により、スキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
スキャナが別のコードレスベースユニットに差し込まれたとき	自動的に新しいコードレスベースと接続します。	

再接続試行回数

再接続試行回数は、スキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントとの接続を試みる回数を制御します。接続セットアッププロセスの間、スキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントを捜し、接続すべく発信を行います。発信をし続けることによって、ISM 帯域の他のユーザーに影響するのを避けるため、この設定によって接続試行回数が制限されています。再接続試行回数に達すると、スキャナはコードレスベースまたはアクセスポイントへの再接続を断念します。トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをコードレスベースまたはアクセスポイントに差し込むかのいずれかを行うことで試行回数がリセットされ、スキャナは再度接続を試みるようになります。

Maximum Link Attempts (再接続試行回数) バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定試行回数 (0 ~100) を読み取ってください。Save (保存) を読み取って、設定を保存します。初期設定 = 0



BT MLA
再接続試行最高限度回数

注意：自動再接続モードが有効のとき、再接続試行回数を 0 に設定すると、スキャナはパワータイムアウトタイマー設定時間が経過するまで、通信を試みます。自動再接続モードが無効のとき、再接続試行回数を 0 に設定すると、スキャナはトリガーが引かれたあと1回だけ再接続を試みます。

再接続タイムアウト

再接続タイムアウトは、再接続試行中のアイドル時間を制御します。コードレスベースまたはアクセスポイントとの接続を再試行するには、一般に最高 5 秒ほどかかります。これはスキャナが実際にコンタクトしようと試みている時間です。再接続タイムアウトは1回接続を試み終わってから次に試み始めるまでの経過時間を秒単位で制御します。

注意：試行時の所要時間は、1 台のコードレスベースユニットまたはアクセスポイントに接続されているスキャナの台数によって異なります。接続に成功したときには、さらに 7 秒かかることもあります。

Relink Time-Out（再接続タイムアウト）バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定秒数（0 ～ 100）を読み取ってください。Save（保存）を読み取って、設定を保存します。初期設定 = 3 秒



BT_RLT
再接続タイムアウト

Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例

初期設定

スキャナが通信範囲外に出ると、コードレスベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を何回も試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドルタイム約 3 秒がかかります。1時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

再接続試行回数 15、他の値は

初期設定値の場合：

スキャナが通信範囲外に出ると、コードレスベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドルタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（8 x 15 = 120）すなわち、約 2 分後に、スキャナはコードレスベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたバーコードは保存されています。1時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

自動再接続モードを 0 に設定

定、再接続試行回数 15、他の

値は初期設定値の場合：

スキャナが通信範囲外に出ても、再接続を一切試みません。トリガーを引くと、コードレスベースユニットまたはアクセスポイントへのリンクを 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドルタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（8 x 15 = 120）すなわち、約 2 分後に、スキャナはコードレスベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。1時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。他にどのような事象によって再接続プロセスが始まるか、自動再接続モードページの自動再接続モードを参照してください。

自動再接続モードを 1 に設定、

再接続試行回数 0、再接続タイ

ムアウトを 10 に、

スキャナパワータイムアウトを 1800 に設定した場合：

注意：スキャナパワータイムアウトタイマーページを参照してください。

スキャナは 1 回の試行開始から次の試行開始まで、15 秒の間隔でコードレスベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を試みます。30 分経過すると、スキャナの電源がオフになります。

ホストコマンドの認知

一部のアプリケーションでは、送信されてきたバーコードをホストターミナル（ないしサーバー）が承認するか、または却下することを要求し、この処理をユーザーに知らせるよう要求します。ホスト ACK モードでは、スキャナは各スキャン後に返答を待ちます。視覚的聴覚的レスポンスでオペレーターはフィードバックを得られます。ホスト ACK を有効にすることによってスキャナはホストシステムからのコマンドに反応する状態になります。

注意：ホスト ACK を 9600 未満のボーレートで使用すると、システム性能が落ちますので、ご注意ください。

ホスト ACK を正常に作動させる為には、下記の条件を満たす必要があります。

- コードレスシステムがホストのポート RS232 (ターミナル ID = 000) もしくは USB COM エミュレーション (ターミナル ID = 130) に設定してください。
- RTS/CTS の初期設定は無効です。ホストシステムが RTS/CTS を必要としている場合は、有効にしなければなりません。
- ホスト ACK を有効にしてください。
- 区切り文字にはカンマが必要です。
- ホストターミナルのソフトウェアには、バーコードデータを解釈し、かつデータの内容によって決定を下す能力が必要とされます。スキャナへ適切なエスケープコマンドを送信する能力が必要です。

エスケープコマンドは「アプリケーションワークグループ」を介してスキャナへ送信されます。コマンドが送信されると、そのグループ内のスキャナすべてがコマンドに反応します。そのため、各スキャナにホスト ACK モードで自分専用のグループを割り当てることを推奨します。

[ESC] は Hex 値での 1B です。典型的なコマンドストリングは y<ESC>x で「y」はアプリケーションワークグループ番号、「<ESC>x」はエスケープコマンド、コンマは終止符が必要です。（「y」が特定されていない場合、コマンドは初期設定の Application Work Group 0 に送信されます。）

Example: コマンドをつなげて、カスタマイズされたリスponsシーケンスを作成することもできます。以下はコマンドストリングの一例です。

0[ESC]4,[ESC]5,[ESC]6,

上記の例では、アプリケーションワークグループがゼロのスキャナが、始めは小さい音でピーッと、その後中位の音でピーッと、さらにその後大きな音でピーッと鳴ります。

Example: ファイルのどのアイテムにもピーツ音が必要ですが、ファイルにアイテムがない場合、エラーブザーが必要です。この場合、

オンファイル製品用に [ESC]7 がホストへ送信されます。

非オンファイル製品用に [ESC]8、[ESC]8 がホストへ送信されます。

バーコードがスキャンされると、スキャナはホスト ACK シーケンスまたはタイムアウト（初期設定 10 秒）になるまでのタイムアウト期間を入力します。

ホスト ACK が有効なとき、システムは次のように機能します。

- スキャナはバーコードを読み、ホストシステムに送信すべく、コードレスベースユニットまたはアクセスポイントにデータを送ります。スキャナがエスケープコマンドを受信するまで音や視覚によるインジケータは発せられません。読み取りに成功すると、スキャナの読み取り用ライトが消えます。
- 以下のいずれかになるまで、スキャナの操作は中止されます。
 - 1) コードレスベースユニットを介して、ホストシステムからの有効なエスケープ・ストリングを受信する。
 - 2) スキャナがタイムアウトになる。
- 上記の 1) ないし 2) の条件が満たされると、スキャナは再び読み取り準備が整い、プロセスが繰り返されます。

スキャナが 10 秒以内に有効なエスケープコマンドを受信しなければ、タイムアウトが起きます。タイムアウトはエラーブザーで示されます。タイムアウトになった場合、ユーザーはホストシステムをチェックしてスキャナへの応答がなぜ受信されなかったのかを確認してください。

ホスト ACK



ホスト ACKタイムアウト

ホストACK使用時、スキャナが正しいコマンドを受取るまで待ち続ける時間のタイムアウトを設定する事が出来ます。以下のバーコードをスキャンして、何秒待ってタイムアウトするかを設定します。



ホスト ACK のレスポンス

コマンド	動作
[ESC] a,	2 回ピーツと鳴り、設定変更成功したことを示します。
[ESC] b,	エラーブザーが鳴り、設定変更が成功しなかったことを示します。
[ESC] 1,	緑のLED が 135 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 2,	緑のLED が 2 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 3,	緑のLED が 5 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 4,	小さい音で 1 回ピーツと鳴ります。
[ESC] 5,	中位の音で 1 回ピーツと鳴ります。
[ESC] 6,	大きい音で 1 回ピーツと鳴ります。
[ESC] 7,	連続音で、読み取りとホストへの通信が成功したことを示します。
ESC 8, ESC J	ホストへの読み取りまたは通信が失敗したことを表すエラーブザーが鳴ります。

入力・出力設定

起動ブザー

注意：本機能は CCB02-100BT/CCB05-100BT コードレスベースは非対応です。

スキャナは、電源が入るとブザーが鳴るようになっています。コードレスシステムをご使用の場合は、電源を入れるとコードレスベースが鳴るようになっています。起動ブザーをお使いにならない場合は、Off バーコードを読み取ってください。

初期設定 =Power Up Beeper On – Scanner (スキャナ、起動ブザー有効)



BEPPWR0.

スキャナ、起動ブザー無効



BEPPWR1.

* スキャナ、起動ブザー有効



BASPWR0.

コードレスベース、起動ブザー
無効



BASPWR1.

コードレスベース、起動ブザー
有効

BEL ブザー

ホストからのコマンドに対してブザーを鳴らしたい場合は、下の Beep on BEL On (BEL ブザー 有効) バーコードを読み取ってください。スキャナがホストから BEL キャラクタを受信するたびにブザーが鳴ります。初期設定 = Beep on BEL Off (BEL ブザー 無効)



BELBEP0.

*BEL ブザー 無効



BELBEP1.

BEL ブザー 有効

トリガークリック音

トリガーを引くたびにクリック音が聞こえるようにしたい場合は、下のTrigger Click On（トリガークリック音 有効）バーコードを読み取ってください。クリック音が聞こえないようにするには、Trigger Click Off（トリガークリック音 無効）コードを読み取ります。（シリアルトリガーモードもしくは自動読み取りモードには影響しません）初期設定 = Trigger Click Off（トリガークリック音 無効）



BEPTRG0.

* トリガークリック音 無効



BEPTRG1.

トリガークリック音 有効

読み取り成功インジケータ

ブザー：読み取り成功時

読み取りに成功した場合のブザーを **On** または **Off** に設定できます。この設定を無効にすると、読み取り成功時のインジケータの中でもブザーだけを無効にします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。初期設定 = Beeper -Good Read On（読み取り成功のブザー 有効）



BEPBEP0.

読み取り成功のブザー 無効



BEPBEP1.

* 読み取り成功のブザー 有効

ブザーの音量：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザーの音量を変更します。初期設定 = (Granit/Xenon はHigh（大） Xenon HC はLow（低）



BEPLVL1.

* 小



BEPLVL2.

* 中



BEPLVL3.

* 大



BEPLVL0.

Off（無し）

ブザーの音程：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の音程（周波数）を変更します。中音程は Xenon と Granit スキャナで異なります。初期設定 = Medium（中）



BEPFQ11600.

低 (1600 Hz)



BEPFQ12700.

* 中 - Xenon
(2700 Hz)



BEPFQ14200.

高 (4200 Hz)

振動：読み取り成功時

バーコードの読取に成功するとスキャナは 1 回振動し、設定バーコードの読取に成功すると 2 回振動します。設定バーコードの読取に失敗すると、スキャナは 1 回長く振動します。（2 回分の長さ）振動を使用しない場合は、**Vibrate - Good Read Off**（読み取り成功の振動 オフ）を読み取ってください。初期設定 = Vibrate - Good Read On（読取成功の振動 オン）



TFBGRD0.

読み取り成功時の振動 無効



TFBGRD1.

* 読み取り成功時の振動 有効

振動時間

読み取り成功時の振動の長さを設定したい場合、以下のバーコードをスキャンし、裏表紙の内側から数字を読み取って (100 ~ 2,000 ミリ秒) の長さを設定し **Save** を読み取ります。初期設定 = 100 ms



TFBDR.

振動時間

ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時

エラー発生時にスキャナが発するエラーブザー音の音程を変更できます。初期設定 = Razz（低）



BEPFQ2250.

* 低 (Razz) (250 Hz)



ブザーの長さ：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の長さを変更します。初期設定＝ Normal (通常)



LED：読み取り成功時

読み取り成功時に点灯する LED を On または Off に設定できます。初期設定＝ On (有効)



ブザーの回数：読み取り成功時

読み取り成功時のブザー回数を 1～9 に設定できます。読み取り成功時のブザー回数を設定すると、その回数が読み取り成功時のブザーと LED の回数として適用されます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、読み取り成功に反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザーと LED の点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次にプログラミングチャートにある数字 (1～9) バーコードと Save (保存) バーコードを読み取ります。初期設定 = 1



BEP RPT.

Number of Good Read Beeps/LED Flashes (読み取り回数)

ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時

読み取り失敗時およびエラー発生時にスキヤナが鳴らすブザーやLED の点滅回数を 1～9 のうちで設定できます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、エラーに反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次にプログラミングチャートにある数字 (1～9) バーコードを読み取り、次に Save (保存) バーコードを読み取ります。初期設定 = 1



BEP ERR.

ブザー音最大

読み取り成功ディレイ

読み取り成功後、次のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。初期設定 = 0 ミリ秒 (ディレイなし)



DLYGRD0.

* ディレイなし



DLYGRD500.

短い ディレイ (500 ms)



DLYGRD1000.

中位のディレイ (1,000 ms)



DLYGRD1500.

長いディレイ (1,500 ms)

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

読み取り成功ディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ（0 ～ 30,000 ミリ秒）を設定し、最後に **Save**（保存）を読み取ります。



DLYGRD.

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

トリガーモード

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。Normal（標準）と Enhanced（強化）の二つのモードから選択できます。ノーマルモードでは、高速で広い読取範囲（読取深度）で読み取ります。強化モードでは、最速の読み取りを行いますが、ノーマルモードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。*初期設定* = Manual Trigger Mode – Normal（マニュアルトリガーモード 標準）



PAPHHF.

* マニュアルトリガー 標準



PAPHHS.

マニュアルトリガー 強化

トリガートグルモード

トリガートグルモードはトリガーを2, 3回押すことで、簡単にスキャナをイメージングモード・センタリングモードに切替え、又スキャンに戻る事が出来ます。コンピュータのマウスをダブルクリックするのと同じような感覚で次のスキャンにあわせる事が出来ます。したがって、トリガーを迅速に2回押すことで、イメージングモードに設定し、次にトリガーを押す事で画像のスキャンが出来ます。その後スキャナは通常のスキャンモードも戻ります。以下のバーコードをスキャンすることで、このようなトリガートグルモードの設定が行えます。



TRGTGM0.

トリガートグルモード 無効



TRGTGM3.

トリガートグル センタリング



TRGTGM1.

トリガートグル イメージ取得

トリガートグルモード有効化の回数設定

何回トリガーを連続で押すとトリガートグルモードを有効にするかの設定を行います。



TRGTPC2.
連続2回



TRGTPC3.
連続3回



TRGTPC4.
連続4回

トリガートグルモード設定のタイミング

通常のスキャンでトリガーを押す時と、トリガートグルモード設定の為のトリガーを押す時の違いを連続で押すタイミング（時間）で設定します。以下のバーコードをスキャンした後にタイムアウトの時間（50-2,000ミリ秒）を設定する事で、それ以上の間隔でトリガーを押す時は通常のスキャンになり、その時間以内に連続で押した時にトリガートグルモードになります。タイムアウトの時間はプログラミングチャートを参照してください。 初期設定=400ms.



TRGTTI.
トリガートグルモード設定タイミング

トリガートグルモード設定タイムアウト

スキヤナがトリガートグルモードに設定された後、何秒でタイムアウトとなり、通常のスキヤナモードに戻るかの時間を設定します。以下のバーコードをスキャンした後で、0から65秒以内でタイムアウトの時間を設定します。タイムアウトの時間はプログラミングチャートを参照してください。 初期設定=5秒

注意：このタイムアウト時間を0秒にセットすると、トリガートグルモード設定の繰り返しが必要となります。例えば、2連続でトリガーを押す事でセンタリングモードになった時は、その後で又2連続でトリガーを押す事でスキヤンモードに戻る事になります。



TRGTGT.
トリガートグルモードタイムアウト

シリアルトリガーモード

トリガーを引くか、シリアルトリガーコマンドを用いることで、スキャナを動作させることができます（トリガーコマンドページを参照）。シリアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るか、停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を継続します。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにスキャナを設定することもできます（読み取りタイムアウトを参照）。

読み取りタイムアウト

スキャナをシリアルコマンドで動作させる場合、この設定でトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。スキャナがタイムアウトになった後はトリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて動作させることができます。**Read Time-Out**（読み取りタイムアウト）のバーコードを読み取り、プログラミングチャートから数字を読み取って、タイムアウト時間（0 ～ 300,000 ミリ秒）を設定し、次に Save（保存）を読み取ります。*初期値=30,000ms (ミリ秒)*



TRGSTO.

読み取りタイムアウト

プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。プレゼンテーションモードで動作するように設定すると、LED はバーコードがスキャナに提示されるまで消灯されており、バーコードが提示されると、自動的に点灯して読み取ります。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがありますので、ご注意ください。

注意：プレゼンテーションモードでコードレスチャージコードレスベースユニットをご使用の場合、コードレスベースユニットの補助電源ポートに電源がつながれるまでは、バッテリーは充電を行いません。



PAPTPr.

プレゼンテーションモード

トリガープレゼンテーションモード

このモードはスキャン対象になるものがあるかどうかの識別を行うのに使うライトを選定します。

初期設定=自然光+スキャナライト



PDCLED0.

自然光のみ



PDCLED1.

*自然光+スキャナライト

読み取り後のプレゼンテーション LEDの動作

スキャナがプレゼンテーションモードにあるとき、バーコードを読み取りした後の短い間、LED は点灯したまま読み取りを続けます。バーコードを読み取りした後、直ちに LED を消灯したい場合は、次の LEDs Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = LEDs On. (LED 有効)



TRGPCK1.

* LED 有効



TRGPCK0.

LED無効

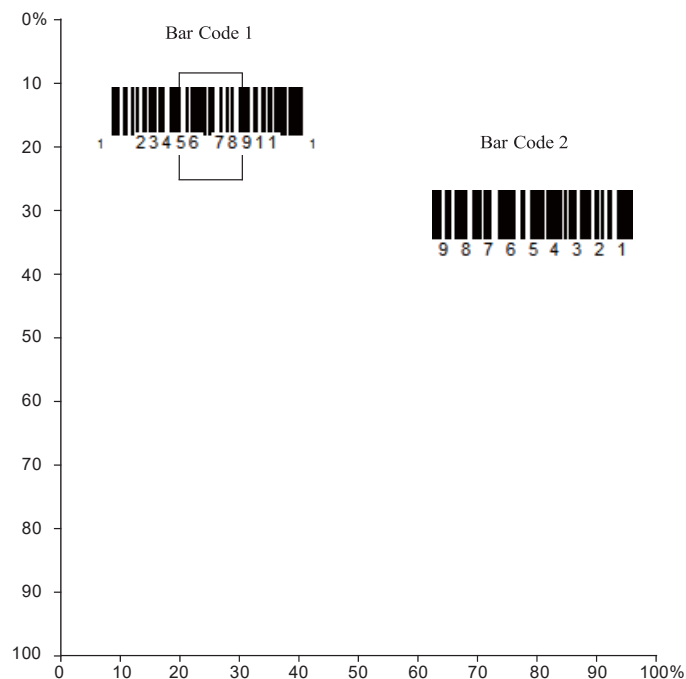
プレゼンテーションセンタリング

ここでは、スキャナがスタンドに設置された際にスキャナの視野を狭め、ユーザーが読み取りを望むバーコードだけをスキャナに読み込ませる設定です。例えば、複数のバーコードが 1 枚のシートに密接して印刷されている場合、特定のバーコードだけが読み取られるようになります。

注意：スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、センタリングのページを参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードの読み取りも出力を行われません。**Presentation Centering On** (プレゼンテーションセンタリング 有効) を読み取って設定を有効にすると、**Top of Presentation Centering Window, Bottom of Presentation Centering Window** (プレゼンテーションウィンドウ 底部) **Left and Right of Presentation Centering Window** (プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右) によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは 20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



注意：バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Presentation Centering On（プレゼンテーションセンタリング 有効）を読み取った後、以下のバーコードを読み取ってセンタリングウィンドウの上部、底部、左、右を変更してください。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 **Save** を読み取ります。初期設定 = 40% for Top and Left, 60% for Bottom and Right（上部および左に 40%、底部および右に 60%）



PDCWIN1.
プレゼンテーションセンタリング 有



PDCTOP.
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 上



PDCLFT.
プレゼンテーションセンタリング



PDCWIND.
* プレゼンテーションセンタリング



PDCBOT.
プレゼンテーションセンタリング下



PDCRGT.
プレゼンテーションセンタリング 右

スタンド使用時のセンサーモード

注意：スタンド使用時のセンサーモードはXenon XP 1950g, 1950h, 1952gと1952hにのみ適応され、Xenon XP 1952-BFは対象外となります。

この機能は、スキャナがスタンドから離れた場合にマニュアルトリガーによって読み取り実行をスキャナへ指示するものです。Sensor On（センサー 有効）が有効なとき、スタンド使用時のスキャナはストリーミングプレゼンテーションモードをデフォルトとし、スタンド不使用時の場合は、マニュアルトリガーモードをデフォルトとします。初期設定 = Sensor On（センサー 有効）



TRGSSW1.
* センサー 有効



TRGSSW0.
センサー 無効

注意：画像取り込み（イメージングコマンド）の場合は、スタンド使用時センサーモードをオフにしてください。

スタンド使用時にはストリーミングプレゼンテーションモード（標準、強化、または携帯端末）を設定し、スタンド不使用時にはマニュアルトリガーモード（標準、強化、または携帯端末）で設定します。まず始めにお好みのストリーミングプレゼンテーションモード（下記）をまず読み取ります。その後ご使用希望のマニュアルトリガーモードを読み取ります。

低品質コード

低品質1Dコード

この設定により、画像の劣化などにより品質の低いバーコードの読み取りを向上させます。Poor Quality 1D Reading On を読取ると、低品質1Dバーコードの読み取りは向上しますが、読み取り速度は低下します。この設定は2Dコードの読み取りには影響しません。初期設定= Poor Quality 1D Reading Off



DECLD1.
Poor Quality 1D Reading On



DECLD0.
*Poor Quality 1D Reading Off

低品質 PDF コード

この設定により、画像の劣化などにより品質の低いPDFコードの読み取りを複数の画像を読取る事で向上させます。バーコードが1つの画像でカバー出来ない時に有効となります。この設定は1Dコードの読み取りには影響しません。

初期設定= Poor Quality PDF Reading On



PDFXPR10.
*Poor Quality PDF Reading On



PDFXPR0.
Poor Quality PDF Reading Off

低解像度 PDF コード

この設定により、解像度の低いPDFコードの読み取りを向上させます。Low Resolution PDF Codes On を読取ると、解像度の低いPDFコードの読み取りは向上しますが、読み取り速度は低下します。この設定は1Dコードの読み取りには影響しません。

初期設定= Low Resolution PDF Codes On



Low Resolution PDF Codes On



*Low Resolution PDF Codes Off

CodeGate®

CodeGate を有効にすると、読み取りされたデータをホストシステムへ送信させるためにトリガーを使用します。スキャナは読み取りも行いますが、トリガーが引かれるまで読み取りされたデータを送信しません。CodeGate が無効になっていると、バーコードのデータは読み取りされて直ぐにホストシステムに送信されます。**初期設定** = CodeGate Off, Out of Stand (スタンド不使用時 CodeGate 無効)



AOSCGD0.
* CodeGate 無効
スタンド不使用時



AOSCGD1.
CodeGate 有効
スタンド不使用時

ストリーミングプレゼンテーション™ モード

ストリーミングプレゼンテーションモードを設定すると、スキャナのエイマーは短時間後消えますが、スキャナの照明はバーコードを探すために継続して常時点灯されます。Normal (標準) と Enhanced (強化) の 2 つのモードから選択できます。標準モードは、高速で広い読取範囲で読取を行います。強化モードでは、最速の読み取りを行います。標準モードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。



PAPSPN.
ストリーミングプレゼンテーションモード 標準



PAPSPE.
ストリーミングプレゼンテーションモード 強化

優先シンボルを使用しているとき、優先順位の低いシンボルはエイミングパターンの中央に置かれ、ストリーミングプレゼンテーションモードで読み取られます。

注意：コードレススキャナのコードレスベースユニットをご使用の場合、ストリーミングプレゼンテーションモードを正常に動作させるには、外部電源を補助ポートに接続する必要があります。

スタンド使用時のストリーミングプレゼンテーション設定

この機能は、スタンド使用時センサーモードが有効の際にお使いいただけます。スタンド内での読み取りに対し、特定のストリーミングプレゼンテーションモードを設定いただけます。まず、ご希望のストリーミングプレゼンテーションモード（標準、強化、携帯端末）を読み取り、その後ご希望のマニュアルトリガーモード（標準、強化、携帯端末）を読み取ってください。

ハンズフリータイムアウト

スキャンスタンド、またはプレゼンテーションモードは「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナがマニュアルトリガーモードのままの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）元のハンズフリーモードに戻ります。

以下のハンズフリータイムアウトのバーコードを読み取り、プログラミングチャートからタイムアウト時間（0 ～300,000 ミリ秒）を読み取り、次に **Save**（保存）を読み取ります。初期値 = 5,000ms (ミリ秒)



TRGPT0.

ハンズフリータイムアウト

再読み取りディレイ

同一バーコードを2 回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。再読み取りディレイを設定することで、同一バーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。バーコードの繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。再読み取りディレイが動作するのは、プレゼンテーションモードのときだけです。初期設定 = Medium（中）



DLYRRD500.

短 (500 ms)



DLYRRD750.

* 中 (750 ms)



DLYRRD1000.

長 (1000 ms)



DLYRRD2000.

エクストラ (2000 ms)

ユーザー定義の再読み取りディレイ

再読み取りディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、プログラミングチャートから数字を読み取りディレイ（0 ～30,000 ミリ秒）を設定し、最後に **Save** を読み取ります。



DLYRRD.

ユーザー定義の再読み取りディレイ

2D読み取りディレイ

2次元シンボルは他のバーコードと比べて、読み取りに時間が掛かることがあります。2次元シンボルに再読み取りディレイを設定したい場合、以下の設定バーコードを読み取ってください。**2D Reread Delay Off** (2D再読み取りディレイ無効) は再読み取りディレイが設定された1次元・2次元バーコードの両方に使用できます。**初期設定 = 2D Reread Delay Off** (2D再読み取りディレイ無効)



DLY2RR0.

* 2D 再読み取りディレイ無効



DLY2RR1000.

短 (1000ms)



DLY2RR2000.

中 (2000ms)



DLY2RR3000.

長 (3000ms)



DLY2RR4000.

エクストラ (4000ms)

キャラクタ有効化モード

ホストからキャラクタを送信してスキャナの読取を開始します。有効キャラクタを受信すると、スキャナはキャラクタ有効化タイムアウトになるか、無効キャラクタを受信するか、またはバーコードを送信するまでスキャンし続けます。キャラクタ有効化を使用するには、以下の有効 (On) バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下のアクティベーションキャラクタを使用します。**初期設定 = 無効 (Off)**



HSTCEN0.

* 無効 (Off)



HSTCEN1.

有効 (On)

アクティベーションキャラクタ

キャラクタアクティベーションモードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを開始するための文字を、ASCII変換チャート (コードページ 1252) にある16進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、プログラミングチャートASCIIキャラクタに対応した英数字を使用してください。**Save** (保存) を読取終了します。**初期設定 = 12 [DC2]**



HSTACH.

有効化キャラクタ

読み取り成功後の終端文字のアクティベーション(有効化)

スキャナがバーコードの検出・読取に成功後、スキャンするために照明をそのままにするか消灯するか設定できます。

End Character Activation After Good Read (読み取り成功後の終端文字アクティベーション) を有効にすると、読み取り成功後に照明を消灯し、読取を停止します。**Do Not End Character Activation After Good Read** (読み取り成功後の終端文字アクティベーション無効) をスキャンすると、読み取り成功後も照明はそのままになります。**初期設定** = **Do Not End Character Activation After Good Read** (読み取り成功後の終端文字アクティベーション無効)



HSTCGD0.

* 読み取り成功後の終端文字アクティベーション 無効



HSTCGD1.

読み取り成功後の終端文字アクティベーション 有効

キャラクタ有効化タイムアウト

キャラクタ有効化モードを使用している場合、照明が点灯している時間の長さとバーコードの読み取り試行する時間を設定できます。以下のバーコードを読み取ってタイムアウトの時間(ミリ秒)を設定し、プログラミングチャートにある数字を読み取って **Save (保存)** タイムアウト時間(1~300,000 ミリ秒)を設定してください。**初期値** = 30,000ms (ミリ秒)



HSTCDT.

キャラクタ有効化タイムアウト

キャラクタ無効化モード

スキャン開始のためのキャラクタをホストから送信する場合、スキャン停止のためのキャラクタを送ることも出来ます。キャラクタ無効化を使用するには、以下の有効 バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下の無効化文字を使用します。**初期設定** = **無効**



HSTDEN0.

* 無効



HSTDEN1.

有効

無効化キャラクタ

文字無効化モードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを停止するための文字 を、**ASCII変換チャート(コードページ 1252)**にある16進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、**プログラミングチャート** ASCIIキャラクタに対応した英数字を使用してください。**初期設定** = 14 [DC4]



HSTDCH.

無効化キャラクタ

照明ライト

バーコードの読み取り中に照明ライトをオンにしたい場合は、次のライト On のバーコードを読み取ります。ライトをオフにしたい場合は、ライトOff のバーコードを読み取ります。初期設定 = ライト On

注意：この設定は、エイマーライトには無効です。エイミングライトは、エイマーモードで設定できます。



SCNLED1.
* ライト On



SCNLED0.
ライト Off

エイマーディレイ

ユーザーがスキャナの狙いを定めて画像を取り込むまでのディレイ（間隔）を設定します。これらのコードで、トリガーを引いてから画像を取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイミングライトが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまで LED は点灯しません。初期設定 = Off（エイマーディレイ 無効）



SCNDLY1.

1ミリ秒



SCNDLY200.

200 ミリ秒



SCNDLY0.

* 無効



SCNDLY400.

400 ミリ秒

ユーザー定義のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数字（0 ～ 4,000 ミリ秒）を読み取ってタイムアウト時間を設定し、Save（保存）を読み取ります。



SCNDLY.
ディレイ時間

エイマーモード

この機能はエイマーの切り替えを行うものです。Interlaced（非同時）のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED は同時に点灯できません。illumination LEDs. 初期設定 = Interlaced（非同時）



SCNAIM0.

無効



SCNAIM2.

* 非同時

センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してスキャナの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります。センタリングは、複数のバーコードが接近して配置されている作業環境でエラーができるだけ発生しないように、[エイマーディレイ](#)と一緒に使用できます。エイマーディレイ機能とセンタリング機能を併用すると、リニアレーザーバーコードスキャナなどの旧式システムの動作をエミュレーションできます。

注意： スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、[プレゼンテーションセンタリングページ](#)の「センタリング」を参照してください。

シングルコードセンタリング

シングルコードセンタリングをスキャンすると、一番センターにあるバーコードを読み取ります。複数のバーコードがある時に、この設定を使うとよりスキャン速度を速める事が出来ます。



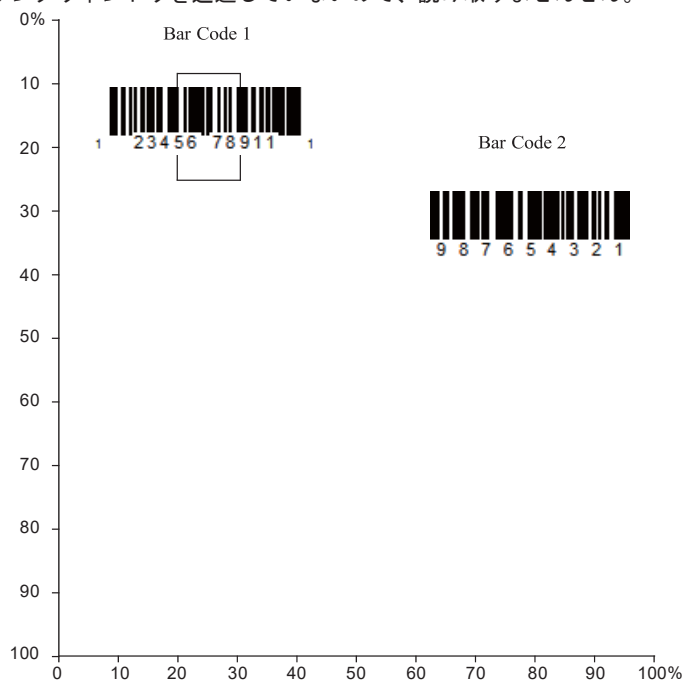
Single Code Centering

カスタムセンタリング

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードの読み取りも出力を行われません。

Centering On（プレゼンテーションセンタリング 有効）を読み取って設定を有効にすると、**Top of Centering Window, Bottom of Centering Window**（センタリングウィンドウ 上部）（プレゼンテーションウィンドウ 底部）**Left, and Right of Centering Window**（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは 20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取りません。



注意：バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Centering On を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。次に本書の裏表紙の内側にある数字を用いて、センタリングウィンドウを移動するパーセンテージを読み取ります。その後**Save** を読み取ります。初期設定センタリング= Top と Left が 40%、Bottom と Right が 60%



DECWIN1.

センタリング 有効



DECWIND.

* センタリング 無効



DECTOP.

センタリングウィンドウ 上



DECBOT.

センタリング 下



DECLFT.

センタリング 左



DECRGT.

センタリング 右

優先シンボル

複数のシンボルが 1 枚のシートに印刷されているものの、優先順位の低い方のシンボルの読み取りを無効にできない場合、ある一つのシンボルを他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。例えば、UPC シンボルを小売店舗で読み取るよう設定を施したスキャナを使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合がありますとします。一部の免許証には Code 39 シンボルのほかに PDF417 シンボルもありますが、優先シンボルを使用すると、Code 39 ではなく PDF417 を先に読み取るよう指定することができます。優先シンボルは、各シンボルを優先度 高、優先度 低、または指定なしタイプに分類されます。優先度低のシンボルが現れたとき、スキャナは設定した時間の間、このシンボルを無視し優先度高のシンボルをサーチします。この時間内に優先度高のシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度の高いシンボルを読み取る前にタイムアウト時間が過ぎてしまうと、スキャナは視界内のバーコード（優先度 低 または指定なし）を読み取るようになります。タイムアウト時間が過ぎてもスキャナの視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

注意：優先度低のシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

次のバーコードを読み取って、優先シンボルを有効または無効にします。 初期設定 =Preferred Symbology Off（優先シンボル 無効）



PRFENA1.

優先シンボル 有効



PRFENA0.

* 優先シンボル 無効

高優先度シンボル

優先度の高いシンボルを指定するには、次の High Priority Symbology （高優先度シンボル）バーコードを読み取ります。シンボルチャートページのシンボルチャートで、高優先度に設定するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャートから2桁のHex 値を読み取ります。Save （保存）を読み取り、設定を保存します。
初期設定 = None （なし）



低優先度シンボル

優先度の低いシンボルを指定するには、次の Low Priority Symbology （低優先度シンボル）バーコードを読み取ります。シンボルチャートページのシンボルチャートで、低優先度に設定するシンボルを探します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から2桁のHex 値を読み取ります。
優先度の低いシンボルをさらに設定したい場合は、FFを読み取った後、次のシンボルに対応する2桁のHex 値をプログラミングチャートから読み取ります。最大5つの優先度低シンボルを設定できます。Save （保存）を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None （なし）



優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、高優先度および低優先度のシンボルを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが現れた後、スキャナが高優先度のバーコードをサーチする時間です。次のバーコードを読み取り、プログラミングチャートから数字を読み取ってディレイ（0 ～ 3,000 ミリ秒）を設定し、**Save**（保存）を読み取ります。**初期値**＝500ms（ミリ秒）



PRFPTO.

優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルデフォルト

次のバーコードを読み取ると、すべての優先シンボル設定がデフォルトに戻されます。



PRFDFT.

優先シンボルのデフォルト

アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンスエディタ

この設定では、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションに必要な任意の順序でデータを出力するように（複数のシンボルを読み取るとき）スキャナを設定できます。Default Sequence（シーケンスのデフォルト）のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にスキャナを設定します。これが初期設定になっています。Default Sequence のシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注意：アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションに必要なコード ID、コード長、および合致させるキャラクタを事前に確認する必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらの設定値を読み取ってください。また、シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

アウトプットシーケンスを追加する

アウトプットシーケンスはシリアルコマンドのストリングをスキャナに送る事で行います。ストリングはソフトウェアツールEZ Configで送信する事が出来ます。又は、プログラミングチャートにあるアルファベット・数字をスキャンする事で対応出来ます。

1. **Enter Output Sequence**（シーケンスの入力）のバーコードを読み取ります。

2. **コード I.D.**

シンボルチャートでアウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルの種類を確認します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から2桁のHex 値を読み取ります。

3. **コード長**

シンボルの長さ（最大9,999キャラクタ）を指定します。プログラミングチャートから 4桁のデータ桁数を読み取ってください。（注：50 桁は 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さ／桁数を示します。）データ桁数を計算するときには、設定したプリフィックス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。（9999 を使用しない場合。）

4. **合致キャラクタの指定**

ASCII 変換チャートの「印刷バーコードのコードページマッピング」で合致させたいキャラクタを表す Hex 値を確認します。その後、プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。（99 は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。）

5. **アウトプットシーケンスの終了**

追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときは **FF** を読み取ります。または **Save** を読み取って入力を保存します。

他のプログラム設定

- **Discard**
アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンスエディターコマンド

SEQBLK	シーケンス エディター スタート コマンド.
SEQPRE	プリフィックスをアウトプット シーケンスに追加.
SEQSUF	サフィックスをアウトプット シーケンスに追加.
SEQSEP	セパレーターをアウトプット シーケンスに追加.
SEQTTS1	パーシャルシーケンス送信.
SEQSAT	アウトプットシーケンス全体の 一部(サブセット)を定義.(Define satisfactory subsets of full output sequence)
SEQTIM	SEQSAT 使用時にタイムアウトの設定。(Timeout for sequence members when using SEQSAT)
SEQUIPR	一部のアウトプット シーケンスにプリフィックスを追加.
SEQISU	一部のアウトプット シーケンスにサフィックスを追加.
SEQISE	一部のアウトプット シーケンスにセパレーターを追加.
TRGSTO	一部のアウトプット シーケンスにタイムアウト設定
FF	ターミネーションストリング

上記コマンドの使用例を以下に記載。

アウトプットシーケンス 設定例 1

この例では、PDF417、Code 128、および Code 39 のバーコード読み取りに際し、下記のように Code 39 をはじめに、次に Code 128 を、PDF417 を三番目に出力するよう読み取りたいとします。



TSTMSGCODE128



CODE39SMPL

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK	シーケンスエディタのスタートコマンド
62	Code 39 のコード ID
9999	Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
43	Code 39 先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF	最初のコードの終了ストリング
6A	Code 128 のコード ID

9999	Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
54	Code 128 先頭キャラクタを指定、54h="T"
FF	2番目のコードの終了ストリング
72	PDF417 のコード ID
9999	PDF417の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
4D	PDF417 先頭キャラクタを指定、4Dh="M"
FF	3 番目のコードの終了ストリング

全てのコマンドラインは以下になります。

SEQBLK62999943FF6A999954FF7299994DFF

データアウトプットは以下になります。

CODE39SMPLTSTMSGCODE128MSGPDF417

アウトプットシーケンス 設定例 2 - <>セパレーターの使用

この例では、同じ3種類のバーコードを読み取りながら、<>、キャリッジリターンを使いながらアウトプットを分けて行きます。



TSTMSGCODE128



CODE39SMPL

SEQBLK	シーケンスエディタのスタートコマンド
62	Code 39 のコード ID
9999	Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
43	Code 39 先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF	最初のコードの終了ストリング
6A	Code 128 のコード ID
9999	Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
54	Code 128 先頭キャラクタを指定、54h="T"
FF	2番目のコードの終了ストリング
72	PDF417 のコード ID
9999	PDF417の場合に対応しなければならないコード長、9999:すべての長さ
4D	PDF417 先頭キャラクタを指定、4Dh="M"
FF	3 番目のコードの終了ストリング

ここで其々のシーケンスに <> を追加します。

SEQSEP99 其々のシーケンスのセパレーター, 99 = 全てのシンボロジー (99 = all symbologies)

3C 左のブラケット (<)

3E 右のブラケット (>)

そしてキャリッジリターンとサフィックスのラインを追加します。

SEQSUF99 サフィックスのセパレーター, 99 = 全てのシンボロジー (99 = all symbologies)

0D キャリッジリターン

0A ラインフィード

コマンドライン全体は以下になります。

SEQBLK62999943FF6A999954FF7299994DFFSEQSEP993C3ESEQSUF990D0 A

データアウトプットは以下になります。

<CODE39SMPL>

<TSTMSGCODE128>

<MSGPDF417>

エンターアウトプットシーケンス

バーコードを使って独自のアウトプットシーケンスを作る時は、以下のEnter output sequenceをスキャンしてください。



SEQBLK

Enter output sequence

パーシャルシーケンス

全てのアウトプットシーケンスが完了する前にアウトプットシーケンスのオペレーションが終了する場合は、パーシャルシーケンスが必要になります。上記同様のコマンドにより、パーシャルシーケンスの定義が行えます。

パーシャルシーケンス 設定例 - 破損したバーコードに <>セパレーターの使用



CODE39SMPL



TSTMSGCODE128

この例では、PDF417、Code 128、および Code 39 のバーコード読み取りに際し、下記のように Code 39 をはじめに、次に Code 128 を、PDF417 を三番目に出力するよう読み取りたいとします。但し、Code 39 のバーコードは破損しており、アウトプットが出せません。

上記の設定例 2 - <>セパレーターの使用と同様のコマンドを使います。

SEQBLK	シーケンスエディタのスタートコマンド
62	Code 39 のコード ID
9999	Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999: すべての長さ
43	Code 39 先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF	最初のコードの終了ストリング
6A	Code 128 のコード ID
9999	Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999: すべての長さ
54	Code 128 先頭キャラクタを指定、54h="T"
FF	2番目のコードの終了ストリング
72	PDF417 のコード ID
9999	PDF417の場合に対応しなければならないコード長、9999: すべての長さ
4D	PDF417 先頭キャラクタを指定、4Dh="M"
FF	3 番目のコードの終了ストリング
SEQSEP99	其々のシーケンスのセパレーター、99 = 全てのシンボロジー (99 = all symbologies)
3C	左のブラケット (<)
3E	右のブラケット (>)
SEQSUF99	サフィックスのセパレーター、99 = 全てのシンボロジー (99 = all symbologies)
0D	キャリッジリターン

0A ラインフィード
 ここにプリフィックスとして >パーシャル< を追加します。
 SEQTTS1 パーシャルシーケンス送信
 SEQISU99 パーシャルシーケンスプリフィックス追加, 99 = all symbologies
 3E 右のブラケット(>)
 50 P
 41 A
 52 R
 54 T
 49 I
 41 A
 4C L
 3C 左のブラケット (<)

コマンドライン全体は以下のようになります。

SEQBLK62999943FF6A999954FF7299994DFFSEQSEP993C3ESEQSUF990D0 ASEQTTS1SEQISU993E5041525449414C3C

データアウトプットは以下のようになります。

>PARTIAL<

<TSTMSGCODE128>

<MSGPDF417>

パーシャルアウトプットシーケンスの放棄

以下のバーコードをスキャンする事でパーシャルシーケンスを放棄する事が出来ます。



アウトプットシーケンスタイムアウト

SEQBLKコマンドにより、アウトプットシーケンスの全てのコードでタイムアウトの設定を行う事が出来ます。各トリガーのセッションで、スキャナは最も短いタイムアウトに反応します。タイムアウトの時間が切れた時は、スキャナは読み込まれた全てのコードをSEQBLKで定義された順番に送信します。

タイムアウトの設定は SEQTIM コマンドを使い、このコマンドの後ろに時間をミリ秒の単位で設定します。其々のタイムアウトは4桁で定義され、FFで終了します。タイムアウト値 9999 は特別の意味を持ち、タイムアウト値は無限となります。

タイムアウトの数は、SEQBLKで定義されたコードの数に相当する必要があります。一つタイムアウトを追加する事で、シーケンスに当てはまらないコードを対象にする事が出来ます。この設定はアウトプットシーケンスが **On/Not Required** の時には有効です。何も追加のタイムアウトを設定していない時は、SEQTIM で定義された最後のタイムアウトが有効になります。

アウトプットシーケンスタイムアウト 例

例えば、SEQBLK が 4コードシーケンスを定義した際は、5, 6, 7, 8 秒のタイムアウトを設定する事が可能となり、以下のコマンドを使います。

SEQTIM5000FF6000FF7000FF8000FF

コードが設定されていないシーケンスの場合は、このコマンドの最後に定義されている 8秒が適応されます。 但しこのようなケースでタイムアウトを設定する必要がある場合は、タイムアウトをもう1つ追加する事で対応が可能になります。例えば1秒をシーケンスでないコードに入れるには、以下のコマンドになります。

SEQTIM5000FF6000FF7000FF8000FF1000FF.

フルシーケンスのサブセット

SEQBLK で定義されたシーケンス全体から、1つかそれ以上のバーコードのサブセットを定義する事が出来ます。スキャナでサブセットのコードを読取ると、SEQBLKで定義された順番にデータを送信します。

フルシーケンスのサブセット 例

サブセットの定義には SEQSAT を使い、終了する時はFFを用います。其々のサブセットは一桁の Hexで定義され、フルシーケンスのインデックスに適応し、1が最初の数値となります。例えば、2つのサブセットを設定するのに、最初のコードが1つ目の対象となり、次のコードが2番目に対応となり、以下のようになります。

SEQSAT12FF23FF

奇数のコードをサブセットの対象とする時は、最後のファイナルコードの前に 0 を付け加えます。例えば、3-コードのサブセットで、first, second, thirdのサブセットがある時は、次のコマンドを使います。

SEQSAT1203FF.

アウトプットシーケンスデフォルト（初期設定）

デフォルトシーケンスを適応すると、全ての値を初期設定に戻します。以下のバーコードを読み込んでデフォルトにする前に、全てのフォーマットを削除するかクリアしてください。



SEQDFT.

デフォルトシーケンス

アウトプットシーケンスの要求

アウトプットシーケンスが **Required** のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合致していなければ、スキャナは出力データをホストデバイスに送信しません。**On/Not Required**（有効、要求しない）のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

無効の場合は、バーコードデータはスキャナが読み取りしたままホストに出力されます。初期設定＝ Off（無効）

注意：この設定は、マルチプルシンボル選択がオンになっているときは使用できません。



SEQ_EN2.

要求する



SEQ_EN1.

有効、要求しない



SEQ_EN0.

* 無効

Good Read トーン - アウトプットシーケンス

スキャナは正しいスキャン（Good read）が出来た時に、アウトプットシーケンスで其々のバーコード読み取り時にビーブかクリック音を出すようにプログラムが出来ます。又、パーシャルシーケンスでエラー音を出す事も出来ます。

初期設定 = Good Read Click - Each code in Sequence と Error Tone - Partial Sequence Output



BEPSIN0.

Good Read Beep - Each code in Sequence



BEPSIN1.

*Good Read Click - Each code in Sequence



BEPISE0.

Good Read Beep – Partial Sequence Output



BEPISE1.

*Error Tone – Partial Sequence Output

複数シンボル

有効にスキャナのトリガーを 1 回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。最大値は21個のバーコード読み取りになります。トリガーを引いたまま複数のシンボルに照準を合わせると、各シンボルを1回ずつ読み取り、その都度ブザーを鳴らすか、バイブレーションで振動します。（バイブレーション機能が有効時） この機能を無効にすると、エイミングビームに最も近いシンボルだけを読み取ります。初期設定 = Off（無効）



SHOTGN1.

有効



SHOTGND.

* 無効

No Read

No Readを有効にすると、スキャナはコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Windowを使用すると、コードを読み取れないNo Readの時に NR を表示します。無効にすると「NR」は表示されません。初期設定 = Off（無効）



SHWNRD1.

有効



SHWNRD0.

* 無効

「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、Data Format で出力メッセージを編集できます。No Read シンボルの Hex 値は9C です。

ビデオリバーズ（反転コード）

ビデオリバーズを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。**Video Reverse Off** はこのバーコードの例です。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only（反転コードのみ 有効）を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes（標準および反転コード両方 有効）を読み取ってください。

注意：Video Reverse Only を読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、Video Reverse Off（反転コード 無効）もしくは Video Reverse and Standard Bar Codes を読み込んでください。

注意：画像は反転されません。これは、バーコードの読み取り専用設定です。



VIDREV1.

反転コードのみ 有効



VIDREV2

反転および標準コード

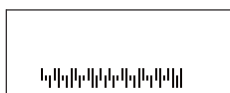


* 反転バーコード 無効

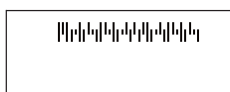
ワーキングオリエンテーション

バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIX コードや OCR フォントのように横から、または上下逆に読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取られない場合、この機能を使用してください。初期設定 =Upright (正面)

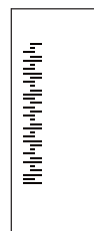
正面



上下逆さ



垂直、上から下へ
(CW 90° 回転)



垂直、下から上へ
(CW 90° 回転)



ROTATN0.

* 正面



ROTATN1.

垂直、下から上



ROTATN2.

上下逆さ



ROTATN3.

垂直、上から下

ヘルスケア設定

医療環境での拡張読み取りの設定を行えます。この設定は Xenon 1950h, Xenon 1952h, Xenon 1952h-BF スキャナとコードレスベースのみ対応しています。ストリーミングプレゼンテーションの迅速な設定や、患者さんの邪魔をせずに読み取りのサイレントモードを設定することができます。

クワイエットオペレーション・コンビネーションコード

1 つのプログラムバーコードを使用して、サイレント・クワイエット設定を Xenon healthcare スキャナとコードレスベースにプログラムを行います。個別に設定を行いたい場合は、クワイエットオペレーション ページを参照してください。

LED 点滅消音モード

次のバーコードを読み取ってコードレスベースとスキャナを完全消音に設定します。スキャナのビーブ音、コードレスベースのビーブ音、スキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードを読み取ると、LED とエイマーが 5 回点滅します。緑色は読み取り成功、赤色は読み取り失敗を表します。



Silent mode with Flashing LED -
Cordless Scanner and Base



Silent Mode with Flashing LED -
Corded Scanner

長いLED 消音モード

次のバーコードを読み取ってコードレスベースとスキャナを完全消音に設定します。スキャナのビーブ音、コードレスベースのビーブ音、スキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードを読み取ると、LED とエイマーが 1 秒間点灯します。緑色は読み取り成功、赤色は読み取り失敗を表します。



Silent Mode with Long LED -
Cordless Scanner and Base



Silent Mode with Long LED -
Corded Scanner

超小音量（夜間モード）

次のバーコードはコードレスベースを消音に、バーコードを読み取った際のスキャナの音を非常に低いビーブ音に設定します。バーコードを読み取ると、コードレスベースのビーブ音、コードレスベースとスキャナの起動音、そしてスキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードが読み取られると、スキャナがとてもやわらかい音が鳴ります。



Nighttime Mode - Cordless
Scanner and Base



Nighttime Mode
Corded Scanner

小音量（昼間モード）

次のバーコードはすべての音を有効にしますが、小音量に設定します。スキャナのビープ音、コードレスベースのビープ音、コードレスベースとスキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて小音量になります。



Daytime Mode - Cordless
Scanner and Base



Daytime Mode -
Corded Scanner

スキャナとコードレスベースを初期設定に再設定するには、標準の製品初期設定へのリセットのページを参照してください。

クワイエットオペレーション - LED とボリューム設定

スキャナとコードレスベースの音をサイレントまたは消音にしている場合、Bluetooth 接続音、読取音、呼び出し音、接続範囲外アラーム音を、LED 表示で調整できます。

LED の色と音のリンク

通常作業時、コードレスベースまたは接続時にスキャナは高い音が鳴り、コードレスベースとスキャナの両方のLED が緑色に点滅します。すべての音を消音にし、両方の機器の接続状態表示を赤色LEDで点滅させたい場合、次の **Red LED Flashes/Silent**（赤色 LED 点滅 / 消音）バーコードを読み取ります。接続中にLED は赤く点滅し、コードレスベースとスキャナが接続されると緑色になります。初期設定の LED 色と音に戻す場合は、**Green LED Flashes/Sound**（緑色 LED 点滅 / 音）を読み取ります。初期設定 = LED 点滅 / 音



BEPPAR1.

* 緑色 LED 点滅 / 音



BEPPAR0.

赤色LED 点滅/ 消音

LED 点滅回数

スキャナのビープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際のLED の点滅回数を設定します。初期設定 = 1 回 LED 点滅

注意：LED 固定、点滅無（5-4 ページ）をいずれか、また無効に設定した場合、LED 点滅設定が上書きされます。この場合、LED Solid Off（LED 固定無効）バーコードを読み取りこの機能を無効にし、使用したいLED Flash（LED 点滅）バーコードを読み取ります。



BEPLFN0.

* 1 回 LED 点滅



BEPLFN5.

5 回 LED 点滅



BEPLFN10.

10 回 LED 点滅



BEPLFN25.

25 回 LED 点滅

LED 点滅間隔

スキャナのピープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際のLED の点灯速度を設定します。初期設定 = 高速点滅



BEPLFR50.

* 高速点滅



BEPLFR250.

中速点滅



BEPLFR500.

低速点滅

LED 固定、点滅無

スキャナのピープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際のLED を点滅ではなく点灯に設定します。初期設定 = *LED 固定 無効



BEPLOT0.

* LED 固定 無効



BEPLOT3.

LED 固定 3 秒



BEPLOT1.

LED 固定 1 秒



BEPLOT5.

LED 固定 5 秒

呼び出し音制御

コードレスベースまたはアクセスポイントのページングボタンを押すと、そのコードレスベースまたはアクセスポイントと通信しているスキャナがピーツと鳴り始めます。呼び出しに応じて鳴っているスキャナのトリガーを引くか、コードレスベースまたはアクセスポイントのページボタンをもう一回押すと、接続しているすべてのスキャナが鳴り止みます。次のバーコードで呼び出し音量、スキャナがバーコード読み取った際の音量を設定します。初期設定 = Low (低)



BEPPGV0.

呼び出し音量 無効



BEPPGV1.

* 呼び出し音量 低



BEPPGV2.

呼び出し音量 中



BEPPGV3.

呼び出し音量 高

通信範囲外アラーム

コードレスベースの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、コードレスベースとスキャナの両方からアラーム音が鳴ります。アクセスポイントの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントに近づくか、コードレスベースまたはアクセスポイントが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過すると、アラームは止まります。次のバーコードでコードレスベースとスキャナの通信範囲外アラームでのそれぞれの音量を設定します。*初期設定* = コードレスベースアラーム音量低、スキャナアラーム音量低



BASORV0.

コードレスベースアラーム音量無効



BASORV1.

* コードレスベースアラーム音量低



BASORV2.

Base Alarm Volume
中



BASORV3.

Base Alarm Volume
高



BT_ORV0.

スキャナアラーム音量無効



BT_ORV1.

* スキャナアラーム音量
低



BT_ORV2.

スキャナアラーム音量中



BT_ORV3.

スキャナアラーム音量高

範囲外アラームディレイ

範囲外アラーム設定を使用する場合、Out-of-Range Delay（範囲外アラームディレイ）でアラームのディレイ長を設定します。スキャナがコードレスベースまたはアクセスポイントの範囲外にある場合、設定した時間が経過するとアラームが止まります。次のバーコードを読み取って、タイムアウトする時間（秒）を設定し、その後、裏表紙にあるプログラミングチャートから数値を読み取って、タイムアウト時間（0 ～ 3000 秒の間）を設定し **Save（保存）** をスキャンしてください。*初期設定* = No Delay（ディレイなし）



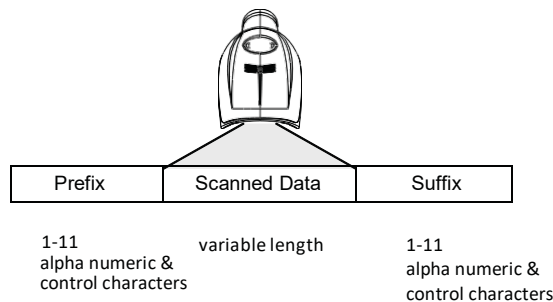
BT_ORY.

範囲外アラームディレイ

プリフィックス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プリフィックスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルに適用するか、特定シンボルにだけ適用するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときに使用します。初期設定プリフィックス = None (なし) 初期設定サフィックス = None (なし)
- プリフィックスやサフィックスは、1シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- ASCII 変換チャート (コードページ 1252) ページで、プリフィックスやサフィックスは、どれでもコード ID や AIM ID と一緒に追加できます。
- 1 回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプリフィックスとサフィックスを入力してください。
- すべてのシンボルではなく、特定のシンボルを設定するとき、そのコード ID 値は、追加されたプリフィックスまたはサフィックスのキャラクタとみなします。
- プリフィックス / サフィックスは、ヘッダー情報を含めて最大 200 キャラクタ (桁) まで追加可能です。

プリフィックスまたはサフィックスの追加手順

- Step 1.** Add Prefix (プリフィックスの追加) または Add Suffix (サフィックスの追加) のバーコードを読み取ります。
- Step 2.** シンボルチャートからプリフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。
例えば、Code 128 の場合、コード ID は「J」、Hex ID は「6A」です。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 と読み取ります。
- Step 4.** ASCII 変換チャート (コードページ 1252) ページから、入力したいプリフィックスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。
- Step 5.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。
- Step 6.** プリフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。
- Step 7.** コード ID を追加するときは、5、C、8、0 を読み取ります。
AIM ID を追加するときは、5、C、8、1 を読み取ります。
バックスラッシュ (¥) を追加するときは、5、C、5、C を読み取ります。

注意: Step 7 でバックスラッシュ (¥) を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

- Step 8.** Save を読み取って保存／終了するか、Discard を読み取って保存せずに終了します。

別のシンボルにプリフィックスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ～ 6 を繰り返します。

例：タブサフィックスをすべてのシンボルに追加する

Step 1. Add Suffix を読み取ります。

Step 2. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートすべてのシンボルに適応するために 9、9 を読み取ります。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 0、9 を読み取ります。これは ASCII 変換チャート（コードページ 1252）ページの水平タブのHEX 値と一致します。

Save を読み取って保存・終了するか、Discard を読み取って保存せずに終了します。

1つまたはすべてのプリフィックスまたはサフィックスの削除

シンボルのプリフィックスまたはサフィックスを 1つまたはすべて削除できます。1つのシンボルにプリフィックスやサフィックスを追加したことがある場合、ClearOnePrefix/Suffix（1つのプリフィックスまたはサフィックスを削除）で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、Clear All Prefixes/Suffixes（すべてのプリフィックスまたはサフィックスを削除）を選択すると、すべてのプリフィックスまたはサフィックスが削除されます。

Step 1. Clear One Prefix または Clear One Suffix のバーコードを読み取ります。

Step 2. シンボルチャートから、プリフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから2 桁のHex 値を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 を読み取ります。

変更内容は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



VSUFCR.
キャリッジリターンサフィックスを
すべてのシンボルに追加

プリフィックスの設定



PREBK2.
プリフィックス追加



PRECL2.
プリフィックス1つ削除



PRECA2.
すべてのプリフィックス削
除

サフィックスの設定



SUFBK2.

サフィックス追加



SUFCL2.

サフィックス1つ削除



SUFCA2.

すべてのサフィックス削除

ファンクションコード送信

この設定を有効にすると、読み取ったデータにファンクションコードが含まれている場合、スキャナがそのファンクションコードをホストシステムに送信します。これらのファンクションコードは、「サポートされているインターフェースキー」に記載されています。キーボードウェッジモードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。*初期設定=Enable (有効)*



RMVFNC0.

* 有効



RMVFNC1.

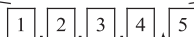
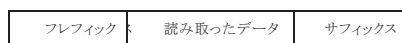
無効

キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くすることで、より確実にデータを送信します。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Intercharacter Delay** キャラクタ間ディレイのバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで5 ミリ秒単位の数字（0 ～99）と**Save** のバーコードを読み取ります。



Intercharacter Delay



DLYCHR.

Intercharacter Delay

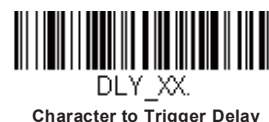
このディレイを削除するときは、Intercharacter Delay のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

注意：キャラクタ間ディレイは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ（間隔）

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Delay Length**（ディレイ長）のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字（0 ～99）と Save のバーコードを読み取ってから Save のバーコードを読み取ります。

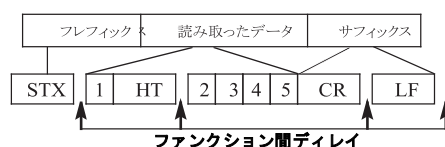
次に、**Character to Trigger Delay** のバーコードを読み取り、下位 ASCII R リファレンステーブル、A-4 ページで、ディレイをトリガーする ASCII キャラクタの 2 桁の Hex 値を読み取ります。



このディレイを削除するときは、**Delay Length** のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ（間隔）

メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のファンクション間ディレイを設定できます。次の **Interfunction Delay**（ファンクション間ディレイ）のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字（0 ～99）と Save のバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、Intercharacter Delay のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

Intermessage Delay

読み取り送信の間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のメッセージ間ディレイを設定できます。次の **Intermessage Delay** (メッセージ間ディレイ) のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~99) と **Save** のバーコードを読み取ります。



DLYMSG.

Intermessage Delay (メッ

このディレイを削除するときは、Intercharacter Delay (メッセージ間ディレイ) のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、**Save** のバーコードを読み取ります。

データフォーマット

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってスキヤナの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定箇所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。

データフォーマットの初期設定 = None (なし)

通常、バーコードを読み取ると自動的にデータが出力されますが、フォーマットを使用する場合は、フォーマットプログラムの中で「送信」コマンドでデータを出力する必要があります。

スキヤナには複数のフォーマットのプログラム設定が可能です。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000 バイトが最大サイズです。

最初のデータフォーマットに失敗し、次にデータフォーマットがある場合、そちらがバーコードデータに使用されます。他のデータフォーマットがない場合、そのままのデータが出力されます。

データフォーマットの設定の変更を行ったあとに、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の Default Data Format コードを読み取ってください。



DFMDF3.

* データフォーマット初期設定

データフォーマット表示

今のバーコードを読み取ると現在のデータフォーマット設定が表示されます。



DFMBK3?.

データフォーマット設定値

データフォーマットの追加

Step 1. Enter Data Format のシンボルを読み取ります。

Step 2. Primary（基準）もしくは Alternate Format（代用）フォーマットを選択します。

基準のデータフォーマットにするか、または 3 つある代用フォーマットの 1 つにするかを決定します。全部で 4 つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の 内側にあるプログラミングチャートで **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。

Step 3. ターミナルの種類

ターミナルIDテーブルを参照し、お使いのコンピュータのターミナルIDナンバーを確認します。プログラムにある 3 つの数字バーコードを読み取り、そのターミナルID でスキャナをプログラム設定します。（数字を3 入力してください。）例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

注意：すべてのターミナルに適用する場合は、099 と入力してください。

Step 4. コード ID

シンボルチャートでデータフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の Hex 値を読み取ります。パッチモード数量のデータフォーマットを作成するには、コードID の 35 を使用します。

注意：例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

Step 5. コードの長さ

このシンボルで可能なデータの長さ（最大 9,999 キラクタ）を指定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 4 桁のデータ長を読み取ります。例えば、50 キラクタ（桁）は 0050 と入力します。

注意：コードの長さを問わず設定を適用したい場合は、9999 と入力してください。

Step 6. 編集コマンド

データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save（保存）を読み取ってください。保存しない場合は Discard（破棄）を読み取ります。



DFMBK3.

データフォーマットの入力



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

他のプログラミング設定

Clear One Data Format :

1 つのシンボルに対してデータフォーマットを 1 つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、[プログラミングチャート](#)から **0** を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

Clear all Data Formats :

すべてのデータフォーマットを削除します。

Save :

データフォーマットを保存します。

Discard :

データフォーマットの設定を中止し、破棄します。



DFMCL3.

データフォーマットを 1 つ削除する



MNUSAV.

保存



DFMCA3.

データフォーマットをすべて削



MNUABT.

破棄

ターミナルID テーブル

	モデル	ターミナルID
USB	PC キーボード	124
	Mac キーボード	125
	PC 日本語キーボード	134
	シリアル (COM ドライバ必要)	130
	HID POS	131
	USB SurePOS ハンドヘルドスキャナ	128
	USB SurePOS テーブルトップスキャナ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
	RS485 (IBM-HHBCR 1+2, 46xx)	051
キーボード	PS2 互換機	003
	AT 互換機	002

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド)

データフォーマットエディタを行う場合、カーソルが入力データにそって移動します。次のコマンドを使用して、カーソルを違う位置に移動し、最終出力にデータの選択、変換、そして挿入を行います。

送信コマンド

すべてのキャラクタを送信する

- F1 入力メッセージ (読み取ったデータ) のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx (xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください

ださい。

いくつかのキャラクタを送信する

F2 入力メッセージ（読み取ったデータ）から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax=F2nnxx（nnはキャラクタの数を示す数字（00～99）で、xxは、挿入するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、ASCII変換チャートページを参照してください。

F2 の例：いくつかのキャラクタを送信する



上記のバーコードから最初の 10 キャラクタの後にキャリッジリターンを挿入して送信します。コマンド：**F2100D**

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）コマンドです。

10 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**1234567890**

F2 と F1 の例：キャラクタを 2 行に分割

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタの後にキャリッジリターンを挿入し、残りのキャラクタを送信します。コマンド：**F2100DF10D**

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）コマンドです。

10 は最初の行に送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234567890

ABCDEFGHIJ

<CR>

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx（nn は検索するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示し、xxは、挿入したいキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。

Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、ASCII変換チャートを参照してください。

F3 の例：特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「D」までのすべての文字とキャリッジリターンを送信します。コ

マンド：**F3440D**

F3は「Send all characters up to a particular character（特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する）です。

44 は「D」のHex 値です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
1234567890ABC
<CR>

特定のストリングまでのキャラクタすべてを送信する

- B9 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索文字「s...s」の手前までのデータを送信します。カーソルは「s...s」キャラクタへと移動します。Syntax=B9nnnns...s (nnnn は検索する文字「s」のASCII コードに対する Hex 値を示し、s...s は、指定した文字「s」のASCII コードに対する Hex 値を示しています。文字「s」は文字「s」にある文字の Hex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートを参照してください。

B9 の例：特定の文字「s」までのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。コ

マンド：**B900024142**

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字「s」までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字「s」の長さです。(2 文字)

41 は「A」のHex 値です。

42 は「B」のHex 値です。

データ出力は：**1234567890**

最後のキャラクタ以外を送信する

- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax=E9nn (nn は、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値(00 ~ 99)を示しています。

キャラクタを複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置はそのまま、「xx」キャラクタを「nn」回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn (xx は、挿入したいキャラクタのASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数の数値(00 ~ 99)を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートを参照してください。

E9 と F4 の例：最後のキャラクタ以外にタブを 2 つ付加し送信する



上記のバーコードから最後の 8 桁を除いたすべてのキャラクタにタブを 2 つ追加して送信します。

コマンド：**E908F40902**

E9 は「Send all but the last characters (最後のキャラクタ以外にタブを 2 つ付加し送信する)」

8 は無視するキャラクタ数です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

09 は「タブ」のHex 値です。

02 は挿入するタブの数です。

データ出力は：**1234567890AB <tab><tab>**

ストリングの挿入

- BA 現在のカーソル位置はそのまま、「nn」の長さの「ss」キャラクタを送信します。Syntax=BAAnnnns...s (nnnn は文字「s」の長さ、s...s は文字「s」を示しています。)文字「s」は文字「s」にある文字のHex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートを参照してください。

B9 と BA の例：「AB」を検索し、アスタリスク（）を2つ挿入する。**



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。2つのアスタリスクを挿入し、それ以降の文字にキャリッジリターンを付加して送信します。

コマンド：**B900024142BA00022A2AF10D**

B9 は「Send all characters up to a string（特定の文字Iまでのキャラクタすべてを送信する）」です。

0002 は文字Iの長さです。（2 文字）

41 は「A」のHex 値です。

42 は「B」のHex 値です。

BA は「文字Iの挿入（Insert a string）」です。

0002 は追加する文字Iの長さです。（2 文字）

2A はアスタリスク（*）の Hex 値です。

2A はアスタリスク（*）の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234567890ABCDEFGHIJ**

<CR>

シンボル名を挿入する

- B3 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードシンボル名を挿入します。含まれるのは、ハネウェル ID のあるシンボルのみです。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）を参照してください。

バーコード長を挿入する

- B4 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。バーコードの長さは数字のストリングによって示され、リード部の 0 は含まれません。

B3 と B4 の例：シンボル名とシンボル長を挿入する



上記のバーコードにバーコードデータの前にシンボル名と長さを挿入し送信します。その挿入をスペースで分けま
す。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：**B3F42001B4F42001F10D**

B3 は「シンボル名を挿入する（Insert symbology name）」です。

F4 は「Insert a character multiple times（キャラクタを複数回挿入する）」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

B4 は「Insert bar code length（バーコード長を挿入する）」です。

F4 は「Insert a character multiple times（キャラクタを複数回挿入する）」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

Code128 20 1234567890ABCDEFGHIJ
<CR>

キーストロークを挿入する

- B5 キーストローク、またはキーストロークの組み合わせを挿入します。キーストロークは、お使いのキーボードにより異なります。矢印やファンクションを含め、どんなキーも挿入できます。Syntax = B5xxssnn ss は下表のキーモディファイヤであり、nn はユニコードキーマップのキー番号です。

キーモディファイヤ	
キーモディファイヤ無し	00
Shift Left (左シフト)	01
Shift Right (右シフト)	02
Alt Left (左 Alt)	04
Alt Right (右 Alt)	08
Control Left (左 Ctrl)	10
Control Right (右 Ctrl)	20

例えば、B501021F というコマンドを作成すると米国キーボード 104 キー にA を追加します。B5 = キーストロークを挿入するコマンド、01 = キーモディファイヤ無しに押されたキーの数、02 = Shift Right のキーモディファイヤ、1F = 小文字の「a」もし小文字の「a」が挿入されたら、B50121F の設定は成功です。

キーストロークが 3 つある場合、B5xxssnn をもう一つ追加し、Syntax は B5xxssnnssnnssnn に変わります。「abc」を入力する場合は、以下のとおりです：B503001F00320030F833。

注意：必要であれば、キーモディファイヤは組み合わせと一緒に付加することが可能です。例えば：Control Left (右Ctrl) + Shift Left (右シフト) = 11 となります。

移動コマンド

前方キャラクタへ移動する

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。
Syntax = F5nn (nn は、カーソルを前に移動させるキャラクタ数 (00 - 99) を示しています。)

F5 の例：カーソルを前に移動し、データを送信します。



上記のバーコードのカーソルを3文字前に移動し、それ以降のバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：F503F10D

F5 は「Move the cursor forward a number of characters (前方キャラクタへ移動する)」です。

03 はカーソルを移動するキャラクタ数です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

4567890ABCDEFGHIJ
<CR>

後方キャラクタへ移動する

- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。
Syntax = F6nn (nn は、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

カーソルを先頭に移動する

F7 カーソルを入力メッセージの先頭キャラクタに移動させます。Syntax = F7

FE と F7 の例：1で始まるバーコードを処理します。



1で始まるバーコードを検索します。バーコードが一致した場合、カーソルはデータの先頭に移動し、6文字にキャリッジリターンを付加し送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FE31F7F2060D

FE は「Compare characters（キャラクタの比較）」です。

31 は 1 の Hex 値です。

F7 は「Move the cursor to the beginning（カーソルを先頭に移動する）」です。

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

06 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

123456

<CR>

カーソルを末尾に移動する

EA カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。Syntax = EA

検索コマンド

前方のキャラクタを検索する

F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx (xx は、検索するキャラクタのASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

F8 の例：特定のキャラクタの後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「D」を検索し、「D」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します。

コマンド：F844F10D

F8 は「Search forward for a character（前方のキャラクタを検索する）」コマンドです。

44 は「D」のHex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

DEFGHIJ

<CR>

後方のキャラクタを検索する

F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

前方のSTRINGを検索する

- B0 現在のカーソル位置より前方にある「s」STRINGを検索し、カーソルは「s」STRINGに移動します。Syntax =B0nnnnS.nnnn はSTRINGの長さ（9999 まで）で、s は対応するSTRINGの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B0000454657374 では初めて 4 桁のキャラクタのSTRINGが登場する「Test」を前方検索します。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

B0 の例：特定のSTRINGの後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「FGH」を検索し、「FGH」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**B00003464748F10D**

B0 は「前方のSTRINGを検索する（Search forward for a string）」コマンドです。

0003 はSTRING長（3 文字）です。

46 は「F」のHex 値です。

47 は「G」のHex 値です。

48 は「H」のHex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値のHex 値です。

データ出力は：

FGHIJ

<CR>

後ろ方のSTRINGを検索する

- B1 現在のカーソル位置より後方にある「s」STRINGを検索し、カーソルは「s」STRINGに移動します。Syntax =B1nnnnS.nnnn はSTRINGの長さ（9999 まで）で、s は対応するSTRINGの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B1000454657374 では初めて4キャラクタのSTRINGが登場する「Test」を後方検索します。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

合致しないキャラクタの前方を検索する

- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax =E6xx.xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

E6 の例：バーコードデータのはじめにある 0 を削除する



0 があるバーコードの例です。0 を無視し、それ以降のすべてのデータを送信する場合。E6 は 0 ではない最初の文字を検索し、その後のデータすべてとキャリッジリターンを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**E630F10D**

E6 は「Search forward for a non-matching character（合致しないキャラクタの前方を検索する）」コマンドです。

30 は 0 のHex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値のHex 値です。

データ出力は：

37692

<CR>

合致しないキャラクタの後方を検索する

- E7 現在のカーソル位置より後ろ方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax=E7xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

その他のコマンド

キャラクタを無効にする

- FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FB コマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください

Syntax = FBnnxyzz は、リストにある無効キャラクタの数、xyy..zz は、無効にするキャラクタのリストです。

FB の例：バーコードデータのスペースを削除します。



スペースがあるバーコードの例です。データ送信の前にスペースを削除します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FB0120F10D

FB は「Suppress characters (キャラクタを無効にする)」です。

01 は無効にするキャラクタタイプです。

20 はスペースの Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

34567890

<CR>

キャラクタの無効を停止する

- FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。Syntax = FC

キャラクタを置き換える

- E4 出力メッセージにある最大 15 桁のキャラクタをカーソルを移動せずに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。Syntax=E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2。nn は(変更前のキャラクタと変更後)のキャラクタの合計です。xx1 は、変更前のキャラクタを、xx2 は変更後のキャラクタを定義します。zz1 と zz2 まで同様です。

E4 の例：バーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。



ホストアプリケーションで含めたくないキャラクタを持つバーコードがある場合、E4 コマンドを使用してそれらのキャラクタを別のものに置き換えられます。この例では、上記のバーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。

コマンド：E402300DF10D

E4「キャラクタを置き換える (Replace characters)」

02 は置き換えるキャラクタの合計数と置き換えるキャラクタ (0 をキャリッジリターンに置き換えるので、合計キャラクタ数は 2) です。

30 は 0 の Hex 値です。

0D はキャリッジリターンの Hex 値です。(0 に置き換わるキャラクタ)

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234
5678
ABC
<CR>

キャラクタの置き換えを停止する

E5 キャラクタの変更を停止します。Syntax = E5.

キャラクタを比較する

FE 現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。Syntax = FExx (xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

ストリングを比較する

B2 入力メッセージにあるストリングをストリング「s」と比較します。ストリングが同じ場合は、カーソルをそのストリングの末尾まで移動させます。Syntax= B2nnnnS 。nnnn はストリングの長さ(9999 まで)で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCIIHex 値からなっています。例えば、B2000454657374 は現在のカーソル位置のストリングと4つのキャラクタストリング「Test」を比べます。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャートページを参照してください。

数字をチェックする

EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

EC の例：バーコードが数字で始まる場合のみデータを出力します。

数字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド：ECF10D

EC は「数字をチェックする (Check for a number)」コマンドです。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **AB1234** が出力されます。

このバーコードが読まれると、 データ出力は：

1234AB
<CR>

数字以外のキャラクタをチェックする

ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。

ED の例：バーコードが文字で始まる場合のみデータを出力します。

文字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド：EDF10D

ED は「数字以外のキャラクタをチェックする (Check for a non-numeric character)」コマンドです。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **1234 AB** が出力されます。

このバーコードが読まれると： データ出力は：
AB1234

AB1234
<CR>

ディレイを挿入する

EF 現在のカーソル位置から 49,995 ミリ秒までの（5 ミリ秒単位）ディレイを挿入します。Syntax = Efnnnn。nnnn は5 ミリ秒単位でのディレイを示し、9999 までです。このコマンドはキーボードウェッジインターフェースの場合にのみ、使用可能です。

ディレイを破棄する

B8 データを破棄します。例えば、キャラクタ「A」で始まる Code 128 を破棄するとします。7-1 ページのStep 4 で、6A（Code 128）を選択し、Step 5 で 9999（すべての長さ）を選択します。B8FE41 コマンドを入力し、「A」で始まる Code 128 バーコードのデータを破棄します。Syntax = B8。

注意: B8 コマンドはすべての他のコマンドの後に入力してください。

B8 コマンドを使用するには、“データフォーマットは要求する”になっている必要があります。データフォーマットが有効で、要求しない設定になっている場合、B8 フォーマットに適合するバーコードでも通常通り読み取られて、そして出力されます。

データフォーマットは有効かつ要求するにすることがあるため、出力したいすべてのバーコードだけでなく破棄したいすべてのバーコードに対してデータフォーマットを入力する必要があります。

他のデータフォーマット設定が、この B8 コマンドに影響します。Data Format Non-Match Error Toneのデータフォーマット非適合エラーブザー）が有効な場合、スキャナはエラーブザーを鳴らします。逆に Data Format Non-Match Error Toneが無効になっている場合、コードの読み取りを行わないと同時に、エラーブザーもなりません。

データフォーマッター

データフォーマッターを無効にすると、プリフィックスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。



DFM_END.

データフォーマッタ 無効

読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

Data Formatter On, Not Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィックス、サフィックスも送信されます。

Data Formatter On, Not Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィックス、サフィックスは送信されません。データフォーマットが特定のシンバルにない場合、プリフィックス、サフィックスは送信されます。

Data Format Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィックス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、データフォーマット非適合エラーブザーを参照してください。

Data Format Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィックス、サフィックスは送信されません。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合は、すべてエラーブザーが鳴らされます。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、データフォーマット非適合エラーブザーを参照してください。

操作は以下から1つ選んでください。初期設定=データフォーマット有効、要求しない、プリフィックス/サフィックスあり



DFM_EN1.

* データフォーマット 有効、
要求しない、
プリフィックス / サフィックスあり



DFM_EN3.

データフォーマット 有効、
要求しない、
プリフィックス / サフィックス なし



DFM_EN2.

データフォーマット 要求する
プリフィックス / サフィックス あり



DFM_EN4.

データフォーマット 要求する
プリフィックス / サフィックス なし

データフォーマット非適合エラーブザー

ユーザーが要望するデータフォーマットに合わないバーコードが読み込まれた場合、通常、スキャナがエラーブザーを鳴らします。しかし、エラーブザーを聞くことなくバーコード読み込みを続けたい場合もあります。DataFormatNon-Match Error Tone Off（データフォーマット非適合エラーブザー 無効）バーコードを読み込むと、データフォーマットと一致しなかったデータは送信されず、エラーブザーもありません。非適合のバーコードがあったときにエラーブザーを聞きたい場合は、Data Format Non-Match Error Tone On（データフォーマット非適合エラーブザー 有効）バーコードを読み取ってください。初期設定 = データフォーマット非適合エラーブザー 有効



DFMDEC0.

* データフォーマット非適合エラー
ブザー 有効



DFMDEC1.

データフォーマット非適合エラー
ブザー 無効

基準／代用データフォーマット

データフォーマットは 4 種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0 で保存してください。それ以外のフォーマットは 1、2、3 のどれかで保存してください。フォーマットを切り換えるようにするには、以下のバーコードのいずれか1つを読み取ってください。



ALTFNM0.
基準データフォーマット



ALTFNM2.
データフォーマット 2



ALTFNM1.
データフォーマット 1



ALTFNM3.
データフォーマット 3

データフォーマットの切り替え

一回の読み取りだけでデータフォーマットの切り替えができます。以下のバーコードを代用データフォーマットで読み取り、前記で選択したフォーマット（基準、もしくは 1、2、3）へと戻します。

例えば、Data Format3 として保存したデータフォーマットをデバイスに設定したい場合、以下の **Single Scan-Data Format1** バーコードを読み取りDataFormat1に切り替えられます。DataFormat1でスキャンしたその次のバーコードは DataFormat3に切り替えられます。



VSAF_0.

基準データフォーマットへ切り替え



VSAF_1.

データフォーマット 1 へ切り替え



VSAF_2.

データフォーマット 2 へ切り替え



VSAF_3.

データフォーマット 3 へ切り替え

シンボル

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、12章を参照してください。

- すべてのシンボル
- Aztec コード
- 中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)
- 中国漢信 (Han Xin) コード
- Codabar(NW7)
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- Digimarc Barcode™
- DotCode
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1 コンポジットシンボル
- GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)
- GS1 データバー限定型 (リミテッド)
- GS1 データバー標準型 (オムニディレイクシヨナル)
- GS1 エミュレーション
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5 (ITF)
- 韓国郵便
- ラベルコード
- Matrix 2 of 5
- Maxi コード
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- 2 次元郵便コード
- 1 次元郵便コード
- PDF417
- * QR コード
- Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)
- Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- Trioptic コード
- UPC-A
- UPC-A/EAN-13拡張クーポンコード付き
- UPC-E0
- UPC-E1

すべてのシンボル

お使いのスキヤナで可能なシンボルをすべて読み取りたい場合は、**All Symbolologies On**（すべてのシンボル有効）のバーコードを読み取ります。一方、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、**All Symbolologies Off**（すべてのシンボル 無効）を読み取り、その後 特定のシンボルに対して **On** バーコードを読み取ります。



ALLENA1.

すべてのシンボル 有効



ALLENA0.

すべてのシンボル 無効

注意：All Symbolologies On を読み取っても、2次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2次元郵便コードについては、別に設定してください。

読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、読み取り桁数を設定できます。読み取ったバーコードのデータ桁数が指定した読み取り桁数と一致しない場合、エラーブザーが鳴ります。スキヤナに強制的に固定桁数のバーコードデータを読み取らせる場合は、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減につながります。

例：桁数が9～20桁 のバーコードだけを読み取りする。 最小：09、最大：20

例：桁数が15桁 のバーコードだけを読み取りする。 最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** の読み取り桁数の数値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar(NW7)

【Codabar(NW7) すべての設定を初期化】



CBRDFT.

Codabar(NW7)有効/無効



CBRENA1.

* 有効



CBRENA0.

無効

Codabar(NW7) スタート / ストップキャラクタ

スタート/ ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定＝*Don't Transmit* (送信しない)



Codabar(NW7) チェックキャラクタ

Codabar(NW7) チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いた Codabar(NW7) のバーコードだけを読み取るようにスキャナを設定できます。初期設定値＝*No Check Character* (チェックキャラクタなし)

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なく Codabar(NW7) を読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Codabar(NW7) のみを読み取りますが、読み取ったデータの最後にチェックキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Codabar(NW7) のみを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータと一緒に送信しません。



Codabar(NW7) の連結

Codabar(NW7) には、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接する Codabar(NW7) を検索します。この場合、2 つのデータは 1 つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。



連結されていない単独の「D」Codabar(NW7) を読み取りしないようにするには、Required（要求する）を選択します。
この選択をしても、「D」のスタート / ストップ キャラクタがない Codabar(NW7) には影響ありません。



有効



Codabar(NW7) の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)
を参照してください。設定可能桁数=2 ~60 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=60



Code 39

【Code 39 すべての設定を初期化 】



Code 39 有効 / 無効



Code 39 スタート / ストップキャラクタ

スタート/ ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定値 = Don't Transmit (送信しない)



C39SSX1.
送信する



C39SSX0.
* 送信しない

Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なく Code 39 を読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 のみを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit（有効、送信する）に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 のみを読み取りますが、読み取ったデータの最後にチェックキャラクタを送信します。*初期設定値＝ No Check Character*（チェックキャラクタなし）



C39CK20.

* チェックキャラクタなし



C39CK21.

有効、送信しない



C39CK22.

有効、送信する

Code 39 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数桁数＝0～48 最短の初期設定値＝0 最長の初期設定値＝48



C39MIN.

最小読み取り桁数



C39MAX.

最大読み取り桁数

Code 39 の連結

この機能により、複数の Code 39 のデータを付加してからホストシステムに送信できます。この機能を有効にすると、スキャナはスペースで始まる Code 39（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外のキャラクタで始まる Code 39 を読み取ると、保存したデータを読み取った順で送信します（FIFO）。*初期設定値＝ Off（無効）*



C39APP1.

有効



C39APP0.

* 無効

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます。

注意：Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic Code を必ず無効にしてください。



C39B321.

有効



C39B320.

* 無効

Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」は ASCII キャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」として読み取りされます。初期設定=Off（無効）

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	:	/Z	J J	Z Z	j +J
VT \$K	ESC %A	+ /K	;	%F	K K	[%K	k +K
FF \$L	FS %B	, /L	<	%G	L L	\ %L	l +L
CR \$M	GS %C	-	=	%H	M M	] %M	m +M
SO \$N	RS %D	·	>	%I	N N	^ %N	n +N
SI \$O	US %E	/	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。
「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASC1.
Full ASCII 有効



C39ASC0.
* Full ASCII 無効

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し(ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換の本書にあるプログラミングチャートから値と **Save** (保存)のバーコードを読み取ります。データキャラクタが正しく表示されます。



C39DCP.
Code 39 コードページ

Interleaved 2 of 5 (ITF)

【Interleaved 2 of 5 すべての設定を初期化】



I25DFT.

Interleaved 2 of 5 (ITF) の有効 / 無効



I25ENA1.

* 有効



I25ENA0.

無効

Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なく ITF を読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF のみを読み取りますが、チェックデジットは読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF のみを読み取りますが、読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信します。初期設定値 = **No Check Digit** (チェックデジットなし)



I25CK20.

* チェックデジット 無効



I25CK21.

有効、送信しない



I25CK22.

有効、送信する

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=2 ~80 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=80



I25MIN.

最小読み取り桁数



I25MAX.

最大読み取り桁数

FEBRABAN Decode

次のバーコードを読み取り、FEBRABAN Boletto のデコード(読み取り) on/ off を設定してください。初期設定値 = off



I25PAY1.
FEBRABAN DECODE ON



I25PAY0.
*FEBRABAN DECODE OFF

NEC 2 of 5

【NEC 2 of 5 すべての設定を初期化】



N25DFT.

NEC 2 of 5 有効/ 無効



N25ENA1.

* 有効



N25ENA0.

無効

チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なく NEC 2 of 5 を読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 のみを読み取りますが、チェックデジットは読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 のみを読み取りますが、読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



N25CK20.

* チェックデジット 無効



N25CK22.
有効、送信する



N25CK21.
有効、送信しない

NEC 2 of 5 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=2 ~80 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=80



N25MIN.
最小読み取り桁数



N25MAX.
最大読み取り桁数

Code 93

【Code 93 すべての設定を初期化】



C93DFT.

Code 93 有効 / 無効



C93ENA1.
* 有効



C93ENA0.
無効

Code 93 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=0 ~80 最短の初期設定値=0 最長の初期設定値=80



C93MIN.
最小読み取り桁数



C93MAX.
最大読み取り桁数

Code 93 連結機能

この機能を使用すると、複数の Code 93 バーコードをホストデバイスに送信する前に一緒連結させることができます。スペースで始まる Code93（スタート / ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 93 バーコードを読み取ると、スキャナは結合したデータをホストデバイスに送信します。初期設定＝Off



C93APP1.

有効



C93APP0.

* 無効

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換ページ参照）を参照）本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save** のバーコードを読み取ります。データキャラクタが正しく表示されます。



C93DCP.

Code 93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート / ストップ)

【 Straight of 5 Industrial すべての設定を初期化 】



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrial 有効 / 無効



R25ENA1.

有効



R25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数＝1～48 最短の初期設定値＝4 最長の初期設定値＝48



R25MIN.

最小読み取り桁数



R25MAX.

最大読み取り桁数

Straight 2 of 5 IATA (2 バーススタート / ストップ)

【IATA すべての設定を初期化】



A25DFT.

Straight 2 of 5 IATA 有効 / 無効



A25ENA1.

有効



A25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 IATAリダンダンシー(照合)

Straight 2 of 5 IATAを読取ってエラーが発生した時は、スキャナがデータを送る前に、バーコードの読み取りを行う回数の設定変更を行う事でエラーの削減・回避が行う事が出来ます。その回数（リダンダンシー回数）を増やすと読み取りに時間がかかります。その設定変更を行うには、以下のStraight 2 of 5 IATAリダンダンシーを読み取り、プログラミングチャートから回数 0 - 10 を読み、Save を行います。 初期設定 = 0



Straight 2 of 5 IATAリダンダンシー

Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=1～48 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=48



A25MIN.

最小読み取り桁数



A25MAX.

最大読み取り桁数

Matrix 2 of 5

【Matrix 2 of 5 すべての設定を初期化】



X25DFT.

Matrix 2 of 5 有効 / 無効



X25ENA1.

有効



X25ENA0.

*無効

Matrix 2 of 5 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。

設定可能桁数=1 ~80

最短の初期設定値=4

最長の初期設定値=80



X25MIN.

最小読み取り桁数



X25MAX.

最大読み取り桁数

Code 11

【Code 11 すべての設定を初期化】



C11DFT.



C11ENA1.

有効



C11ENA0.

*無効

チェックデジットの要求

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを 1 つまたは 2 つに設定します。初期設定値 = Two Check Digits (チェックデジット 2 つ)



C11CK20.
チェックデジット 1 つ



C11CK21.
* チェックデジット 2 つ

Code 11 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



C11MIN.
最小読み取り桁数



C11MAX.
最大読み取り桁数

Code 128

【Code 128 すべての設定を初期化 】



128DFT.

Code 128 有効 / 無効



128ENA1.
* 有効



128ENA0.
無効

ISBT 128 連結機能

1994 年、国際輸血学会（ISBT）は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことから Code128の使用を現在は推奨すること、3) 隣接シンボルの連結をサポートする Code128の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン／オフします。初期設定値 = Off（無効）



ISBENA1.

有効



ISBENA0.

* 無効

Code 128リダンダンシー(照合)

Code128を読み取ってエラーが発生した時は、スキャナがデータを送る前に、バーコードの読み取りを行う回数の設定変更を行う事でエラーの削減・回避が行う事が出来ます。その回数（リダンダンシー回数）を増やすと読み取りに時間がかかります。その設定変更を行うには、以下の Code 128 Redundancy を読み取り、プログラミングチャートから回数 0 - 10 を読み、Saveを行います。初期設定 = 0



128VOT.

Code 128 Redundancy

Code 128 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=0 ~80 最短の初期設定値=0 最長の初期設定値=80



128MIN.

最小読み取り桁数



128MAX.

最大読み取り桁数

Code 128 連結機能

この機能では、複数の Code 128 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スキャナが連結を示すキャラクタを含んだ Code 128 バーコードを読み取ると、連結を示すキャラクタを含まないバーコードを読み取るまで Code 128 バーコードのデータを一時的に保存します。バーコードデータは読み取った順に出力されます（FIFO）。初期設定=On（有効）



128APP1.

* 有効



128APP0.

無効

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換を参照）本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と

Save のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



GS1-128

【GS1-128 すべての設定を初期化】



GS1-128 有効/ 無効



GS1-128 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=1～80 最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=80



Telepen

【Telepen すべての設定を初期化】



TELDFT.

Telepen 有効 / 無効



TELENA1.

有効



TELENA0.

* 無効

Telepen 出力

AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力) を使用すると、スキヤナはスタート/ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、標準の Full ASCII (スタート/ストップパターン 1) として読み取りします。Original Telepen Output (オリジナル Telepen 出力) を選択すると、スタート/ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、オプションの Full ASCII (スタート/ストップパターン 2) を含む圧縮された数値として読み取ります。初期設定 = AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力)



TELOLD0.

* AIM Telepen 出力



TELOLD1.

オリジナル Telepen 出力

Telepen 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 60 最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 60



TELMIN.

最小読み取り桁数



TELMAX.

最大読み取り桁数

UPC-A

【UPC-A すべての設定を初期化】



UPC-A 有効 / 無効



注意：UPC-A バーコードを EAN-13 に変換するには、UPC-A から EAN-13 への変換ページを参照してください。

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を送信しますが、送信ないように設定できます。初期設定 = On (無効)



UPC-A アドオン

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。
初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加禁止)



UPAAD21.
アドオン 2 桁許可



UPAAD20.
* アドオン 2 桁禁止



UPAAD51.
アドオン 5 桁許可



UPAAD50.
* アドオン 5 桁禁止

UPC-A アドオンの要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。
2 桁または 5 桁のアドオンを有効にする必要があります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPAARQ1.
Required (要求する)



UPAARQ0.
* Not Required (要求しない)

アドオンタイムアウト

スキャナがアドオンを探している時間を設定し、その時間が過ぎるとタイムアウトとなる事で、UPC-A Addenda Requiredで設定した値により、データを送信するか廃棄する事が出来ます。タイムアウトの設定は、以下のバーコードを読取った後で、プログラミングチャートから、0-120 ミリ秒の時間を設定し、Saveで保存します。 初期設定 = 500



DLYADD.
Addenda Timeout

UPC-A アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = Off (無効)



UPAADS1.
* 有効



UPAADS0.
無効

拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。もし初期設定（Off）のままにしておくと、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを1つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation（連結許可）コードを読み取ると、スキャナがクーポンコードと拡張クーポンコードを1つの読み取りで認識した場合、どちらも別々のシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取ったはじめのクーポンコードを送信します。

Require Concatenation（連結必須）コードを読み取ると、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読まれない限り、データは出力されません。初期設定 = Off（無効）



CPNENA0.

* 無効



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

アドオンタイムアウト

スキャナがアドオンを探している時間を設定し、その時間が過ぎるとタイムアウトとなる事で、UPC-A/EAN-13 with Extended Coupon Codeで設定した値により、データを送信するか廃棄する事が出来ます。タイムアウトの設定は、以下のバーコードを読取った後で、プログラミングチャートから、0-120 ミリ秒の時間を設定し、Saveで保存します。 初期設定 = 500



DLYADD.

クーポンGS1 データバー出力

UPC と GS1 データバー 両方のバーコードを含んだクーポンを読み取った場合、GS1 データバーのデータのみ読み取り、そして出力したい場合もあるかもしれません。GS1 Output On（GS1 データバーのみ出力 有効）を読み取ると、GS1 データバーのバーコードだけを読み取り、そのデータだけを出力します。初期設定 = GS1 Output Off（GS1 データバーのみ出力 無効）



CPNGS10.

* GS1 データバーのみ出力 無効



CPNGS11.

GS1 データバーのみ出力 有効

UPC-E0

【UPC-E0 すべての設定を初期化】



UPC-E0 有効 / 無効

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1](#) (8-24 ページ) を使用します。初期設定 = On (有効)



UPC-E0 の拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。初期設定 = Off (無効)



UPC-E0 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPC-E0 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定=On (有効)



UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On (有効)



UPC-E0 システム番号

UPC-A シンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-E の拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。送信を防ぐにはOFF (無効) をスキャンします。初期設定= On (有効)



UPC-E0 アドオン

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定= 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off





UPEAD51.
アドオン 5 桁許可



UPEAD20.
* アドオン 2 桁禁止



UPEAD50.
* アドオン 5 桁禁止

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、[UPC-E0](#) (8-22 ページ) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 On (UPC-E1 有効) を選択してください。初期設定=Off (無効)



UPEEN11.
UPC-E1 有効



UPEEN10.
* UPC-E1 無効

EAN/JAN-13

【EAN/JAN-13 すべての設定を初期化】



E13DFT.

EAN/JAN-13 有効/ 無効



E13ENA1.

* 有効



E13ENA0.

無効

UPC-A から EAN-13 への変換

UPC-A Converted to EAN-13（UPC-A からEAN-13 への変換）が選択されると、UPC-A バーコードは EAN-13 コードの前に0を付加し、13 桁に変換されます。Do not Convert UPC-A（UPC-A の変換禁止）が選択されると、UPC-A コードは UPC-A として読み取ります。



UPAENA0.

UPC-A から EAN-13 への変換



UPAENA1.

* UPC-A の変換禁止

EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定＝ On



E13CKX1.

* 有効



E13CKX0.

無効

EAN/JAN-13 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 無効)



E13AD21.
アドオン 2 桁許可



E13AD20.
* アドオン 2 桁禁止



E13AD51.
アドオン 5 桁許可



E13AD50.
* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-13 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



E13ARQ1.
要求する



E13ARQ0.
* 要求しない

290で始まる EAN -13アドオン(Addenda) 要求

この設定では、“290”で始まる EAN-13 バーコードに5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

5桁のアドオン要求: “290”で始まる全てのEAN-13バーコードに5桁のアドオンが必要となり、5桁のアドオンが追加されたバーコードは、1つの連結されたバーコードとして送信されます。5桁のアドオンが含められなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のバーコードは破棄されます。

注意: “290で始まる EAN -13アドオン要求”を既に施行されている時は、その設定が優先されます。

この機能ではなく、“Require 5 Digit Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require 5 Digit Addenda” をスキャンしてください。EAN-13バーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require 5 Digit Addenda



ARQ2900.

* Don't Require 5 Digit Addenda+



ARQ2901.

Require 5 Digit Addenda+

378/379で始まる EAN-13アドオン(Addenda)要求

この設定では、“378”か“379”で始まる EAN-13 バーコードに2桁か5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁か5桁のアドオン要求: “378”か“379”で始まる全てのEAN-13バーコードに、2桁のアドオン・5桁のアドオン、若しくは2桁と5桁のコンビネーションが必要となり、アドオンが追加されたバーコードは、1つの連結されたバーコードとして送信されます。2桁か 5桁のアドオンが含まれたいなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のバーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require Addenda” をスキャンしてください。EAN-13バーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require Addenda



ARQ3780.

* Don't Require Addenda⁺



ARQ3781.

Require 2 Digit Addenda⁺



ARQ3782.

Require 5 Digit Addenda⁺



ARQ3783.

Require 2 or 5 Digit Addenda⁺

414/419で始まる EAN-13アドオン(Addenda)要求

この設定では、“414”か“419”で始まる EAN-13 バーコードに2桁か5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁か5桁のアドオン要求: “414”か“419”で始まる全てのEAN-13バーコードに、2桁のアドオン・5桁のアドオン、若しくは2桁と5桁のコンビネーションが必要となり、アドオンが追加されたバーコードは、1つの連結されたバーコードとして送信されます。2桁か 5桁のアドオンが含まれたいなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のバーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require Addenda” をスキャンしてください。EAN-13バーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require Addenda



ARQ4140.

* Don't Require Addenda⁺



ARQ4141.

Require 2 Digit Addenda⁺



ARQ4142.
Require 5 Digit Addenda



ARQ4143.
Require 2 or 5 Digit Addenda

434/439で始まる EAN -13アドオン (Addenda) 要求

この設定では、“434”か“439”で始まる EAN-13 パーコードに2桁か5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁か5桁のアドオン要求: “434”か“439”で始まる全てのEAN-13パーコードに、2桁のアドオン・5桁のアドオン、若しくは2桁と5桁のコンビネーションが必要となり、アドオンが追加されたパーコードは、1つの連結されたパーコードとして送信されます。2桁か 5桁のアドオンが含まれたいなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のパーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require Addenda” をスキャンしてください。EAN-13パーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require Addenda



ARQ4340.

* Don't Require Addenda⁺



ARQ4341.

Require 2 Digit Addenda⁺



ARQ4342.

Require 5 Digit Addenda⁺



ARQ4343.

Require 2 or 5 Digit Addenda⁺

977で始まる EAN -13アドオン (Addenda) 要求

この設定では、“977”で始まる EAN-13 パーコードに2桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁のアドオン要求: “977”で始まる全てのEAN-13パーコードに2桁のアドオンが必要となり、2桁のアドオンが追加されたパーコードは、1つの連結されたパーコードとして送信されます。2桁のアドオンが含まれたいなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のパーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require 2 Digit Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require 2 Digit Addenda” をスキャンしてください。EAN-13パーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require 2 Digit Addenda



ARQ9770.

* Don't Require 2 Digit Addenda



ARQ9771.

Require 2 Digit Addenda⁺

978で始まる EAN -13アドオン (Addenda) 要求

この設定では、“978”で始まる EAN-13 バーコードに5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁のアドオン要求: “978”で始まる全てのEAN-13バーコードに5桁のアドオンが必要となり、5桁のアドオンが追加されたバーコードは、1つの連結されたバーコードとして送信されます。5桁のアドオンが含まれなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のバーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require 5 Digit Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require 5 Digit Addenda” をスキャンしてください。EAN-13バーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require 5 Digit Addenda



ARQ9780.

* Don't Require 5 Digit Addenda



ARQ9781.

Require 5 Digit Addenda⁺

979で始まる EAN -13アドオン (Addenda) 要求

この設定では、“979”で始まる EAN-13 バーコードに5桁のアドオンが求められ、以下のプログラムが設定されます。

2桁のアドオン要求: “979”で始まる全てのEAN-13バーコードに5桁のアドオンが必要となり、5桁のアドオンが追加されたバーコードは、1つの連結されたバーコードとして送信されます。5桁のアドオンが含まれなかった時は、タイムアウト後に EAN-13 のバーコードは破棄されます。

この機能ではなく、“Require 5 Digit Addenda”を選択されている場合は、この機能を無効にする為に以下の “Don't require 5 Digit Addenda” をスキャンしてください。EAN-13バーコードは、EAN/JAN-13 Addenda Requiredの設定で送信されます。

初期設定 = Don't Require 5 Digit Addenda



ARQ9790.

* Don't Require 5 Digit Addenda



ARQ9791.

Require 5 Digit Addenda⁺

アドオンタイムアウト

スキナがアドオンを探している時間を設定し、その時間が過ぎるとタイムアウトとなる事で、EAN/JAN-13 Addenda Requiredで設定した値により、データを送信するか廃棄する事が出来ます。タイムアウトの設定は、以下のバーコードを読取った後で、プログラミングチャートから、0-120 ミリ秒の時間を設定し、Saveで保存します。 初期設定 = 500



EAN/JAN-13 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = Off (無効)



* 有効



無効

注意：拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 を参照してください。

ISBN 変換

ISBNはEAN-13バーコードを用いて本にプリントされているものです。EAN-13 Bookland シンボルを同等の ISBN 番号フォーマットに変換するには、下の On バーコードを読み取ってください。初期設定 = Off (無効)



EAN/JAN-8

【EAN/JAN-8 すべての設定を初期化】



EAN/JAN-8 有効/ 無効



EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On (有効)



読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加許可)



EA8AD21.
アドオン 2 桁許可



EA8AD20.
* アドオン 2 桁禁止



EA8AD51.
アドオン 5 桁許可



EA8AD50.
* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-8 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



EA8ARQ1.
要求する



EA8ARQ0.
* 要求しない

EAN/JAN-8 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = On (有効)



EA8ADS1.
* 有効



EA8ADS0.
無効

MSI

【MSI すべての設定を初期化】



MSIDFT.

MSI 有効 / 無効



MSIENA1.

有効



MSIENA0.

* 無効

MSI チェックキャラクタ

MSI にはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI を読み取るようにスキャナを設定できます。*初期設定 = Validate Type 10, but Don't Transmit* (タイプ 10 有効、送信しない)

Validate Type 10/11 and Transmit (タイプ 10/11 有効、送信する) に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI のみを読み取り、読み取ったデータの最後にチェックキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit (タイプ 10/11 有効、送信しない) に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI のみを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータと一緒に送信しません。



MSICLK0.

* タイプ 10 有効、送信なし



MSICLK1.

タイプ 10 有効、送信あり



MSICLK2.

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、
送信なし



MSICLK3.

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、
送信あり



MSICLK4.

タイプ 11、そしてタイプ 10 有効、
送信なし



MSICLK5.

タイプ 11 有効、
タイプ 10、送信あり



MSICLK6.

MSI チェックキャラクタ無効

MSI 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ (8-2) を参照してください。設定可能桁数桁数 = 4 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



MSIMIN.

最小読み取り桁数



MSIMAX.

最大読み取り桁数

GS1 データバー標準型（オムニディレクショナル）

【GS1 データバー標準型すべての設定を初期化】



RSSDFT.

GS1 データバー標準型 有効/ 無効



RSSENA1.

* 有効



RSSENA0.

無効

GS1 データバー限定型（リミテッド）

【GS1 データバー限定型 すべての設定を初期化】



RSLDFT.

GS1 データバー限定型 有効/ 無効



RSLENA1.

* 有効



RSLENA0.

無効

GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)

【GS1 データバー拡張型 すべての設定を初期化】



RSEDFT.

GS1 データバー拡張型 有効/無効



RSEENA1.

* 有効



RSEENA0.

無効

GS1 データバー拡張型 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。設定可能桁数=4 ~74 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=74



RSEMIN.

最小読み取り桁数



RSEMAX.

最大読み取り桁数

Trioptic コード

注意 : Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic コードを無効に設定してください。

Trioptic コードとは磁気記憶媒体のラベリングに用いられるものです。



TRIENA1.

有効



TRIENA0.

* 無効

Codablock A

【Codablock A すべての設定を初期化】



CBADFT.

Codablock A 有効/無効



CBAENA1.
有効



CBAENA0.
* 無効

Codablock A 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~600、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=600



CBAMIN.
最小読み取り桁数



CBAMAX.
最大読み取り桁数

Codablock F

【Codablock F すべての設定を初期化】



Codablock F 有効/ 無効



Codablock F 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~2048、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=2048



ラベルコード

図書館で使用されている標準ラベルコードです。初期設定= Off (無効)



PDF417

【PDF417 すべての設定を初期化】



PDFDFT.

PDF417 有効/無効



PDFENA1.

* 有効



PDFENA0.

無効

PDF417 Message Length

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~2750、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=2750



PDFMIN.

最小読み取り桁数



PDFMAX.

最大読み取り桁数

MicroPDF417

MicroPDF417 は、複数の PDF417 コードに含まれている非常に大量のデータをエンコードできるよう改良された PDF417 コードです。この機能を有効にすると、複数のコードを集めて一つのデータストリングに仕立てます。初期設定 = On (有効)



PDFMAC1.

* 有効



PDFMAC0.

無効

MicroPDF417

【MicroPDF417 すべての設定を初期化】



MicroPDF417 有効/ 無効



MicroPDF417 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。
最長と最短＝1 ～366、最短の初期設定値＝1 最長の初期設定値＝366



GS1 コンポジットシンボル

リニアコードと固有の 2D 合成成分とが複合され、GS1 コンポジット シンボルとして読み取ります。

初期設定＝ Off （無効）



UPC/EAN バージョン

UPC または EAN 1 次元バーコードを含む GS1 コンポジット シンボルを読み取りるときは、**UPC/EAN Version On** (UPC/EAN バージョン有効) を読み取ります。(GS1-128、もしくは GS1 バーコードを含む GS1 コンポジットシンボルには影響しません。) **初期設定 = UPC/EAN Version Off (UPC/EAN バージョン 無効)**



COMUPC1.
UPC/EAN バージョン 有効



COMUPC0.
* UPC/EAN バージョン 無効

注意：クーポンが UPC コードと GS1 データバーコード両方を含んでいて、GS1 データバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。そういった場合は、クーポン GS1 データバー出力を参照してください。

GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)

を参照してください。最長と最短=1 ~2435、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=2435



COMM1N.
最小読み取り桁数



COMM1X.
最大読み取り桁数

GS1 エミュレーション

スキャナは任意の GS1 データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の GS1-128 もしくは GS1 データバーシンボルで読み取りされる内容をエミュレートすることができます。GS1 データキャリアには UPC-A、UPC-E、EAN-13 ならびに EAN-8、ITF-14、GS1-128 ならびに GS1-128 データバーと GS1 コンポジットがあります。(GS1 データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。)

GS1-128 Emulation (GS1-128 エミュレーション) を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID, Jc1 となります。(シンボルチャートページ参照)

GS1 Databar Emulation (GS1 データバーエミュレーション) を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1- データバー AIM ID, Jem となります。(シンボルチャートページ参照)

IGS1 Code Expansion Off (GS1 コード エミュレーション 無効) を読み取ると、小売コード拡張が無効となり、UPC-E 拡張は UPC-E0 拡張 UPC-E0 の拡張 (8-22 ページ) 設定によって制御されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID, Jc1 となります。(シンボルチャートページ参照)

EAN8 to EAN13 Conversion を読み取ると、すべての EAN8 バーコードは EAN13 フォーマットに転換されます。

初期設定 = GS1 Emulation Off (GS1 エミュレーション 有効)



EANEMU1.
GS1-128 エミュレーション



EANEMU3.
GS1 コード拡張 無効



EANEMU0.
* GS1 エミュレーション 無



EANEMU2.
GS1 データバーエミュレーション



EANEMU4.
EAN8 から EAN13 へ転換

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のバーコード部分と MicroPDF417 のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにも Code39 バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417 の部分を読み取りできるのは TLC39 On (TLC39 有効) に設定したときだけです。MicroPDF417 の成分を読み取りできるのは、**TLC39 On** (TLC39 有効) に設定したときだけです。リニア成分は、TLC39 がオフでも Code39 として読み取りできます。初期設定 = Off (無効)



T39ENA1.
有効



T39ENA0.
* 無効

QR コード

【QR コード すべての設定を初期化】



QRCDFT.

QR コード 有効/ 無効

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。



QRCENA1.
* 有効



QRCENA0.
無効

QR コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~7089、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=7089



QRCMIN.
最小読み取り桁数



QRCMAX.
最大読み取り桁数

QR コード 連結機能

この機能では、複数のQR コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだQR コードを読み取ると、QR コードに含まれた情報に従って、決められた数量の QRコードを一時的に保存します。適切な数量のQR コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。*初期設定 = One Scan*



QRCAPP1.
* One Scan



QRCAPP2.
Swipe



QRCAPP3.
Point and Shoot



QRCAPP0.
Off

QR コード コードページ

QR コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し(ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換ページ参照)を参照)本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save** (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



QRCDP.
QR コード コードページ

DOT コード

【DOT コードすべての設定を初期化】



DOTコード 有効/ 無効



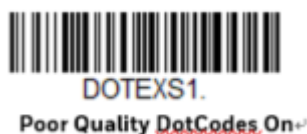
有効



*無効

Poor Quality DOTコード

この設定では、綺麗に印刷されていなかったり、傷等が入って品質が悪くなっているDotCodeの読み取りを向上させます。 初期設定= 品質の悪いDotCode Off



Poor Quality DotCodes On



* Poor Quality DotCodes Off

DOT コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。

最長と最短 = 1 ~ 2400、 最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 2400



Minimum Message Length



Maximum Message Length

Digimarc Barcode™

Digimarcの読み取りを行う回数の設定を行うには、以下のバーコードを読み取り、プログラミングチャートから 1-10 の間で回数を読み取り、Saveします。 初期設定=3



DIGSTR.

Digimarc Decoder Attempts

Digimarc バーコード

この設定により、スキャナがDigimarcバーコードを読み取り、DigimarcとIDを読み取り出来るようになります。 Digimarcの設定が On になっている時、Digimarcデコーダーは全てのフレームを、IDデコーダーは5つおきのフレームを読み取ります。

Uses ID Decoder then Both Decodersになっている時は、IDデコーダーは上記 Digimarc Decoder Attempts で設定された回数の読み取りを行い、その後DigimarcとIDの両方の読み取りを行います。

Uses Digimarc Decoder then Both Decodersが設定される時は、Digimarcデコーダーが上記

Digimarc Decoder Attempts で設定された回数の読み取りを行い、その後DigimarcとIDの両方の読み取りを行います。 Uses ID Decoder then Alternative Decodersが設定された時は、IDデコーダーが Digimarc Decoder Attempts で設定された回数の読み取りを行い、その後IDデコーダーとDigimarcデコーダーを交互に行います。 Uses Digimarc Decoder then Alternative Decodersが設定された時は、DigimarcデコーダーがDigimarc Decoder Attempts で設定された回数の読み取りを行い、その後IDデコーダーとDigimarcデコーダーを交互に行います。 初期設定 = Uses Digimarc Decoder then Both Decoders



DIGENA0.

Off



DIGENA1.

On



DIGENA2.

Uses ID Decoder then Both Decoders



DIGENA3.

* Uses Digimarc Decoder then Both Decoders



DIGENA4.

Uses ID Decoder then Alternative Decoders



DIGENA5.

Uses Digimarc Decoder then Alternative Decoders

Data Matrix

【Data Matrix すべての設定を初期化】



IDMDFT.

Data Matrix 有効/ 無効



IDMENA1.

* 有効



IDMENA0.

無効

Direct Part Marking 読み取り

Direct Part Marking (DPM) の読み取りを向上させたい時は、以下のバーコードを読み取ります。

Dot peen コードの読み取りには Dotpeen DPM Decodingを、エッチングされたコードの読み取りにはReflective (Etched) DPM Decoding を選択します。 初期設定 = Disable DPM Decoding (DPM 無効)



DPMENA1.

Dotpeen DPM Decoding.



DPMENA0.

* Disable DPM Decoding.



DPMENA2.

Reflective (Etched) DPM
Decoding.

Data Matrix 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~3116、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=3116



IDMMIN.

最小読み取り桁数



IDMMAX.

最大読み取り桁数

Data Matrix コードページ

Data Matrix コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換ページ参照）を参照）本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



Maxi コード

【Maxi コード すべての設定を初期化】



Maxi コード 有効/無効



有効



* 無効

Maxi コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数のページ(8-2)についてを参照してください。最長と最短=1 ~150、最短の初期設定=1、最長の初期設定=150



最小読み取り桁数



最大読み取り桁数

Aztec コード

【Aztec コード すべての設定を初期化】



Aztec コード 有効/無効



Aztec コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~3832、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=3832



Aztec 連結機能

この機能では、複数の Aztec コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Aztec コードを読み取ると、Aztec コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Aztec コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = ON(有効)



Aztec コードページ

Aztec コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換ページ参照）を参照）本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.

Aztec コードページ

中国漢信 (Han Xin) コード

【漢信コード すべての設定を初期化】



HX_DFT.

漢信コード 有効/無効



HX_ENA1.

有効



HX_ENA0.

* 無効

漢信コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ(8-2)を参照してください。最長と最短=1 ~7833、最短の初期設定値=1 最長の初期設定値=7833



HX_MIN.

最小読み取り桁数



HX_MAX.

最大読み取り桁数

2 次元郵便コード

以下は、読み込み可能な 2 次元郵便コードと認識可能な 2 次元郵便コードの組み合わせです。1 つの 2 次元郵便コードしか有効にできません。2 つ目の郵便コード設定を有効にすると場合、初めの設定は上書きされます。*初期設定 = 2D Postal Codes Off (2 次元郵便コード 無効)*



POSTAL0.

* 2 次元郵便コード 無効

2次元郵便コード（単独）



POSTAL1.

オーストラリア郵便 有



POSTAL30.

カナダ郵便 有効



POSTAL3.

日本郵便 有効



POSTAL5.

Planet コード 有効

Planet コード チェックデジット参照



POSTAL7.

英国郵便 有効



POSTAL10.

インテリジェントメール 有効



POSTAL4.

KIX 有効



POSTAL9.

Postal-4i 有効



POSTAL6.

Postnet 有効

Postnet チェックデジットページ

参照



POSTAL11.

Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL2.

Info Mail 有効

2次元郵便コード（組み合わせ）



POSTAL8.

Infomail および英国郵便
有効



POSTAL20.

Intelligent Mail バーコード、Postnet B
および B' フィールド 有効



POSTAL14.

Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL16.

Postnet および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL17.

Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL19.

Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL12.

Planet コード
Postnet コード 有効



POSTAL13.
Planet コード
Postal-4i 有効



POSTAL21.
Planet コード
Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL23.
Planet コード
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL25.
Planet コード、
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有
効



POSTAL27.
Postal-4i、
Intelligent Mail コード、Postnet B
および B' フィールド 有効



POSTAL18.
Planet コード
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL15.
Planet コード
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL22.
Planet コード
Postnet および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL24.
Postnet、
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL26.
Planet コード
Intelligent Mail コード、Postnet B
および B' フィールド 有効



POSTAL29.
Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet B
および B' フィールド 有効



POSTAL28.
Planet コード
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet 有
効

Planet コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



PLNCKX1.
チェックデジットを送信する



PLNCKXD.
* チェックデジットを送信しない

Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



NETCKX1.
チェックデジットを送信する



NETCKXD.
* チェックデジットを送信しない

オーストラリア郵便 判読

この機能では、オーストラリア郵便で使用されている 4-State バーコードに含まれている顧客フィールドにどのような判読が適用されるかを制御します。

Bar Output (バー出力) はバーコードのパターンを「0123」フォーマットで一覧にします。

Numeric N Table (数字 N テーブル) は N Table を使用して、フィールドを数字データとして判読します。

Alphanumeric C Table (英数字 C テーブル) は、C Table を使用して、フィールドを英数字データとして判読します。
Australian Post の仕様表を参照してください。

Combination C and N Table (C および N コンビネーションテーブル) はC Table または N Table を使用して、フィールドを判読します。



AUSINT0.

* バー出力



AUSINT1.

数字: N テーブル



AUSINT2.

英数字: C テーブル



AUSINT3.

C および N テーブルコンビネーション

1次元郵便コード

1次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる 1次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)

【中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) すべての設定を初期化】



CPCDFT.

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 有効 / 無効



CPCENA1.

有効



CPCENA0.

* 無効

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ (8-2) を参照してください。最小と最大=1 ~80、最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=80



CPCMIN.

最小読み取り桁数



CPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便

【韓国郵便コード すべての設定を初期化】



KPCDFT.

韓国郵便



KPCENA1.

有効



KPCENA0.

* 無効

韓国郵便 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するとは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数についてのページ (8-2) を参照してください。設定可能桁数=2 ~80 最短の初期設定値=4 最長の初期設定値=48



KPCMIN.

最小読み取り桁数



KPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便

チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



KPCCHK1.

チェックデジットを送信



KPCCHK0.

* チェックデジットを送信しない

イメージングコマンド

スキャナは、デジタルカメラのように画像の取り込み、処理、および転送を行うことができます。以下のコマンドでスキャナの機能実行方法を変更することができます。

注意：スキャナをスタンドに置いている場合は、**スタンド使用時センサーモードを無効にして画像を取り込んでください。**([スタンド使用時のセンサーモード](#) のページ参照)

シングル使用コードレスベース

モディファイヤ付きのイメージングコマンドは、スキャナにシングル使用コードレスベースで命令を送信し、1つの画像取り込みに対し動作します。この取り込みが完了すると、スキャナはイメージングの初期設定に戻ります。設定を恒久的に変えたければ、(12 章参照) を使用します。Serial default commands を用いると、設定は新しいものになり、スキャナの恒久的設定となります。

コマンドシNTAX

複数のモディファイヤやコマンドは1つのシーケンス内で行われます。追加モディファイヤが同じコマンドに適応している場合は、そのモディファイヤをコマンドに追加するだけです。例えば、Image Snap command に setting the Imaging Style to 1P や Wait for Trigger to 1T のような 2 つのモディファイヤを追加するには、IMGSNP1P1T と入力します。

注意：イメージ取り込みコマンド (IMGSNP or IMGBOX) を行ったあと、その画像をターミナルで見るには IMGSHP command を続けます。

1 つのシーケンスにコマンドを追加するには、新しいコマンドはそれぞれにセミコロンで分離してください。例えば、上記のシーケンスに Image Ship command を追加する場合は、IMGSNP1P1T;IMGSHP と入力します。

イメージングコマンドは以下のとおりです。

イメージスナップ：IMGSNP (9-1 ページ)

画像送信 - IMGSHP (9-3 ページ)

署名の取り込み - IMGBOX (9-11 ページ)

それぞれのコマンドのモディファイヤは、コマンド説明のあとです。

注意：それぞれのコマンド説明を含むイメージは単なる例であり、ご使用の結果得られる効果はこのマニュアル内のものと異なることがあります。ご使用の結果得られる出力クオリティはライトや取り込む画像や対象の質、画像や対象からの距離によって異なります。質の高い画像を得るためには、取り込む画像や対象からスキャナを 10.2 ~ 15.2cm 離してお使いになることをお勧めします。

Step1 - IMGSNAP を用いて写真を撮影する

イメージスナップ：IMGSNP

トリガーボタンを引く度、あるいはイメージスナップ (IMGSNP) コマンドを実行する度に画像が取り込まれます。

Image Snap コマンドには、メモリの画像の見かけを変更できる多種多様なモディファイヤがあります。IMGSNP コマンドには、任意の数のモディファイヤを追加できます。例えば、次のコマンドを使用して、画像を撮影したりゲインを増やしたりでき、また画像を撮影した後、ブザー音を鳴らすことができます。IMGSNP2G1B

IMGSNP モディファイヤ

P - Imaging Style (撮影スタイル)

イメージスナップのスタイルを設定します。

- 0P **Decoding Style.** 撮影パラメータが合うまで数フレームを撮影できます。最後のフレームを後で利用できます。
- 1P **Photo Style (初期設定)** 簡単なデジタルカメラを真似ています。視覚的に最適化された画像が得られます。
- 2P **Manual Style.** 高度なスタイルで上級者向けです。スキャナを最も自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B - Beeper (ブザー)

画像の撮影後、ブザー音を鳴らします。

0B ブザーが鳴りません (初期設定)

1B 画像が取り込まれるとブザー音が鳴ります。

T - Wait for Trigger (トリガーの待機)

画像撮影の前に、ボタンが押されるのを待ちます。これは Photo Style (1P) 使用時のみ有効です。

0T すぐに画像を撮影します (初期設定)

1T ボタンが押されるのを待った後、画像を撮影します。

L - LED State (LED の状態)

LED をオン／オフするかどうか、いつオン／オフするのかを決定します。ID カードなど、カラー文書の写真を撮影する場合、特にスキャナをスタンドに置くときは、周囲照明 (0L) をお勧めします。スキャナを手に持つ場合は、LED 照明 (1L) をお勧めします。LED State は、Decoding Style (0P) 使用時には利用できません。

0LLED オフ (初期設定)

1LLED オン

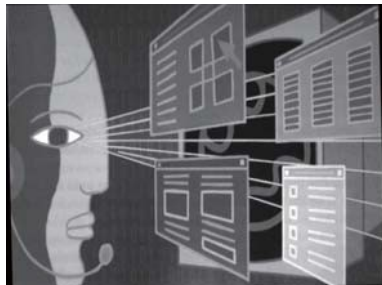
E - Exposure (露光)

Exposure は、マニュアル時 (2P) のみお使いいただくことができ、露光時間を設定します。これはカメラのシャッタースピードに似ています。露光時間はスキャナが画像を取り込む時間の長さを決定します。明るい日には、撮影のための光線が十分ですので露光時間も非常に短くてすみませんが、夜、光がほとんどない状態では露光時間をかなり長くする必要があります。単位は 127 マイクロ秒です。初期設定値 = 7874

nE 範囲 : 1 - 7874

蛍光灯下での 7874E の場合の露光例

蛍光灯下での 100E の場合の露光例



G - Gain (ゲイン)

Gain は Manual Style (2P) 時のみお使いいただくことができます。ボリュームコントロールのような役割を果たし、ゲインモディファイヤが信号を増幅させ、ピクセル値を修正します。ゲインを増やすと、画像の乱れも増幅されます。

1G ゲインなし (初期設定)

2G ゲイン 中

4G ゲイン 高

8G ゲイン 最大

1G ゲインの場合

4G ゲインの場合

8G ゲインの場合



W - Target White Value (ホワイト値)

取り込む画像のグレースケールの中心値をターゲットに設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むためには、75 などの低めの値を推奨します。設定を高くすると撮影時間が長くなって画像が明るくなりますが、高すぎると画像が露出オーバーになります。Target White Value は Photo Style (1P) 使用時だけ使用できます。初期設定値 = 125

nE 範囲 : 0 - 255

75W ホワイト値
の場合

125W ホワイト値の
場合

200W ホワイト値
の場合



D - Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲)

ホワイト値設定用の許容範囲を設定します([W - Target White Value \(ホワイト値\)](#) を参照)。Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 25

nD 範囲 : 0 - 255

U - Update Tries (アップデートトライ)

[D - Delta for Acceptance \(ホワイト値許容範囲\)](#) に達するためにスキャナが取得するフレームの最大数のことです。

Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 6

nU 範囲 : 0 - 10

% - Target Set Point Percentage (ターゲットポイント比率)

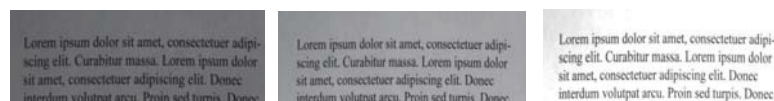
取り込んだ画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。設定 75% は、ピクセルの 75% がターゲットのホワイト値以下で、ピクセルの 25% がターゲットのホワイト値を超えることを意味します。通常環境でこの設定を初期設定から変更することは、推奨していません。グレースケール値を変更するには、[W - Target White Value \(ホワイト値\)](#) を使用します。初期設定値 = 50

n% 範囲 : 1 - 99

ターゲットポイン
ト 97% の場合

ターゲットポイント
50% の場合

ターゲットポイント
40% の場合



Step 2 - IMGSHIP を使った画像送

信画像送信 - IMGSHIP

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは画像送信 (IMGSHIP) コマンドを実行することで取り込まれます。最後の画像が
つねにメモリに保存されます。IMGSHIP コマンドでその画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、スキャナが出力する画像の設定を変更するのに使用できる多種多様のモディファイヤがあります。モ
ディファイヤは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGSHIP コマンドには、任意の数の
モディファイヤを追加できます。例えば、以下のコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行ってビット
マップ画像を送ることができます。IMGSHIP;IMGSHIP8F75K26U

IMGSHP モディファイヤ

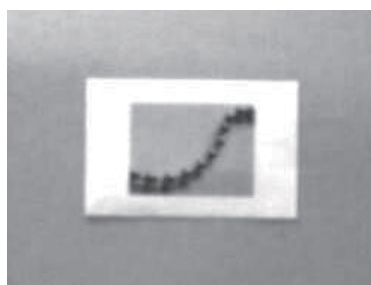
A - Infinity Filter（無限遠フィルタ）

非常に長距離（10 フィートまたは 3m 以上）から撮影した写真の質を向上します。ただし、Infinity Filter を [MGSNP モディファイヤ](#) (9-1 ページ) とともに用いることはできません。

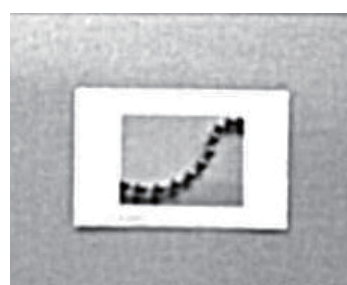
0A 無限遠フィルタ 無効（初期設定）

1A 無限遠フィルタ 有効

3.66m の距離付近での無限遠
フィルタ無効 (0A)
撮影した場合



3.66m の距離付近での無限遠フ
ィルタ有効 (1A)



C - Compensation（圧縮）

画像全体の照度の変化を考慮するために画像をフラットにします。

0C 圧縮 無効（初期設定）

1C 圧縮 有効

圧縮が無効（0C）の場合



圧縮が有効（1C）の場合



D - Pixel Depth（ピクセル濃度）

送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。（KIM または BMP フォーマットのみ）

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像（初期設定）

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

E - Edge Sharpen (エッジシャープニング)

エッジシャープニングフィルタで画像の縁をクリーンにし、画像を更に美しくシャープにします。エッジシャープニングは画像を鮮明にしますが、元々の画像のきれいに撮影された詳細部も取り除いてしまいます。エッジシャープニングフィルタの強度は 1 ～ 24 から設定できます。23E を入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像内のノイズも増えます。

0E 画像をシャープにしません (初期設定)

14E 標準画像用にエッジをシャープにします。

ne n の値でエッジをシャープにします (n = 1 ～ 24)

0E でのエッジシャープニング



24E でのエッジシャープニング



F - File Format (ファイルフォーマット)

希望する画像のフォーマットを示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ (左上から右下、1ピクセル/ビット、行の最後を 0 で埋める)

5F 非圧縮グレースケール (左上から右下、ビットマップフォーマット)

6F JPEG 画像 (初期設定)

8F BMP フォーマット (右下から左上、非圧縮)

10F TIFF カラー圧縮画像

11F TIFF カラー無圧縮画像

12F JPEG カラー画像

14F BMP カラーフォーマット

15F BMP 無圧縮 未加工画像

H - Histogram Stretch (ヒストグラムストレッチ)

送信画像のコントラストを高くします。画像フォーマットによっては利用できません。

0H ストレッチなし (初期設定)

1H ヒストグラムストレッチ

ヒストグラム ストレッチ(0H) の ヒストグラム ストレッチ(1H) の



I - Invert Image (画像反転)

画像を X 軸または Y 軸周りで回転させるのに使用します。

1ix X 軸で画像を回転 (画像の上下が反転)

1iy Y 軸で画像を回転 (画像の左右が反転)

回転なし

回転 (1ix) の場合

回転 (1iy) の場合



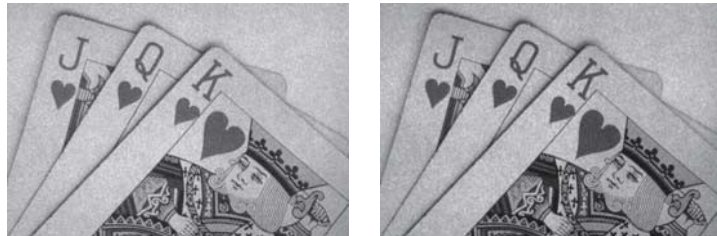
IF- Noise Reduction (ノイズ低減)

白黒ノイズを低減します。

0if 白黒ノイズの低減なし (初期設定)

1if 白黒ノイズの低減

白黒ノイズ の低減なし (0if) の場合 白黒ノイズ の低減あり (1if) の場



IR - Image Rotate (画像回転)

0ir 撮影したとおり (正しい向き) の画像 (初期設定)

1ir 画像を右に 90 度回転

2ir 画像を 180 度回転 (上下逆)

3ir 画像を左に 90 度回転

画像の回転なし (0ir)



画像の回転あり (2ir)



画像の回転あり (1ir)



画像の回転あり (3ir)



J - JPEG Image Quality (JPEG 画像の質)

JPEG 画像フォーマットを選択したときに希望の画質を設定します。数字を大きくすると画質が高くなりますが、ファイルは大きくなります。小さくすると、圧縮量が大きくなって転送速度が速くなり画質は落ちますが、ファイルは小さくなります。 (初期設定: 50)

nJ 画質係数 n (n: 1 ~ 100) の値で可能な限り画像を圧縮します。

0J 最低画質 (最小ファイル)

100J 最高画質 (最大ファイル)

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

0K ガンマ補正 無効 (初期設定)

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 0 \sim 1,000$) を適用

ガンマ補正 (0K) の場

ガンマ補正 (50K) の
場合

ガンマ補正 (255K) の
場合



L, R, T, B, M - Image Cropping (画像切り取り)

上下左右のピクセル座標を指定して画像のウィンドウを送ります。機器のIには0 ~1279 の番号が、行には 0 ~959 の番号が付けられています。

nL 送信画像の左端は、メモリ内の画像の *n I* に対応します。範囲：000 - 843. (初期設定：0)

nR 送信画像の右端は、メモリ内の画像の *n-1 I* に対応します。範囲：000 - 843. (初期設定 = 全I)

nT 送信画像の上端は、メモリ内の画像の *n* 行に対応します。範囲：000 - 639. (初期設定：0)

nB 送信画像の下端は、メモリ内の画像の *n-1* 行に対応します。範囲：000 - 639. (初期設定=全行)

切り取りなし



切り取り設定 (300R)



切り取り設定
(300L)



切り取り設定(200B)



切り取り設定 (200T)



代わりに、画像の外側マージンから切り取るピクセルの数を指定します。中央のピクセルだけが送信されます。

nM マージン：画像の左から *n I*、右から *n+1 I*、上から *n* 行、下から *n+1* 行を切り取ります。残った中央のピクセルを送ります。範囲：0-238.
(初期設定：0、または全画像)

切り取り設定 (238M)



P - Protocol (プロトコル)

画像の送信に使用します。画像の送信に使用します。プロトコルは画像をホストに送る際、2種の機能に対応しており、データの送信に使用するプロトコル (Hmodem：追加のヘッダー情報を持つ Xmodem 1K の変形) と、送信される画像のフォーマットに対応します。

0P 無し (生データ)

2P 無し (USB の初期設定)

3P 圧縮Hmodem (RS-232 の初期設定)

4P Hmodem

S - Pixel Ship (ピクセル送信)

ピクセル送信はオリジナルサイズに対する比率に拡大縮小します。スペースで規則的に区切られた一定のピクセルだけを送ることで画像を間引くのに使用できます。例えば、**4S** では 4 行おきに 4 ピクセルごとに送信します。送るピクセルを減らすと、画像が小さくなりますが、画像がある数値まで達すると、使用できなくなります。

1S すべてのピクセル送信 (初期設定)

2S 縦横両方で、2 ピクセルごとに送る (初期設定)

3S 縦横両方で、3 ピクセルごとに送る

ピクセルの送信が3S の場合



ピクセル送信が
1S の場合

ピクセルの送信
が 2S の場合



U - Document Image Filter (テキスト画像フィルタ)

送信されたテキスト画像の縁をシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。このフィルタは、ガンマ補正 (9-7 ページを参照) と共に使用します。このとき、スキャナはスタンドに置いた状態で、次のコマンドを使用して画像を取り込みます。

IMGSNP1P0L168W90%32D

このフィルタは通常、標準の E-Edge Sharpen コマンド (9-10 ページを参照) よりも良好な JPEG 圧縮を提供します。このフィルタは、白黒のみの画像 (ピクセルあたり 1 ビット) を送信するときにも良好に機能します。最適設定は 26U です。

0U 文書画像フィルタオフ (初期設定)

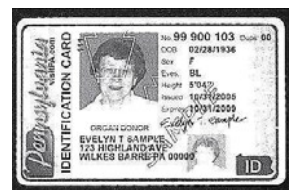
26U 文書画像フィルタを標準的な文書画像に適用する

nU グレースケールのしきい値 *n* を使用して、画像コントラストが低いときに数値を下げます。1UE - エッジシャープニング (8-7 ページ) 22e と同等の効果があります。E - Edge Sharpen (エッジシャープニング) (9-5 ページ) 範囲: 0-255

Image Filter が0U の場合



Image filter が26U の場合



V - Blur Image (画像ぼかし)

境界線のハードエッジに隣接するピクセルと画像内の陰影領域を平均化して、変わり目を滑らかにします。

0V ぼかさない (初期設定)

1V ぼかす

画像のぼかし 無効(0V)



画像のぼかし 有効(1V)



W - Histogram Ship (ヒストグラム送信)

ヒストグラムによって、画像の色調範囲すなわちキーのタイプをすばやく識別することができます。ローキー画像はシャドウに、ハイキー画像はハイライトに、標準的な（アベレージキー）画像は中間調にディテールが集中します。このモディファイヤは画像用のヒストグラムを送信します。

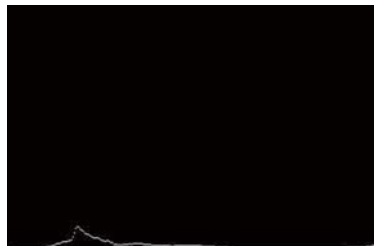
0W ヒストグラムを送信しない (初期設定)

1W ヒストグラムを送信する

ヒストグラムを使用しない



ヒストグラムが左にある場合



画像サイズの互換性

画像送信が正確に 640x480 ピクセルを返すようにアプリケーションを設定している場合、Force VGA Resolution (NGA 解像度の強制) バーコードを読み取ります。初期設定 = Native Resolution (元の解像度)



IMGVGA1.

VGA 解像度の強制



IMGVGAD.

* 元々の解像度

署名の取り込み - IMGBOX

IMGBOX を用いれば、バーコードに近接している署名取り込みエリアのサイズや位置を修正することができます。これにより、署名取り込みエリアを特定のフォームに仕立てることができます。IMGBOX を使うためには、署名ボックスがバーコードに近い既知位置にあるようフォームを設定する必要があります。署名エリアからバーコードまでの水平および垂直距離を指定できるだけでなく、全体的なサイズを入力できます。また、取り込んだ署名画像の最終出力の解像度とファイル形式も設定できます。

注意：IMGBOX コマンドは、以下のいずれかのバーコードによって使用することができます。PDF417、Code 39、Code 128、Aztec、Codabar(NW7)、Interleaved 2 of 5 (ITF) これらのシンボルが読み取られると、IMGBOX コマンドを受け付けるために画像が維持されます。

署名取り込みの最適化

署名取り込みを頻繁に使う場合は、最適化をしてください。ただし、このモードを有効にするとバーコード読み取り速度は遅くなります。ご注意ください。初期設定 = Off



DECBND1.
ON 最適化 有効



DECBND0.
* Off 最適化 無効

署名取り込みアプリケーションの例を以下に示します。この例では、エイマーを署名取り込みエリアの中心に置き、トリガーを引きます。一度ブザーが鳴り、スキャナが Code 128 バーコードを読み取り、データがホストシステムへと転送されたことを知らせます。Granit スキャナの場合、振動します。ホストからそのコードの下に署名取り込みエリアの座標を特定するために IMGBOX コマンドが送られ、その署名を含むエリアのみ画像としてホストに送るよう示します。

この例を試す方法：エイマーを（バーコードではなく）署名エリアにそろえ、トリガーを引きます。



トリガーを引いた後に、以下の IMGBOX コマンドストリングを送信します。

Example: IMGB0X245w37h55y

注意：コマンドストリングにおいて大文字 / 小文字は重要ではありません。ここでは説明の為に用いています。

すると、以下のような画像が得られます。



IMGBOX コマンドには、スキャナから出力される署名画像のサイズや表示を変えることができる多種多様なモディファイヤが用意されています。モディファイヤは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGBOX コマンドには、任意の数のモディファイヤを追加できます。

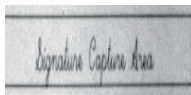
注意：IMGBOX コマンドはウィンドウサイズ（高さと幅）が指定されない限り、NAK 返信を行います。

IMGBOX モディファイヤ

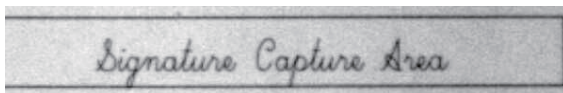
A - Output Image Width (出力画像の幅)

この設定は、画像の幅を変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

幅を 200A に設定した場合



幅を 600A に設定した場合



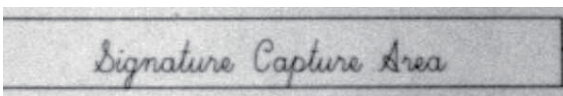
B - Output Image Height (出力画像の高さ)

この設定は、画像の高さを変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

高さを 50B に設定した場合



高さを 100B に設定した場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示し、グレースケールか白黒かを設定します。

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画

F - File Format (ファイルフォーマット)

画像を保存するファイル形式を示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ

5F 非圧縮グレースケール

6F JPEG 画像 (初期設定)

7F 輪郭画像

8F BMP フォーマット

H - Height of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの高さ)

取り込む領域の高さは 0.01 インチ (約 0.026cm) ごとに測られます。例では、取り込みエリアの高さは 3/8 インチ (約 0.953cm) で、H の値 = $.375 / 0.01 = 37.5$ となります。

列: IMGB0X245w37h35y

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

0K ガンマ補正 無効（初期設定）

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 1 \sim 255$) を適用

ガンマ補正 (0K) の場



ガンマ補正

50K の場合



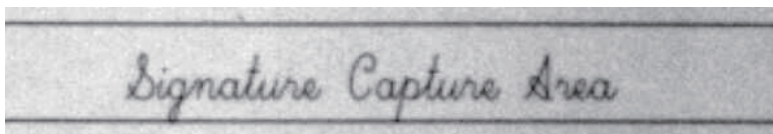
ガンマ補正



R - Resolution of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの解像度）

最小単位ごとにスキャナが出力するピクセル数です。R の値を大きくすると画質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。値は1000 からです。スキャナは自動的に、最初の桁と次の桁の間に小数点を挿入します。例えば、2.5 の解像度を指定するには 2500 を使用します。A および B のモディファイヤを使用するときは、0 に設定します A-Output Image Width（出力画像の幅）とB-Output Image Height（出力画像の高さ）9-12 ページを参照してください。

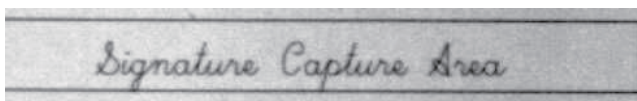
解像度設定 0R



解像度設定 1000R



解像度設定 2000R



S - Bar Code Aspect Ratio（バーコード様相比）

IMGBOX に用いられる寸法はバーコードの最小エレメントサイズの倍数で測られます。Bar Code Aspect Ratio ではバーコードの高さとナローエレメントの幅を設定することができます。例では、ナローエレメントの幅は 0.010 インチ、バーコードの高さは 0.400 インチなので、S の値 $= 0.4 / 0.01 = 40$ となります。

W - Width of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの幅）

取り込むエリア域の高さは 0.01 インチ（約 0.026cm）ごとに測られます。例えば、取り込むエリアの幅が 2.4 インチ（約 6.096cm）の場合、W 値 $= 2.4 / 0.01 = 240$ となります。（ここでは画像エリアを少し大きめに調節するため、245 を用います。）

列: 

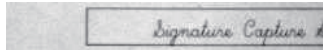
X - Horizontal Bar Code Offset (水平バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を水平方向にずらします。プラス数値は水平中心を右へ移動させ、マイナス数値は左へ移動させます。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

水平バーコードオフセットを 75X に設



水平バーコードオフセットを -75X に設定



Y - Vertical Bar Code Offset (縦バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を垂直方向にずらします。マイナス値は、署名取り込みがバーコードの上であることを示し、プラスの場合はバーコードの下であることを示します。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

縦バーコードオフセット設定：-7Y の場



縦バーコードオフセット設定：65Y の場



RF 初期設定のイメージングデバイス

このスキャナはイメージングコマンドプロセス (IMGSHP,IMG SNP,IMG-BOX)に対応しており、(11-3ページ参照) やその他のアプリケーションはスキャナと直接接続されているかのように画像機能を実行することができます。これを行うためには、RF_DID (RF Default Imaging Device) と呼ばれるメニューコマンドを使用します。RF_DID とは、イメージングコマンドを受け取るスキャナ (BT_NAM) の名称です。RF_DID の初期設定は「*」で、イメージングコマンドがすべての連結するスキャナに送信されることを示します。特定のスキャナに送るようするには RF_DIDscanner_name に変更してください。各スキャナのポート、ワークグループ、スキャナ名とアドレスのレポートを作成するには 3-8 ページ " ページング (スキャナの呼び出し) "3-8 ページの「ページング」の項目を参照してください。また、各スキャナに固有のネームをつける場合は、" スキャナ名 "3-19 ページの「スキャナ名」の項目を参照してください。

インターフェースキー

キーボードファンクションの関係

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII 値、および Full ASCII 「CTRL」+ の関係は、スキャナとともに使用可能なすべてのターミナルに適用します。

ファンクション コード	HEX/ASCII 値	Full ASCII (CTRL + X Mode)
NUL	00	@
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D	]
RS	1E	^
US	1F	-

「Full ASCII 「CTRL」+」のIにある最後の 5 つのキャラクタ ([¥]6-) は、アメリカでのみ対応します。次の表は、これらの 5 つのキャラクタの国別の同等キャラクタを示します。

国	コード				
アメリカ	[	\	]	6	-
ベルギー	[	<	]	6	-
スカンジナビア	8	<	9	6	-
フランス	^	8	\$	6	=
ドイツ		Ã	+	6	-
イタリア		\	+	6	-
スイス		<	..	6	-

国	コード				
イギリス	[	φ	]	6	-
デンマーク	8	\	9	6	-
ノルウェー	8	\	9	6	-
スペイン	[	\	]	6	-

サポートされているインターフェースキー

ASCII	HEX	IBM PC/AT およ び 互換機、 USB PC キー ボード	Apple Mac/iMac サポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	Enter/Numpad Enter
STX	02	Cap Lock	CAPS
ETX	03	ALT make	ALT make
EOT	04	ALT break	ALT break
ENQ	05	CTRL make	CNTRL make
ACK	06	CTRL break	CNTRL break
BEL	07	CR/Enter	RETURN
BS	08	Reserved	APPLE make
HT	09	Tab	TAB
LF	0A	Reserved	APPLE break
VT	0B	Tab	TAB
FF	0C	Delete	Del
CR	0D	CR/Enter	RETURN
SO	0E	Insert	Ins Help
SI	0F	Escape	ESC
DLE	10	F11	F11
DC1	11	Home	Home
DC2	12	Print	Prnt Scrn
DC3	13	Back Space	BACKSPACE
DC4	14	Back Tab	LSHIFT TAB
NAK	15	F12	F12
SYN	16	F1	F1
ETB	17	F2	F2
CAN	18	F3	F3
EM	19	F4	F4
SUB	1A	F5	F5
ESC	1B	F6	F6
FS	1C	F7	F7
GS	1D	F8	F8
RS	1E	F9	F9
US	1F	F10	F10
DEL	7F		BACKSPACE

すべてのシンボル体系へのテストコード ID プリフィックス追加

これを選択すると、読み取りされたシンボルの前にコード ID を送信することができます。（各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、[シンボルチャート](#) ,A-1 ページに記載されたシンボルチャートを参照してください。）ここでは、まず現在のプリフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコード ID プリフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



PRECA2,BK2995C80!

全シンボルへ体系のコード ID プリフィックス追加

Show Software Revision

次のバーコードを読み取るとソフトウェアの revision、機器のシリアルナンバー、及びスキャナとコードレスベースに関する情報を出力します。



REVINF.

Show Software Revision⁺

テストメニュー

テストメニューの On(有効) バーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、スキャナはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、さらにそのプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

注意：この機能は、通常の操作では使用しないでください。



TSTMNU1.

On (有効)



TSTMNU0.

* 無効

TotalFreedom (トータルフリーダム)

TotalFreedom (トータルフリーダム) とは、スキャナにプラグインアプリケーションを作成することができるオープンシステムアーキテクチャです。この TotalFreedom で読み取りアプリケーションとデータフォーマットアプリケーションの作成が可能です。TotalFreedom について詳しくは、ウェブサイト www.honeywellaidc.com を参照してください。

プラグインアプリケーション

以下のバーコードを読み取ることで、プラグインアプリケーションをオン/ オフすることができます。アプリケーションは読み取りとフォーマットというグループごとに保存されています。以下のグループのOn/Offバーコードを読み取り、アプリケーションを立ち上げたり、閉じたりすることができます。List Apps バーコードを読み取ると、すべてのアプリケーションのリストを出力します。



PLGDCE1
* 読み取りアプリオン



PLGDCE0
読み取りアプリオフ



PLGFOE1
* フォーマットアプリオン



PLGFOE0
フォーマットアプリオフ



PLGINF
アプリ一覧

注意：アプリケーションを有効にするためには、デバイスを再起動しなければなりません。

EZConfig について

EZConfigはPCのCOMポートにスキャナを接続することにより、多様なPCコードレスペースのプログラミング機能を提供することができます。EZConfigを用いると、スキャナのアップグレードの為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。さらに、スキャナのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスで送信することもできます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

スキャナとの通信のため、EZConfigではコンピュータに少なくとも1つの空きシリアル通信ポートか、または物理的なUSBポートを使用したシリアルポートのエミュレーションが必要です。シリアルポートとRS232ケーブルを使用している場合は、外部電源が必要です。USBシリアルポートのエミュレーションを使用しているときには、USBケーブルのみが必要です。

EZConfig の操作

EZConfigソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

Scan Data (データ読み取り)

バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをスキャナに送信したり、スキャナからの応答を受信したりでき、Scan Dataウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Dataウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存することもできれば、印刷することもできます。

Configure (環境設定)

環境設定は、スキャナのプログラミングと環境設定データを表示します。スキャナのプログラミングと環境設定データは、異なるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードの 1 つをクリックすると、その特定

のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。Configure ツリーオプションには、スキャナ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータのすべてが含まれています。これらのパラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をスキャナに書き込んだり、dcf ファイルに保存したりできます。

Imaging (画像取り込み)

ここでは、2 次元イメージャーが持つ、画像関連機能すべてを調節することができます。現在の設定を利用して画像を取り込むことができます。画像はイメージウィンドウに表示されます。スキャナが撮影した画像は、様々な画像形式で保存することが可能です。画像設定を変更してINI ファイルに保存することができます。また、後でこの設定を読み込んで新しい画像を取り込むことができます。また、お使いのスキャナから画像を連続して見る事もできます。

ウェブサイトからの EZConfig のインストール

Note: EZConfig には .NET ソフトウェアが必要です。お使いの PC に .NET がインストールされていない場合、EZConfig のインストール時に .NET のインストールを促すメッセージが表示されます。

1. www.honeywellaidc.com からハネウェルのウェブサイトアクセスします。
2. **Resources** タブをクリックし **Software** を選択します。
3. ドロップダウンメニューから **Select Product Number** (型番を選択) をクリックし、製品番号を選択します。
4. **EZConfig-Scanning** リストをクリックします。
5. 指示が出ましたら **Save File** を選択し、ファイルを **c:\%windows%\temp** ディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを閉じます。
7. エクスプローラを使用し、**c:\%windows%\temp** のファイルに進みます。
8. **Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。画面の指示に従って EZConfig プログラムをインストールします。
9. インストール時にデフォルトを選択した場合は、**Start Menu-All Programs-Honeywell-EZConfig-Scanning** をクリックしてください。

初期設定の再設定



本章ではすべての設定の消去しスキャナを工場出荷時にリセットを行います。またすべてのプラグインを無効にします。

スキャナにどのプログラムオプションが有効か不確かな場合またはいくつかのオプションを変更し、工場出荷時の設定に復元したい場合、**Remove Custom Defaults** バーコードをスキャンし、次に **Activate Defaults** をスキャンしてください。スキャナは工場出荷時の設定にリセットされます。



DEFOVR.

カスタムデフォルトの削除



DEFAULT.

デフォルトの有効化

注意：コードレスシステムを使用している場合、**Activate Defaults** バーコードをスキャンすることでスキャナとコードレスベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク不接続になります。設定コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをコードレスベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は[コードレスシステムの操作](#) 3-1 ページを参照してください。

メニューコマンド ページでは、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（*）で表示）の標準の初期設定を示しています。

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS232 インターフェース用に設定する必要があります。以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

Parameterコマンドの一部として送信する実際の値

[option] コマンドのオプション部分

{Data} コマンド内の選択値

Bold 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス（構文）

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。（スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。）

Prefix [:Name:]Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [: Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix 3 つの ASCII のキャラクタ：SYN MCR (ASCII 22、77、13) **SYN MCR** (ASCII 22,77,13).

:Name: このコマンドはコードレスデバイスでのみ使用します。コードレスベースまたはスキャナと通信するかどうかを特定するために使用します。スキャナ（ホストに連結したコードレスベースと共に）に情報を送信するために、:Xenon: を使用します。工場出荷時の Xenon スキャナの初期設定は Xenon スキャナです。この設定は英数字を許可する BT_NAM コマンドを使用して設定します。ネームがわからない場合は、「*」を :*: の形で用います。

注意：コードレスベースはすべてのワークグループの設定を保存し、それらと接続されるとすぐにスキャナに転送します。変更はコードレスベースに対してのみ行われ、スキャナには行われません。

Tag メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 の環境設定は、すべて 232 という Tag で識別されます。

SubTag タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字・小文字の区別がない 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 ポーレート SubTag は BAD になります。

Data メニュー設定の新規値。Tag と SubTag で識別されます。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する 1 つのキャラクタ。感嘆符 (!) は、機器の一時的なメモリ上でのコマンド操作を実行します。ピリオド (.) の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、始動時に保存したい半恒久的な変更の場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

^ 設定の初期値

> PAP サブコマンド

? 機器の現在の設定値

* 設定で可能な範囲（機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: フィールドの使い方（オプション）

このコマンドを用いると、スキャンからの質問情報を返送します。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用

可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

SubTag フィールドの使い方

SubTag フィールドに代わって質問を使用すると、Tag fieldにマッチするサブセットのコマンドだけに質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data Field Usage

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しくコマンドを実行した。

ENQ Tag または SubTag コマンドが無効。

NAK コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの Tag および SubTag 組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けられないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている場合。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクターを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ[] は非表示レスポンスを示し

ます。例： Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力： cbrena*.

レスポンス CBRENA0-1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ~ 1（オフとオン）であることを示し

ます。例： Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力： cbrena^.

レスポンス CBRENA1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) のデフォルト設定が 1 またはオンであることを示してい

ます。例： Codabar Coding Enable のデフォルト値は？

入力： cbrena?.

レスポンス CBRENA1[ACK]

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定されていることを示し

ます。例： すべての Codabar 選択項目に対する機器の設定は？

入力： cbr?.

レスポンス CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],

**MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK].**

このレスポンスは、機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が または有効に設定され
スタート/ストップキャラクタ (SSX) は0、または Don't Transmit に、
チェックキャラクタ (CK2) は0、または Not Required に、
連結機能 (CCT) は1、または Enabled に、
最小読み取り桁数 (MIN) は 2 キャラクタに、
最大読み取り桁数 (MAX) は 60 キャラクタに、
またデフォルト設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでスキャナを起動または停止できます。まず、Manual Trigger Mode のバーコード (4-6 ページ)
を読み取りマニュアルトリガーモードにするか、シリアルメニューコマンド (4-7 ページ) を送ります。スキャナがいったんシ
リアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ/非アクティブにできます。

起動する: **SYN T CR**

停止する: **SYN U CR**

スキャナは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取り
を実行します。(説明については "読み取りタイムアウト" 4-7 ページを、また 12-13 ページのシリアルコマンドを参照。)

標準の製品初期設定へのリセット

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults (カスタムデフォルトを起動)
バーコードを読み取ってください。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデ
フォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて
工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルト設定に戻す

注意: コードレスシステムをご使用の場合、このバーコードを読み取ると、スキャナとコードレスベースにもリセットを実行
し、非接続となってしまいます。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをコードレスベースに置い
てください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は [コードレスシ
ステムの操作](#) 3-1 ページを参照してください。

次ページ以降のチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページ上アスタリスク (*) で表示) の標準の工場出荷時
設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
製品初期設定			
カスタムデフォルトの設定	カスタムデフォルトの設定	MNUCDP	19
	カスタムデフォルトの保存	MNUCDS	19
カスタムデフォルトの再設定	カスタムデフォルト設定に戻す	DEFAULT	20
工場出荷時設定に戻す- コードレス スキャナ	工場出荷時の設定： すべてのアプリケーショングルー プ	PAPDFT&	20
カスタムデフォルト設定に戻す- コードレススキャナ	カスタムデフォルト設定： すべてのアプリケーショングルー プ	PAPDFT	20
インターフェースの設定			
プラグ&プレイ	キーボードウェッジ： CR サフィックスつき IBM PC AT および 互換機 (Granit1980i は非サ ポート)	PAP_AT	21
	ノート型 PC 直接接続 (CR サ フィックスつき)	PAPLTD	21
	RS232 シリアルポート	PAP232	21
プラグ&プレイ： RS485	IBM Port 5B インターフェース	PAPP5B	22
	IBM Port 9B HHBCR-1 インター フェース	PAP9B1	22
	IBM Port 17 インターフェース	PAPP17	22
	IBM Port 9B HHBCR-2 インター フェース	PAP9B2	22
	RS485 パケット長 (20-256)	RTLMPS	22
プラグ&プレイ：IBM SurePos	USB IBM SurePos ハンドヘルド インターフェース	PAPSPH	22
	USB IBM SurePos 卓上インタ ーフェース	PAPSPT	22
プラグ&プレイ：USB	USB キーボード (PC)	PAP124	23
	USB キーボード (Mac)	PAP125	23
	USB Japanese キーボード (PC)	TRMUSB134	23
	USB HID	PAP131	23
	USB シリアルモード	TRMUSB130	23
	CTS/RTS エミュレーション有効	USBCTS1	23
	CTS/RTS エミュレーション無効 *	USBCTS0	23
	ACK/NAK モード有効	USBACK1	23
	ACK/NAK モード無効*	USBACK0	23

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
プラグ&プレイ	Verifone Ruby ターミナル	PAPRBY	24
	Gilbarco ターミナル	PAPGLB	24
	Honeywell 2 面式カウンター スキャナ	PAPBIO	24
	Datalogic Magellan 2 面式カウ ンタースキャナ	PAPMAG	24
	Wincor Nixdorf ターミナル	PAPWNX	25
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	25
	Wincor Nixdorf RS232 モード A (すべての Granit モデルは非サポ ート)	PAPWMA	25
国別キーボード	* アメリカ	KBDCTY0	26
	アルバニア	KBDCTY35	26
	アゼリー (キリル文字)	KBDCTY81	26
	アゼリー (ラテン)	KBDCTY80	26
	ベラルーシ	KBDCTY82	26
	ベルギー	KBDCTY1	26
	ボスニア	KBDCTY33	26
	ブラジル	KBDCTY16	26
	ブラジル (MS)	KBDCTY59	26
	ブルガリア (キリル文字)	KBDCTY52	26
	ブルガリア (ラテン)	KBDCTY53	26
	カナダ (フランス語 Legacy)	KBDCTY54	26
	カナダ (フランス語)	KBDCTY18	26
	カナダ (多言語)	KBDCTY55	26
	クロアチア	KBDCTY32	26
	チェコ	KBDCTY15	26
	チェコ (プログラマー)	KBDCTY40	26
	チェコ (QWERTY)	KBDCTY39	27
	チェコ (QWERTZ)	KBDCTY38	27
	デンマーク	KBDCTY8	27
	オランダ語 (オランダ)	KBDCTY11	27
	エストニア	KBDCTY41	27
	フェロー語	KBDCTY83	28
	フィンランド	KBDCTY2	28
	フランス	KBDCTY3	28
	ゲール語	KBDCTY84	28

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
	ドイツ	KBDCTY4	28
	ギリシャ	KBDCTY17	28
	ギリシャ 220 ラテン	KBDCTY64	28
	ギリシャ 220	KBDCTY61	28
	ギリシャ 319 ラテン	KBDCTY65	28
	ギリシャ 319	KBDCTY62	28
	ギリシア ラテン	KBDCTY63	28
	ギリシャ MS	KBDCTY66	28
	ギリシャ Polytonic	KBDCTY60	29
	ヘブライ語	KBDCTY12	29
	ハンガリー語 101 キー	KBDCTY50	29
	ハンガリー	KBDCTY19	29
	アイスランド	KBDCTY75	29
	アイルランド	KBDCTY73	29
	イタリア語 142	KBDCTY56	29
	イタリア	KBDCTY5	29
	日本語	KBDCTY28	29
	カザフスタン	KBDCTY78	29
	キルギスタン キリル文字	KBDCTY79	29
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	29
	ラトビア	KBDCTY42	30
	ラトビアQWERTY	KBDCTY43	30
	リトアニア	KBDCTY44	30
	リトアニア IBM	KBDCTY45	30
	マケドニア	KBDCTY34	30
	マルタ	KBDCTY74	30
	モンゴル キリル文字	KBDCTY86	30
	ノルウェー	KBDCTY9	30
	ポーランド	KBDCTY20	30
	ポーランド語 214	KBDCTY57	30
	ポーランド語 プログラマー	KBDCTY58	30
	ポルトガル	KBDCTY13	30
	ルーマニア	KBDCTY25	31
	ロシア	KBDCTY26	31
	ロシア MS	KBDCTY67	31
	ロシア タイプライター	KBDCTY68	31
	SCS	KBDCTY21	31
	セルビア キリル文字	KBDCTY37	31
	セルビア ラテン	KBDCTY36	31

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
	スロヴァキア	KBDCTY22	31
	スロヴァキア QWERTY	KBDCTY49	31
	スロヴァキア QWERTZ	KBDCTY48	31
	スロヴェニア	KBDCTY31	31
	スペイン	KBDCTY10	31
	スペイン語 変動	KBDCTY51	32
	スウェーデン	KBDCTY23	32
	スイス フランス語	KBDCTY29	32
	スイス ドイツ語	KBDCTY6	32
	タタール語	KBDCTY85	32
	トルコ F	KBDCTY27	32
	トルコ Q	KBDCTY24	32
	ウクライナ	KBDCTY76	32
	英国	KBDCTY7	32
	アメリカ Dvorak 右	KBDCTY89	32
	アメリカ Dvorak 左	KBDCTY88	32
	アメリカ Dvorak	KBDCTY87	32
	アメリカ インターナショナル	KBDCTY30	32
	ウズベキスタン キリル文字	KBDCTY77	32
ALT モード	* Off	KBDALT0	33
	3 Characters	KBDALT6	33
	4 Characters	KBDALT7	33
キーボードの変換	* キーボード変換 無効	KBDCNV0	34
	すべてのキャラクタを大文字に変換	KBDCNV1	34
	すべてのキャラクタを小文字に変換	KBDCNV2	34
キーボードスタイル	* レギュラー	KBDSTY0	33
	Caps Lock	KBDSTY1	33
	Shift Lock	KBDSTY2	33
	Automatic Caps Lock (自動Caps Lock)	KBDSTY6	34
	Autocaps via Num Lock	KBDSTY7	34
	Emulate External キーボード	KBDSTY5	34
制御キャラクタの出力	* 制御キャラクタ出力 無効	KBDNPE0	35
	* 制御キャラクタ出力 有効	KBDNPE1	35

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
キーボードの設定	*Control + ASCII 無効	KBDCAS0	35
	Dos モード Control + X	KBDCAS1	35
	Windows モード Control + X	KBDCAS2	35
	Windows モード プリフィックス/ サフィックス 無効	KBDCAS3	35
	OSモードのControl + Xモード On with Windowsモード Prefix/Suffix	KBDCAS4	35
	Supports ALT 3 Digit HEX Mode	KBDCAS5	35
	* ターボモード 無効	KBDTMD0	36
	ターボモード 有効	KBDTMD1	36
	* 数字キーパッド 無効	KBDNPS0	36
	数字キーパッド 有効	KBDNPS1	36
	* 自動直接接続 無効	KBDADC0	36
	自動直接接続 有効	KBDADC1	36
ボーレート	300 BPS	232BAD0	36
	600 BPS	232BAD1	36
	1200 BPS	232BAD2	36
	2400 BPS	232BAD3	37
	4800 BPS	232BAD4	37
	9600 BPS	232BAD5	37
	19200 BPS	232BAD6	37
	38400 BPS	232BAD7	37
	57600 BPS	232BAD8	37
	*115200 BPS	232BAD9	37
ワード長：データビットストップ ビットパリティ	7 データビット、1 ストップビ ット、偶数	232WRD3	38
	7 データビット、1 ストップビ ット、パリティ無	232WRD0	38
	7 データビット、1 ストップビ ット、奇数	232WRD6	38
	7 データビット、2 ストップビ ット、偶数	232WRD4	38
	7 データビット、2 ストップビ ット、パリティ無	232WRD1	38
	7 データビット、2 ストップビ ット、奇数	232WRD7	38
	8 データビット、1 ストップビ ット、偶数	232WRD5	38
	8 データビット、1 ストップビ ット、パリティ無	232WRD2	39
	8 データビット、1 ストップビ ット、奇数	232WRD8	39
	8 データビット、1 ストップビ ット、パリティマーク	232WRD14	39
RS232 レシーバタイムアウト	0 - 300	232LPT###	39

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
RS232 ハンドシェイク	* RTS/CTS 無効	232CTS0	40
	フロー制御、タイムアウトなし	232CTS1	39
	双方向フロー制御	232CTS2	39
	フロー制御、タイムアウトあり	232CTS3	39
	RS232 タイムアウト	232DEL####	39
	*XON/XOFF 無効	232XON0	41
	XON/XOFF 有効	232XON1	41
	* ACK/NAK 無効	232ACK0	41
	ACK/NAK 有効	232ACK1	41
2 面式カウンタースキャナパケット モード	* パケットモード 無効	232PKT0	42
	パケットモード 有効	232PKT2	42
2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK モード	* 2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK 無効	232NAK0	42
	2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK 有効	232NAK1	42
2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK タイムアウト	ACK/NAK タイムアウト *5100	232DLK#####	42
コードレスシステムの操作 注意:本項はコードレスシステムのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。			
リンクされたスキャナの交換	通信固定されたスキャナの上書き (シングルスキャナ)	BT_RPL1	47
テンポラリープレゼンテーション モード	テンポラリープレゼンテーションモード: 有効	BEPPGE2	47
	*10秒タイムアウト	TRGTPM10000	47
	30秒タイムアウト	TRGTPM30000	47
コードレスベース設置時のプレゼン テーションモード設定	*無効	BT_PIB0	47
	有効	BT_PIB1	47
コードレスベースパワー通信インジ ケータ	* 有効	:::BASRED1	50
	無効	:::BASRED0	50
Low Power アラート	*Low Power アラート 10-30%	LPIRAG0	51
	Low Power アラート 10-50%	LPIRAG1	51
	Low PowerアラートLED点滅回数 (1-9) *3	LPIFNO#	51
	点滅インターバル設定 (1-9) *2	LPIFDL#	51
	Low Power アラート リポート設定 (1-5) *1	LPI_NO#	51
	Low Powerアラートリピーのイン ターバル設定(10-120)*10	LPI_DL###	52
	Low Powerアラートビープ音 無効	LPIBEP0	52
	*Low Powerアラートビープ音 有 効	LPIBEP1	52

スキャナのリセット	スキャナのリセット	RESET_	52
コードレスベースユニット上での読み取り	* コードレスベースユニット上での読み取り有効	BT_SIC0	53
	* コードレスベースユニットでの読取 有効 (	BT_SIC1	53
	コードレスベースユニットでスキャナをシャットダウン	BT_SIC2	53
コードレスベースチャージモード	コードレスベースチャージ 無効	BASCHG0	54
	* 外部またはインターフェースケーブル電源	BASCHG1	54
	外部電源のみ	BASCHG2	54
ページングモード	* 有効	BEPPGE1	54
	無効	BEPPGE0	54
ページング音の音程	*低 (1000Hz)	BEPPFQ1000	54
	中 (3250Hz)	BEPPFQ3250	54
	高 (4200Hz)	BEPPFQ4200	55
ブザー音の音程：コードレスベースユニットのエラー発生時	* 低 (250) (最小 200Hz)	BASFQ2250	55
	* 中 (3250Hz)	BASFQ23250	55
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BASFQ24200	55
ブザー音の回数：コードレスベースユニットのエラー発生時	*1 (1-9)	BASERR#	55

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
スキャナレポート	スキャナレポート	RPTSCN	55
スキャナのアドレス	スキャナのアドレス	BT_LDA	56
コードレスベースアドレス	コードレスベースアドレス	BASLDA	56
スキャナモード	充電限定モード	BASLNK0	56
	* 充電および通信モード	BASLNK1	56
	通信固定モード	BASCON0,DNG1	57
	* 通信オープンモード	BASCON1,DNG1	57
	スキャナとの通信解除	BT_RMV	57
	通信固定されたスキャナの上書き	BT_RPL1	57
通信範囲外警告	通信範囲外警告コードレスベースアラームの鳴動時間 (範囲1-3000 ミリ秒)	BASORD####	58
	スキャナアラームの鳴動時間 (範囲1-3000 ミリ秒)* 0	BT_ORD####	58
警告ブザーの種類	コードレスベースアラームの種類 (0-7)*0	BASORW#	58
	スキャナアラームの種類 (0-7)*0	BT_ORW#	59
スキャナパワータイムアウトタイマー	0 - 7200 秒	BT_LPT0	59
	200 秒 *	BT_LPT200	59
	400 秒 *	BT_LPT400	59
	900 秒 *	BT_LPT900	59
	3600 秒 *	BT_LPT3600	59
	7200 秒 *	BT_LPT7200	59
フレキシブルパワーマネージメント 1952g/1952h	* フルパワー (100%)	BT_TXP100	60
	出力 - 中 (35%)	BT_TXP35	60
	出力 - 中低 (5%)	BT_TXP5	60
	出力 - 低 (1%)	BT_TXP1	60
フレキシブルパワーマネージメント 1952g-BF/1952h-BF	* フルパワー (100%)	BT_TXP8	60
	出力 - 中高 (87%)	BT_TXP7	60
	出力 - 中 (50%)	BT_TXP4	60
	出力 - 低 (1%)	BT_TXP1	60
バッチモード	自動バッチモード	BATENA1	61
	* バッチモード無効	BATENA0	61
	棚卸バッチモード	BATENA2	61
	持続バッチモード	BATENA3	61
バッチモード：ブザー音	無効	BATBEP0	62
	* 有効	BATBEP1	62
バッチモード：保存形式	* フラッシュメモリに保存	BATNVS1	62
	RAM に保存	BATNVS0	62
バッチモード：個数	* 無効	BATQTY0	62
	有効	BATQTY1	62

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
個数コード	0	BATNUM0	63
	*1	BATNUM1	63
	2	BATNUM2	63
	3	BATNUM3	63
	4	BATNUM4	63
	5	BATNUM5	63
	6	BATNUM6	64
	7	BATNUM7	64
	8	BATNUM8	64
	9	BATNUM9	64
バッチモード：出力順序	先入れ先出し	BATLIF0	64
	後入れ先出し	BATLIF1	64
レコードの合計件数	レコードの合計件数	BATNRC	64
最後のコードを削除	最後のコードを削除	BATUND	64
すべてのコードを削除	すべてのコードを削除	BATCLR	65
保存したデータをホストへ送信	保存したデータをホストへ送信	BAT_TX	65
バッチモード：送信ディレイ（間隔）	* 無効（ディレイ無し）	BATDLY0	65
	短（250ミリ秒）	BATDLY250	65
	中（500ミリ秒）	BATDLY500	65
	長（1,000ミリ秒）	BATDLY1000	65
複数スキャナ 操作モード	複数スキャナ操作モード	BASCON2,DNG3	65
スキャナ名	0001	BT_NAM0001	66
	0002	BT_NAM0002	66
	0003	BT_NAM0003	66
	0004	BT_NAM0004	66
	0005	BT_NAM0005	66
	0006	BT_NAM0006	66
	0007	BT_NAM0007	66
	リセット	RESET_	66
	スキャナ名	BT_NAM	66
アプリケーションワークグループ 選択項目	* グループ 0	GRPSEL0	67
	グループ 1	GRPSEL1	67
	グループ 2	GRPSEL2	67
	グループ 3	GRPSEL3	67
	グループ 4	GRPSEL4	67
	グループ 5	GRPSEL5	67
	グループ 6	GRPSEL6	67
工場出荷時設定の再設定：すべての アプリケーションワークグループ	工場出荷時設定の再設定： すべてのワークグループ	PAPDFT&	68

カスタムデフォルトの再設定：すべてのアプリケーションワークグループ	カスタムデフォルト設定：すべてのワークグループ	PAPDFT	68
Bluetooth 接続	* Bluetooth SPP 有効	BT_SSP1	68
	Bluetooth SPP 無効	BT_SSP0	68
	Bluetooth HID キーボードとの通信確立	PAPBTH	69
	Bluetooth HID 日本語キーボードとの通信確立	PAPJKB	69
	Bluetooth HID キーボードとの通信解除	PAPSPP	70

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
Bluetooth Low Energy (BLE) Devices 接続	HID BLE接続	PAPLEH	70
	Serial BLE接続	PAPTIO	70
Bluetooth シリアルポート : デスクトップ型 PC/ ノート型 PC	Non-Base BT Connection	BT_TRM0;BT_DNG5	71
PDA やモバイルデバイスとのコードレススペースなし BT 接続	PDA/ ハンディターミナル用 Bluetooth 接続	BT_TRM0;BT_DNG1	71
スキャナの Bluetooth 暗証コード変更	Bluetooth 暗証コード	BT_PIN	71
自動再接続モード	* 自動再接続モード 有効	BT_ACM1	71
	自動再接続モード 無効	BT_ACM0	72
再接続試行回数	再接続試行回数 (0-100) *0	BT_MLA###	73
再接続タイムアウト	再接続タイムアウト (1-100) *3	BT_RLT###	74
ホストコマンドの ACK	ホスト ACK 有効	HSTACK1	76
	* ホスト ACK 無効	HSTACK0	76
	ホストACKタイムアウト (1-90) *10	HSTATO##	76
入力・出力設定			
起動ブザー	スキャナ、起動ブザー無効	BEPPWR0	77
	* スキャナ、起動ブザー有効	BEPPWR1	77
	コードレススペース、起動ブザー無効	BASPWR0	77
	コードレススペース、起動ブザー有効	BASPWR1	77
BEL ブザー	BEL ブザー 有効	BELBEP1	77
	*BEL ブザー 無効	BELBEP0	77
トリガークリック音	有効	BEPTRG1	78
	* 無効	BEPTRG0	77
読み取り成功時ブザー	無効	BEPBEP0	77
	* 有効	BEPBEP1	77
読み取り成功時ブザー : 音量	無効	BEPLVL0	77
	* 低 (初期設定 -Xenon HC)	BEPLVL1	77
	中	BEPLVL2	77
	* 大	BEPLVL3	77
読み取り成功時ブザー : 音程	低 (1600) (最低 400Hz)	BEPFQ11600	79
	* 中 - Xenon (2700 Hz)	BEPFQ12700	79
	項 (4200) (最大 9000Hz)	BEPFQ14200	79
振動 : 読み取り成功時	読み取り成功時の振動 無効	TFBGRD0	79
	* 読み取り成功時の振動 有効	TFBGRD1	79
振動時間	時間 (100 - 2,000 ms) *300	TFBDUR####	79
読み取り成功時ブザー : 音程	* 低 (250) (最小 200Hz)	BEPFQ2800	79
	* 中 (3250Hz)	BEPFQ23250	80
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BEPFQ24200	80
読み取り成功時ブザー : 長さ	* 通常	BEPBIP0	80

	短	BEPBIP1	80
読み取り成功時：LED	無効	BEPLD0	80
	* 有効	BEPLD1	80

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
エラーブザーの回数 :	(1 - 9) *1	BEPERR#	81
読み取り成功時ブザー : 回数	(1 - 9) *1	BEPRPT#	81
読み取り成功ディレイ	* ディレイなし	DLYGRD0	81
	短い ディレイ (500 ミリ秒)	DLYGRD500	81
	中位のディレイ (1000 ミリ秒)	DLYGRD1000	81
	長いディレイ (1500 ミリ秒)	DLYGRD1500	81
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	0 - 30,000 ミリ秒	DLYGRD#####	82
マニュアルトリガーモード	* マニュアルトリガー 標準	PAPHHF	82
	マニュアルトリガー 強化	PAPHHS	82
トリガートグルモード	*トリガートグルモード 無効	TRGTGM0	82
	トリガートグル イメージ取得	TRGTGM1	82
	トリガートグル センタリング	TRGTGM3	82
トリガートグルモード有効化の回数	連続2回設定	TRGTPC2	83
	連続3回設定	TRGTPC3	83
	連続4回設定	TRGTPC4	83
トリガートグルモード設定のタイミング	トリガートグルモード設定タイミング (50 - 2000) *400	TRGTTI####	83
トリガートグルモード設定タイムアウト	トリガートグルモードタイムアウト (0 - 65) *5	TRGTGT##	83
シリアルトリガーモード	読み取りタイムアウト (0 - 300,000 ミリ秒) *30,000	TRGSTO####	84
プレゼンテーションモード	プレゼンテーションモード	PAPTPR	85
トリガープレゼンテーションモード	自然光のみ	PDCLED0	85
	*自然光+スキャナライト	PDCLED1	85
読み取り後のプレゼンテーションLED の動作	* LED 有 効	TRGPCK1	85
	LED 無 効	TRGPCK0	85
プレゼンテーション感度	0-20 (*1)	TRGPMS##	85
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ	プレゼンテーションセンタリング 有効	PDCWIN1	86
	* プレセンターションセンタリング 無 効	PDCWIN0	86
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 左 (*40%)	PDCLFT###	86
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 右 (*60%)	PDCRGT###	86
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 上 (*40%)	PDCTOP###	86
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 下 (*60%)	PDCBOT###	86
スタンド使用時のセンサーモード	センサー 有効	TRGSSW1	87
	センサー 無効	TRGSSW0	87

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
低品質コード	Poor Quality 1D Reading On	DECLDI1	87
	*Poor Quality 1D Reading Off	DECLDI0	87
	*Poor Quality PDF Reading On	PDFXPR10	87
	Poor Quality PDF Reading Off	PDFXPR0	87
	Low Resolution PDF Codes On	PDFDMI1	88
	*Low Resolution PDF Codes Off	PDFDMI0	88
CodeGate®	* スタンド不使用時 CodeGate 無効	AOSCGD0.	88
	スタンド不使用時 CodeGate 有効	AOSCGD1.	88
ストリーミングプレゼンテーションモード	ストリーミングプレゼンテーションモード 標準	PAPSPN	88
	ストリーミングプレゼンテーションモード 強化	PAPSPE	88
ハンズフリータイムアウト	0 - 300,000 ミリ秒	TRGPT0#####	89
再読み取りディレイ	短 (500 ミリ秒)	DLYRRD500	89
	* 中 (750 ミリ秒)	DLYRRD750	89
	長 (1000 ミリ秒)	DLYRRD1000	89
	エクストラ (2000 ミリ秒)	DLYRRD2000	89
ユーザー定義	0 - 30,000 ミリ秒	DLYRRD#####	89
2D 読み取りディレイ	* 2D 再読み取りディレイ 無効	DLY2RR0	90
	短 (1000 ミリ秒)	DLY2RR1000	90
	中 (2000 ミリ秒)	DLY2RR2000	90
	長 (3000 ミリ秒)	DLY2RR3000	90
	エクストラ (4000 ミリ秒)	DLY2RR4000	90
キャラクタ有効化モード	* 無効	HSTCEN0	90
	有効	HSTCEN1	90
	アクティベーションキャラクタ有効化 (0- 255) *12 [DC2]	HSTACH###	90
	* 読み取り成功後の終端文字アクティベーション 無効	HSTCGD0	91
	読み取り成功後の終端文字アクティベーション 無効	HSTCGD1	91
	キャラクタ有効化タイムアウト (1 - 300,000) *30,000 ms	HSTCDT#####	91
キャラクタ無効化モード	*無効	HSTDEN0	91
	有効	HSTDEN1	91
	無効化キャラクタ(0- 255) *14 [DC4]	HSTDCH###	91
照明ライト	* Lights On	SCNLED1	92
	Lights Off	SCNLED0	92
エイマーディレイ	1 ms (ミリ秒)	SCNDLY1	92
	250 ms (ミリ秒)	SCNDLY250	92

	500 ms (ミリ秒)	SCNDLY500	92
	*無効	SCNDLY0	92
ユーザー定義のエイマーディレイ	0 - 4,000 ミリ秒	SCNDLY####	92
エイマーモード	Off	SCNAIM0	92
	* インターレース	SCNAIM2	92

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
センタリングウィンドウ	センタリング 有効	DECWIN1	93
	* センタリング 無効	DECWIN0	93
	センタリングウィンドウ 左 (*40%)	DECLFT###	93
	センタリングウィンドウ 右 (*60%)	DECRGT###	93
	センタリングウィンドウ 上 (*40%)	DECTOP###	93
	センタリングウィンドウ 左 (*60%)	DECBOT###	93
優先シンボル	有効	PRFENA1	94
	* 無効	PRFENA0	94
	高優先度シンボル	PRFCOD##	95
	低優先度シンボル	PRFBLK##	95
	優先シンボルタイムアウト *500 ミリ秒 (範囲 100-3000 ミリ秒)	PRFPTO####	96
	優先シンボルのデフォルト	PRFDFT	96
アウトプットシーケンスエディタ	シーケンス エディター スタート コマンド.	SEQBLK	96
	プリフィックスをアウトプット シーケンスに追加.	SEQPRE	96
	サフィックスをアウトプット シーケンスに追加.	SEQSUF	96
	セパレーターをアウトプット シーケンスに追加.	SEQSEP	96
	ターミネーションストリング	FF	96
パーティシャルシーケンス	パーティシャルシーケンスの送信	SEQTTS1	100
	一部のアウトプット シーケンスにプリフィックスを追加.	SEQIPR	100
	一部のアウトプット シーケンスにサフィックスを追加	SEQISU	100
	一部のアウトプット シーケンスにセパレーターを追加	SEQISE	100
	ターミネーションストリング	FF	100
	アウトプットシーケンス全体の一部 (サブセット)を定義	SEQSAT	100
	SEQSAT 使用時にタイムアウトの設定	SEQTIM	100
	* パーティカルシーケンスの放棄	SEQTTS0	100
	デフォルトシーケンス	SEQDFT	102
アウトプットシーケンス要求	要求する	SEQ_EN2	102
	有効、要求しない	SEQ_EN1	102
	* 無効	SEQ_EN0	102

Good Read トーン - アウトプット シーケンス	Good Read Beep - Each Code in Sequence	BEPSIN0	102
	*Good Read Click - Each Code in Sequence	BEPSIN1	102
	Good Read Beep - Partial Sequence Output	BEPISE0	102
	*Error Tone - Partial Sequence Output	BEPISE1	102
複数シンボル	有効	SHOTGN1	103
	* 無効	SHOTGN0	103
No Read	有効	SHWNRD1	103
	* 無効	SHWNRD0	103
ビデオリバーズ（反転コード）	反転コードのみ	VIDREV1	104
	反転および標準コード	VIDREV2	104
	* 反転バーコード 無効	VIDREV0	104
動作方向	* 正面	ROTATN0	104
	垂直、下から上（反時計回りに 90° 回転）	ROTATN1	104
	上下逆さ	ROTATN2	104
	垂直、上から下（時計回りに 90° 回転）	ROTATN3	105

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
ヘルスケア設定			
クワイエットオペレーション - コンビネーションコード	Silent Mode with Flashing LED - Cordless Scanner and Base	bepfn5;bepfr50;beppar0;basppwr0;beppwr0;baslv10;beplv10;b	106
	Silent Mode with Flashing LED - Corded Scanner	bepfn5;bepfr50;beppwr0;beplv10;beppbip0;beppFQ12700;beplot0.	106
	Silent Mode with Long LED - Cordless Scanner and Base	bepfn0;bepfr10;beppar0;basppwr0;beppwr0;baslv10;beplv10;beppbip0;beppFQ12700;beplot1.	106
	Silent Mode with Long LED - Corded Scanner	bepfn0;bepfr10;beppwr0;beplv10;beppbip0;beppFQ12700;beplot1.	106
	Very Low Beeper (Nighttime Mode) - Cordless Scanner and Base	bepfn0;bepfr10;beppar0;basppwr0;beppwr1;baslv11;beplv11;beppbip1;beppFQ14200;beplot0.	106
	Very Low Beeper (Nighttime Mode) - Corded Scanner	bepfn0;bepfr10;beppwr1;beplv11;beppbip1;beppFQ14200;beplot0.	106
	Low Beeper (Daytime Mode) - Cordless Scanner and Base	bepfn0;bepfr10;beppar1;basppwr1;beppwr1;baslv11;beplv11;beppbip0;beppFQ12700;beplot0.	107
	Low Beeper (Daytime Mode) - Corded Scanner	bepfn0;bepfr10;beppwr1;beplv11;beppbip0;beppFQ12700;beplot0.	107
クワイエットオペレーション - LED 及び音量設定			
LED の色と音のリンク	* 緑色 LED フラッシュ/ 音	BEPPAR1	107
	赤色 LED 点灯 / 消音	BEPPAR0	107
LED 点滅回数	*1 回 LED 点滅	BEPLFN0	107
	5 回 LED 点滅	BEPLFN5	107
	10 回 LED 点滅	BEPLFN10	107
	25 回 LED 点滅	BEPLFN25	107
LED 点滅間隔	* 高速点滅	BEPLFR50	108
	中速点滅	BEPLFR250	108
	低速点滅	BEPLFR500	108
LED 固定（フラッシュなし）	*LED 固定 無効	BEPLT0	108
	LED 固定、1 秒	BEPLT1	108
	LED 固定、3 秒	BEPLT3	108
	LED 固定、5 秒	BEPLT5	108
呼び出し音制御	呼び出し音 無効	BEPPGV0	108
	* 呼び出し音 低	BEPPGV1	108
	呼び出し音 中	BEPPGV2	108
	呼び出し音 高	BEPPGV3	108
通信範囲外警告	コードレスベース警告音 無効	BASORV0	109
	スキャナ警告音 無効	BT_ORV0	109
	* コードレスベース警告音 低	BASORV1	109

	* スキャナ警告音 低	BT_ORV1	109
	コードレスベース警告音 中	BASORV2	109
	スキャナ警告音 中	BT_ORV2	109
	コードレスベース警告音 高	BASORV3	109
	スキャナ警告音 高	BT_ORV3	109

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
通信範囲外ディレイ	通信範囲外ディレイ (*0 ディレイなし) 0-3000 ミリ秒	BT_ORY####	109
プリフィックス / サフィックスの設定			
すべてのシンボルに CR サフィックスを付加		VSUFCR	111
プリフィックス	プリフィックスの追加	PREBK2##	111
	1 つのプリフィックスを削除	PRECL2	111
	すべてのプリフィックスを削除	PRECA2	111
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	112
	1 つのサフィックスを削除	SUFCL2	112
	すべてのサフィックスを削除	SUFCA2	112
ファンクションコード送信	* 有効	RMVFNC0	112
	無効	RMVFNC1	112
キャラクタ間ディレイ	0-5000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCHR####	112
ユーザー定義 キャラクタ間ディレイ	ディレイ長: 0-5000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCRX####	113
	ユーザー定義のキャラクタ間ディレイ	DLY_XX##	113
ファンクション間ディレイ	0-5000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYFNC####	113
メッセージ間ディレイ	0-5000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYMSG####	114
データフォーマットの設定			
データフォーマットエディタ	* データフォーマットの初期化 (なし)	DFMDF3	115
	データフォーマット表示	DFMBK3?	115
	データフォーマットの追加	DFMBK3##	116
	1 つのデータフォーマットの削除	DFMCL3	117
	すべてのデータフォーマットの削除	DFMCA3	117
データフォーマット	データフォーマット 無効	DFM_EN0	127
	* データフォーマット 有効、 要求しない プリフィックス/ サフィックスあり	DFM_EN1	127
	データフォーマット要求する、 プリフィックス/ サフィックス あり	DFM_EN2	127
	データフォーマット 有効、 要求しない プリフィックス/ サフィックスなし	DFM_EN3	127
	データフォーマット要求する、 プリフィックス/ サフィックス なし	DFM_EN4	127

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
データフォーマット非適合エラーブザー	* データフォーマット非適合エラーブザー 有効	DFMDEC0	127
	データフォーマット非適合エラーブザー 無効	DFMDEC1	127
基準・代用データフォーマット	基準データフォーマットの使用	ALTFNM0	128
	データフォーマット 1	ALTFNM1	128
	データフォーマット 2	ALTFNM2	128
	データフォーマット 3	ALTFNM3	128
データフォーマットの切り替え	基準データフォーマットへ切り替え データフォーマット	VSAF_0	129
	データフォーマット 1 へ切り替え	VSAF_1	129
	データフォーマット 2 へ切り替え	VSAF_2	129
	データフォーマット 3 へ切り替え	VSAF_3	129
読み取りシンボル			
すべてのシンボル	すべてのシンボル 読み取り禁止	ALLENA0	132
Codabar(NW7)	すべての設定を初期化	CBRDFT	133
	無効	CBRENA0	133
	* 有効	CBRENA1	133
Codabar(NW7) スタート/ ストップ キャラクタ	* 送信しない	CBRSSX0	134
	送信する	CBRSSX1	134
Codabar(NW7) チェックキャラクタ	* チェックキャラクタなし	CBRCK20	134
	計算する、送信しない	CBRCK21	134
	計算する、送信する	CBRCK22	134
Codabar(NW7) の連結	* 無効	CBRCCT0	135
	有効	CBRCCT1	135
	要求する	CBRCCT2	135
Codabar(NW7) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 60) * 4	CBRMIN##	135
	最大読み取り桁数 (2 - 60) * 60	CBRMAX##	135
Code 39	すべての設定を初期化	C39DFT	135
	無効	C39ENA0	135
	* 有効	C39ENA1	135
Code 39 Start/Stop Char.	* 送信しない	C39SSX0	136
	送信する	C39SSX1	136
Code 39 Check Char.	* チェックキャラクタなし	C39CK20	137
	計算する、送信しない	C39CK21	137
	計算する、送信する	C39CK22	137

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
Code 39 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 48) * 0	C39MIN##	137
	最大読み取り桁数 (0 - 48) * 48	C39MAX##	137
Code 39 の連結	* 無効	C39APP0	137
	有効	C39APP1	137
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	* 無効	C39B320	138
	有効	C39B321	138
Code 39 Full ASCII	* 無効	C39ASC0	138
	有効	C39ASC1	138
	Code 39 コードページ	C39DCP	139
Interleaved 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 Settings	I25DFT	139
	無効	I25ENA0	139
	* 有効	I25ENA1	139
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	I25CK20	139
	計算する、送信しない	I25CK21	139
	計算する、送信する	I25CK22	139
Interleaved 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) * 4	I25MIN##	140
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	I25MAX##	140
NEC 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 Settings	N25DFT	140
	無効	N25ENA0	140
	* 有効	N25ENA1	140
NEC 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	N25CK20	140
	計算する、送信しない	N25CK21	141
	計算する、送信しない	N25CK22	141
NEC 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) * 4	N25MIN##	141
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	N25MAX##	141
	*FEBRABAN Decode Off	I25PAY0	140
	FEBRABAN Decode On	I25PAY1	140
Code 93	すべての設定を初期化	C93DFT	141
	無効	C93ENA0	141
	* 有効	C93ENA1	141
Code 93 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	C93MIN##	141
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	C93MAX##	141
Code 93 連結	有効	C93APP1	142
	* 無効	C93APP0	142
Code 93 コードページ	Code 93 コードページ	C93DCP	142
Straight 2 of 5 Industrial (3 パー スタート/ ストップ)	すべての設定を初期化	R25DFT	142
	* 無効	R25ENA0	142
	有効	R25ENA1	142

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	R25MIN##	142
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	R25MAX##	142
Straight 2 of 5 IATA	すべての設定を初期化	A25DFT	143
Straight 2 of 5 IATA (2 パースタート/ ストップ)	*Off	A25ENA0	143
	有効	A25ENA1	143
Straight 2 of 5 IATA リダンダンシー	リダンダンシー回数 (0 - 10) * 0	A25VOT##	143
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	A25MIN##	143
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	A25MAX##	143
Matrix 2 of 5	すべての設定を初期化	X25DFT	144
	* 無効	X25ENA0	144
	有効	X25ENA1	144
Matrix 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	X25MIN##	144
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	X25MAX##	144
Code 11	すべての設定を初期化	C11DFT	144
	* 無効	C11ENA0	144
	有効	C11ENA1	144
Code 11 チェックデジットの要求	1 チェックデジット	C11CK20	145
	*2 チェックデジット	C11CK21	145
Code 11 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	C11MIN##	145
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	C11MAX##	145
Code 128	すべての設定を初期化	128DFT	145
	無効	128ENA0	145
	* 有効	128ENA1	145
ISBT の連結	* 無効	ISBENA0	146
	有効	ISBENA1	146
Code 128リダンダンシー	リダンダンシー回数 (0 - 10) * 0	128VOT##	146
Code 128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	128MIN##	146
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	128MAX##	146
Code 128 連結	* 有効	128APP1	146
	無効	128APP0	146
Code 128 コードページ	Code 128 コードページ (*2)	128DCP##	147
GS1-128	すべての設定を初期化	GS1DFT	147
	* 有効	GS1ENA1	147
	無効	GS1ENA0	147
GS1-128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 1	GS1MIN##	147
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	GS1MAX##	147

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
Telepen	すべての設定を初期化	TELDFT	148
	* 無効	TELENA0	148
	有効	TELENA1	148
Telepen 出力	*AIM Telepen 出力	TELOLD0	148
	オリジナル Telepen 出力	TELOLD1	148
Telepen 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 60) *1	TELMIN##	148
	最大読み取り桁数 (1 - 60) * 60	TELMAX##	148
UPC-A	すべての設定を初期化	UPADFT	149
	無効	UPAENA0	149
	* 有効	UPAENA1	149
UPC-A チェックデジット	無効	UPACKX0	149
	* 有効	UPACKX1	149
UPC-A システム番号	無効	UPANSX0	149
	* 有効	UPANSX1	149
UPC-A 2桁のアドオン	* 無効	UPAAD20	150
	有効	UPAAD21	150
UPC-A 5桁のアドオン	* 無効	UPAAD50	150
	有効	UPAAD51	150
UPC-A アドオンの要求	* 要求しない	UPAARQ0	150
	要求する	UPAARQ1	150
アドオンタイムアウト	タイムアウト時間の設定 (0 – 120ms) *500	DLYADD#####	150
UPC-A アドオンセパレータ	無効	UPAADS0	150
	* 有効	UPAADS1	150
拡張クーポンコード付き UPC-A/ EAN-13	* 無効	CPNENA0	151
	連結許可	CPNENA1	151
	連結必須	CPNENA2	151
アドオンタイムアウト	タイムアウト時間の設定 (0 – 120ms) *500	DLYADD#####	151
クーポン GS1 データバー 出力	* GS1 出力 無効	CPNGS10	151
	GS1 出力 有効	CPNGS11	151
UPC-E0	すべての設定を初期化	UPEDFT	152
	無効	UPEEN00	152
	* 有効	UPEEN01	152
UPC-E0 拡張	* 無効	UPEEXP0	152
	有効	UPEEXP1	152
UPC-E0 アドオンの要求	要求する	UPEARQ1	152
	* 要求しない	UPEARQ0	152
アドオンタイムアウト	タイムアウト時間の設定 (0 – 120ms) *500	DLYADD#####	153
UPC-E0 アドオンセパレータ	* 有効	UPEADS1	153
	無効	UPEADS0	153

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
UPC-E0 チェックデジット	無効	UPECKX0	153
	* 有効	UPECKX1	153
UPC-E0 システム番号	無効	UPENSX0	153
	* 有効	UPENSX1	153
UPC-E0 アドオン	2 桁のアドオン 有効	UPEAD21	153
	* 2 桁のアドオン 無効	UPEAD20	154
	5 桁のアドオン 有効	UPEAD51	154
	* 5 桁のアドオン 無効	UPEAD50	154
UPC-E1	* 無効	UPEEN10	154
	有効	UPEEN11	154
EAN/JAN-13	すべての設定を初期化	E13DFT	155
	無効	E13ENA0	155
	* 有効	E13ENA1	155
UPC-A から EAN-13 への変換	UPC-A から EAN-13 への変換	UPAENA0	155
	UPC-A の変換禁止	UPAENA1	155
EAN/JAN-13 チェックデジット	無効	E13CKX0	155
	* 有効	E13CKX1	155
EAN/JAN-13 2 桁のアドオン	2 桁のアドオン 有効	E13AD21	156
	* 2 桁のアドオン 無効	E13AD20	156
	5 桁のアドオン 有効	E13AD51	156
	* 5 桁のアドオン 無効	E13AD50	156
EAN/JAN-13 アドオンの要求	* 要求しない	E13ARQ0	156
	要求する	E13ARQ1	156
290で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require 5 Digit Addenda	ARQ2900	156
	Require 5 Digit Addenda	ARQ2901	156
378/379で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require Addenda	ARQ3780	157
	Require 2 Digit Addenda	ARQ3781	157
	Require 5 Digit Addenda	ARQ3782	157
	Require 2 or 5 Digit Addenda	ARQ3783	157
414/419で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require Addenda	ARQ4140	157
	Require 2 Digit Addenda	ARQ4141	157
	Require 5 Digit Addenda	ARQ4142	158
	Require 2 or 5 Digit Addenda	ARQ4143	158
434/439で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require Addenda	ARQ4340	158
	Require 2 Digit Addenda	ARQ4341	158
	Require 5 Digit Addenda	ARQ4342	158
	Require 2 or 5 Digit Addenda	ARQ4343	158
977で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require 2 Digit Addenda	ARQ9770	159
	Require 2 Digit Addenda	ARQ9771	159

978で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require 5 Digit Addenda	ARQ9780	159
	Require 5 Digit Addenda	ARQ9781	159
979で始まる EAN -13アドオン (Addenda)要求	*Don't Require 5 Digit Addenda	ARQ9790	159
	Require 5 Digit Addenda	ARQ9791	159
アドオンタイムアウト	タイムアウト時間の設定 (0 – 120ms)	DLYADD#####	160
EAN/JAN-13 アドオン セパレータ	無効	E13ADS0	160
	* 有効	E13ADS1	160
ISBN 変換	* 無効	E13ISB0	161
	有効	E13ISB1	161
EAN/JAN-8	すべての設定を初期化	EA8DFT	161
	無効	EA8ENA0	161
	* 有効	EA8ENA1	161
EAN/JAN-8 チェックデジット	無効	EA8CKX0	161
	* 有効	EA8CKX1	161
EAN/JAN-8 アドオン	* 2 桁のアドオン 無効	EA8AD20	162
	2 桁のアドオン 有効	EA8AD21	162
	* 5 桁のアドオン 無効	EA8AD50	162
	5 桁のアドオン 有効	EA8AD51	162
EAN/JAN-8 アドオンの要求	* 要求しない	EA8ARQ0	162
	要求する	EA8ARQ1	162

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-8 アドオン セパレーター	無効	EA8ADS0	162
	* 有効	EA8ADS1	162
MSI	すべての設定を初期化	MSIDFT	162
	* 無効	MSIENA0	162
	有効	MSIENA1	162
MSI チェックキャラクタ	* タイプ 10 有効、送信しない	MSICHK0	164
	タイプ 10 有効、送信する	MSICHK1	164
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信しない	MSICHK2	164
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信する	MSICHK3	164
	タイプ 10、タイプ 11 有効、送信しない	MSICHK4	164
	タイプ 10、タイプ 11 有効、送信する	MSICHK5	164
	MSI チェックキャラクタ無効	MSICHK6	164
MSI 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 48) *4	MSIMIN##	164
	最大読み取り桁数 (4 - 48) *48	MSIMAX##	164
GS1 データバー標準型	すべての設定を初期化	RSSDFT	165
	無効	RSSENA0	165
	* 有効	RSSENA1	165
GS1 データバー限定型	すべての設定を初期化	RSLDFT	165
	無効	RSLENA0	165
	* 有効	RSLENA1	165
GS1 データバー拡張型	すべての設定を初期化	RSEDFT	166
	無効	RSEENA0	166
	* 有効	RSEENA1	166
GS1 データバー 拡張型 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 74) *4	RSEMIN##	166
	最大読み取り桁数 (4 - 74) *74	RSEMAX##	166
Trioptic Code	* 無効	TRIENA0	166
	有効	TRIENA1	166
Codablock A	すべての設定を初期化	CBADFT	167
	* 無効	CBAENA0	167
	有効	CBAENA1	167
Codablock A 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 600) *1	CBAMIN###	167
	最大読み取り桁数 (1 - 600) *600	CBAMAX###	167

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
Codablock F	すべての設定を初期化	CBFDFT	168
	* 無効	CBFENA0	168
	有効	CBFENA1	168
Codablock F 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	168
	最大読み取り桁数 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	168
ラベルコード	有効	LBLENA1	168
	* 無効	LBLENA0	168
PDF417	すべての設定を初期化	PDFDFT	169
	* 有効	PDFENA1	169
	無効	PDFENA0	169
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2750) *1	PDFMIN####	169
	最大読み取り桁数 (1-2750) *2750	PDFMAX####	169
MicroPDF417	* 有効	PDFMAC1	169
	無効	PDFMAC0	169
MicroPDF417	すべての設定を初期化	MPDDFT	170
	有効	MPDENA1	170
	* 無効	MPDENA0	170
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-366) *1	MPDMIN###	170
	最大読み取り桁数 (1-366) *366	MPDMAX###	170
GS1 コンポジットシンボル	有効	COMENA1	170
	* 無効	COMENA0	170
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	171
	* 無効	COMUPC0	171
GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2435) *1	COMMIN####	171
	最大読み取り桁数 (1-2435) *2435	COMMAX####	171
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	171
	GS1データバーエミュレーション	EANEMU2	171
	GS1 コード拡張 無効	EANEMU3	171
	EAN8 から EAN13 へ変換	EANEMU4	171
	* GS1 エミュレーション 無効	EANEMU0	171
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	有効	T39ENA1	172
	* 無効	T39ENA0	172
QR コード	すべての設定を初期化	QRCDFT	172
	* 有効	QRCENA1	172
	無効	QRCENA0	172
QR コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7089) *1	QRCMIN####	173
	最大読み取り桁数 (1-7089) *7089	QRCMAX####	173
QR コード 連結機能	* 有効(One Scan)	QRCAPP1	173
	有効(Swipe)	QRCAPP2	173
	有効(Point and Shoot)	QRCAPP3	173

	無効	QRCAPP0	173
選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
QR コード コードページ	QR コードコードページ (*3)	QRCDCP##	173
Dot コード	すべての設定を初期化	DOTDFT	174
	有効	DOTENA1	174
	*無効	DOTENA0	174
Poor Quality DOTコード	Poor Quality DotCodes On	DOTEXS1	174
	*Poor Quality DotCodes Off	DOTEXS0	174
DOT コード読み取り桁数	Minimum (1- 2400) *1	DOTMIN####	174
	Maximum (1- 2400) *2400	DOTMAX####	174
Digimarc Barcode	読み取り回数設定 (0-10) *3	DIGSTR##	175
	Off	DIGENA0	175
	On	DIGENA1	175
	Uses ID Decoder then Both Decoders	DIGENA2	175
	*Uses Digimarc Decoder then Both Decoders	DIGENA3	175
	Uses ID Decoder then Alternates Decoders	DIGENA4	175
	Uses Digimarc Decoder then Alternates Decoders	DIGENA5	175
Data Matrix	すべての設定を初期化	IDMDFT	176
	* 有効	IDMENA1	176
	無効	IDMENA0	176
Direct Part Marking (DPM) 読み取り	Dotpeen DPM Decoding	DPMENA1	176
	*Disable DPM Decoding	DPMENA0	176
	Reflective (Etched) DPM Decoding	DPMENA2	176
Data Matrix 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3116) *1	IDMMIN####	176
	最大読み取り桁数 (1-3116) *3116	IDMMAX####	176
Data Matrix 連結機能	* 有効	IDMAPP1	176
	無効	IDMAPP0	176
Data Matrix コードページ	Data Matrix コードページ (*51)	IDMDCP##	177
MaxiCode	すべての設定を初期化	MAXDFT	177
	有効	MAXENA1	177
	* 無効	MAXENA0	177
MaxiCode 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-150) *1	MAXMIN###	177
	最大読み取り桁数 (1-150) *150	MAXMAX###	177
Aztec コード	すべての設定を初期化	AZTDFT	178
	* 有効	AZTENA1	178
	無効	AZTENA0	178
Aztec コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3832) *1	AZTMIN####	178
	最大読み取り桁数 (1-3832) *3832	AZTMAX####	178
Aztec 連結機能	* 有効	AZTAPP1	178
	無効	AZTAPP0	178
Aztec コードページ	Aztec コードページ (*51)	AZTDCP##	178

中国郵便コード（漢信コード）	すべての設定を初期化	HX_DFT	179
	有効	HX_ENA1	179
	* 無効	HX_ENA0	179
中国郵便コード（漢信コード）読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7833) *1	HX_MIN####	179
	最大読み取り桁数 (1-7833) *7833	HX_MAX####	179
2 次元郵便コード*			
2 次元郵便コード（単独）	* 無効	POSTAL0	180
選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
2 次元郵便コード（単独）	オーストラリア郵便 有効	POSTAL1	180
	英国郵便 有効	POSTAL7	180
	カナダ郵便 有効	POSTAL30	180
	インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL10	180
	日本郵便 有効	POSTAL3	180
	KIX 有効	POSTAL4	180
	Planet コード 有効	POSTAL5	180
	Postal-4i 有効	POSTAL9	180
	Postnet コード 有効	POSTAL6	181
	Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL11	181
	InfoMail 有効	POSTAL2	181
2 次元郵便コード（組み合わせ）	Infomail および英国郵便 有効	POSTAL8	181
	インテリジェントメールバーコード および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL20	181
	Postnet および Postal-4i 有効	POSTAL14	181
	Postnet および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL16	181
	Postal-4i および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL17	181
	Postal-4i および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL19	181
	Planet および Postnet 有効	POSTAL12	181
	Planet および Postnet B および B'	POSTAL18	182
	Planet および Postal-4i 有効	POSTAL13	182
	Planet および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL15	182
	Planet, Postnet, および Postal-4i 有効	POSTAL21	182
	Planet, Postnet, およびインテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL22	182
	Planet, Postal-4i, およびインテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL23	182

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
2 次元郵便コード（組み合わせ）	Postnet, Postal-4i, およびインテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL24	182
	Planet, Postal-4i, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL25	182
	Planet, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL26	182
	Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL27	182
	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet 有効	POSTAL28	183
	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL29	183
Planet Code チェックデジット	送信する	PLNCKX1	183
	送信しない	PLNCKX0	183
Postnet チェックデジット	送信する	NETCKX1	183
	* 送信しない	NETCKX0	183
オーストラリア郵便	バー出力	AUSINT0	184
	数字N テーブル	AUSINT1	184
	英数字C テーブル	AUSINT2	184
	N および C の組み合わせ	AUSINT3	184
1 次元郵便コード			
中国郵便コード (香港 2 of 5)	すべての設定を初期化	CPCDFT	184
	* 無効	CPCENA0	184
	有効	CPCENA1	184
中国郵便コード (香港 2 of 5) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	CPCMIN##	184
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *80	CPCMAX##	184
韓国郵便コード	すべての設定を初期化	KPCDFT	185
	* 無効	KPCENA0	185
	有効	KPCENA1	185
韓国郵便コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	KPCMIN##	185
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *48	KPCMAX##	185
韓国郵便コード チェックデジット	チェックデジットを送信する	KPCCHK1	185
	* チェックデジットを送信しない	KPCCHK0	185

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
イメージングコマンド			
画像の撮影	すべての設定を初期化	IMGDFT	186
	撮影スタイル : Decoding Style	SNPSTY0	186
	* 撮影スタイル : Photo Style	SNPSTY1	186
	撮影スタイル : Manual Style	SNPSTY2	186
	ブザー 有効	SNPBEP1	187
	* ブザー 無効	SNPBEP0	187
	* すぐに画像を撮影する	SNPTRG0	187
	トリガーが引かれてから画像を撮影する	SNPTRG1	187
	* LED オフ	SNPLED0	187
	LED オン	SNPLED1	187
	露光 (1-7874 ミリ秒)	SNPEXP	187
	* ゲインなし	SNPGAN1	187
	ゲイン 中	SNPGAN2	187
	ゲイン 高	SNPGAN4	187
	ゲイン 最大	SNPGAN8	187
	ホワイト値 (0-255) * 125	SNPWHT###	188
	ホワイト値許容範囲 (0-255) * 25	SNPDEL###	188
	アップデートトライ (0-10) * 6	SNPTRY##	188
	ターゲットポイント比率 (1-99) * 50	SNPPCT##	188

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
画像の送信	* 無限遠フィルタ 無効	IMGINF0	189
	無限遠フィルタ 有効	IMGINF1	189
	* 圧縮 無効	IMGCOR0	189
	圧縮 有効	IMGCOR1	189
	* ピクセル濃度 8bit グレースケール画像	IMGBPP8	189
	ピクセル濃度 1bit 白黒画像	IMGBPP1	189
	* 画像をシャープにしない	IMGEDG0	190
	画像をシャープにする (0-23)	IMGEDG##	190
	* ファイル形式：JPEG	IMGFMT6	190
	ファイル形式：KIM	IMGFMT0	190
	ファイル形式：TIFF バイナリ	IMGFMT1	190
	ファイル形式：TIFF バイナリグループ 4 圧縮	IMGFMT2	190
	ファイル形式：TIFF グレースケール画像	IMGFMT3	190
	ファイル形式：無圧縮 バイナリ	IMGFMT4	190
	ファイル形式：無圧縮 グレースケール	IMGFMT5	190
	ファイル形式：BMP	IMGFMT8	190
	* ヒストグラム ストレッチなし	IMGHIS0	191
	ヒストグラム ストレッチあり	IMGHIS1	191
	* ノイズの低減 無効	IMGFSP0	191
	ノイズの低減 有効	IMGFSP1	191

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
画像の送信	X 軸に対して画像を上下反転	IMGNVX1	192
	Y 軸に対して画像を左右反転	IMGNVY1	192
	画像の回転なし	IMGROT0	192
	画像を右に 90° 回転	IMGROT1	192
	画像を右に 180° 回転	IMGROT2	192
	画像を左に 90° 回転	IMGROT3	192
	JPEG 画像品質 (1-100) * 50	IMGJQF###	192
	* ガンマ補正 無効	IMGGAM0	192
	ガンマ補正 有効 (1-1000)	IMGGAM###	192
	画像の切り取り : 左 (0-843) *0	IMGWNL###	193
	画像の切り取り : 右 (0-843) *843	IMGWNR###	193
	画像の切り取り : 上 (0-639) *0	IMGWNT###	193
	画像の切り取り : 下 (0-639) *639	IMGWNB###	193
	画像の切り取り : 余白 (1-238) *0	IMGMAR###	193
	プロトコルなし(生データ)	IMGXFR0	193
	プロトコルなし (USB 初期設定)	IMGXFR2	193
	プロトコル (Hmodem 圧縮)	IMGXFR3	193
	プロトコル (Hmodem)	IMGXFR4	193
	すべてのピクセルを送信	IMGSUB1	194
	2 ピクセルごとに送信	IMGSUB2	194
	3 ピクセルごとに送信	IMGSUB3	194
	* 文書画像フィルタ 無効	IMGUSH0	194
	文書画像フィルタ 有効 (0-255)	IMGUSH###	194
	* ヒストグラムを送信しない	IMGHST0	195
	ヒストグラムを送信する	IMGHST1	195
画像サイズの互換性	VGA 解像度の強制	IMGVGA1	195
	* 元の画像解像度	IMGVGA0	195
署名の取り込み	最適化 有効	DECBND1	196
	* 最適化 無効	DECBND0	196
ユーティリティ			
コードID の追加すべての体系ヘテストコード ID を追加		PRECA2,BK2995C80!	202
ソフトウェアの改訂情報を表示		REVINF	202
テストメニュー	有効	202	202
	* 無効	202	202

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド 非数値入力を示す	ページ
プラグインアプリケーション	* 読み取りアプリアオン	PLGDCE1	203
	読み取りアプリアオフ	PLGDCE0	203
	* フォーマットアプリアオン	PLGFOE1	203
	フォーマットアプリアオフ	PLGFOE0	203
	アプリア一覧の表示	PLGINF	203
初期設定の再設定	カスタムデフォルトの削除	DEFOVR	205
	デフォルトの有効化	DEFAULT	205

Xenon 1950/1950h スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）: 高さ 長さ 幅 重量	165mm（6.5 インチ） 99mm（3.9 インチ） 64mm（2.5 インチ） 150g（5.3 オンス） 155g（5.5 オンス） 1950 H: Healthcare バージョン
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” 442nm, 552nm（白色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時 LED 波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） 520nm ± 18nm（緑色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
イメージサイズ	1280 x 800 ピクセル
スキュー角度	±65°
ピッチ角度（1Dバーコード）	±65°
ピッチ角度（2Dバーコード）	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー	400cm/ 秒（157インチ/秒）： 0.13mil UPC バーコード読み取り時）
印字コントラスト	グレードA（20% 以上）
電圧条件	4.4 – 5.5VDC（入力コネクタ）
電流引き込み（5VDC）	読み取り待機時 500mA, 2.5W
温度範囲動作時保存時	動作時：0°C - 50°C（32°F - 122°F） 保存時：-40°C - 70°C（-40°F - 158°F）
湿度	0 – 95%（結露無きこと）
耐落下	1.8m（6 フィート）からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
ESD 耐性	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV

Xenon 1952/1952h コードレススキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）: 高さ 長さ 幅 重量	165mm(6.5 インチ) 99mm(3.9 インチ) 64mm(2.5 インチ) 220g(7.8 オンス) 227g(8.0 オンス) 1952h: Healthcare バージョン
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” 442nm, 552nm（白色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時 LED 波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） 520nm ± 18nm（緑色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
レーザー光学電力	<1mW
イメージサイズ	1280 x 800 ピクセル
スキュー角度	±65°
ピッチ角度 (1D/バーコード)	±65°
ピッチ角度 (2D/バーコード)	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー	400cm/ 秒 (157インチ/秒): 0.13mil UPC バーコード読み取り時)
印字コントラスト	グレードA(20% 以上)
バッテリー 読み取り回数 想定動作時間 想定充電時間	リチウムイオン: 2400mAh(最小) 1 回の完全充電で 5 万回 14 時間 4.5 時間
無線 周波数 範囲	Bluetooth V4.2 2.4 – 2.5 GHz (ISM バンド) FH 方式 10m(標準)
温度範囲 動作時 保存時* バッテリーあり 保存時 バッテリーなし	0° C ~ 50° C -20° C ~ 35° C で90 日まで -20° C ~ 20° C で365 日まで -40° C ~ 70° C
湿度	0 – 95% (結露無きこと)
耐落下	23 C時 1.8m(6 フィート) からコンクリート面に 50 回落下に耐えること
耐振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV
電流引き込み (5VDC)	読み取り待機時 500mA, 2.5W

* 保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

Xenon 1952g-BF/1952h-BFスキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）: 高さ 長さ 幅 重量	165mm(6.5 インチ) 99mm(3.9 インチ) 64mm(2.5 インチ) 195g(6.9 オンス) 201g(7.1 オンス) 1952h-BF: Healthcare バージョン
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” 442nm, 552nm（白色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時 LED 波長 レーザー光学電力	624nm ± 18nm（赤色 LED） 520nm ± 18nm（緑色LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” <1mW
イメージサイズ	1280 x 800 ピクセル
スキュー角度	±65°
ピッチ角度（1D/バーコード）	±65°
ピッチ角度（2D/バーコード）	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー	400cm/ 秒（157インチ/秒）: 0.13mil UPC バーコード読み取り時
印字コントラスト	グレードA(20% 以上)
稼働時間 読み取り回数 想定動作時間	1秒の充電450スキャン 1分間に5回のスキャンで25分
無線 周波数 範囲	Bluetooth V4.2 2.4 – 2.5 GHz (ISM バンド) FH 方式 10m(標準)
温度範囲動作時保存時	動作時: 0°C - 50°C (32°F - 122°F) 保存時: -40°C - 70°C (-40°F - 158°F)
湿度	0 – 95% (結露無きこと)
耐落下	1m(3.3 フィート)からコンクリート面に 50 回落下に耐えること
耐振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV
電流引き込み（5VDC）	読み取り待機時 500mA, 2.5W

* 保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

CCB01-010BT/ CCB01-010BT-BF チャージャーコードレスベース製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）: 高さ 長さ 幅 重量	81.3mm（3.2 インチ） 131.8mm（3.2 インチ） 101.1mm（3.2 インチ） 6.3 oz (179g)
電圧	4.5 – 5.5V
電流引き込み ホスターミナルポート AUX（補助）電力ポート	500mA 1A
充電時間	5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 – 2.5 GHz (ISM バンド) FH 方式 Bluetooth V2.1 10m（標準） 1MBps まで
温度範囲： 動作時 充電中 保存時 バッテリなし	0° C ～50° C 5° C ～40° C -40° C ～70° C
湿度	0 – 95%（結露無きこと）
耐落下	1m（3.28 フィート）からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
耐振動	22 – 300Hz 5G ピークに耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV

CCB-H-01-010BT/ CCB-H-01-010BT-BF チャージャーコードレスベース製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）: 高さ 長さ 幅 重量	83mm（3.3 インチ） 231mm（9.1 インチ） 89mm（3.5 インチ） 9.2 oz (260g)
電圧	4.5 – 5.5V
電流引き込み ホストターミナルポート AUX（補助）電力ポート	500mA 1A
チャージ時間 CCB-H-01-010BT	フルチャージまで 120秒： 標準のUSB 30秒： 外部電源に接続されているUSB
チャージ時間 CCB-H-01-010BT-BF	フルチャージまで 25秒： 標準のUSB 15秒： 外部電源に接続されているUSB
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 – 2.5 GHz (ISM バンド) FH 方式 Bluetooth V4.2 10m（標準） 130bps まで
温度範囲： 動作時 充電中 保存時 バッテリなし	5° C ～40° C 5° C ～40° C -40° C ～70° C
湿度	0 – 95%（結露無きこと）
耐落下	1m（3.28 フィート）からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
耐振動	22 – 300Hz 5G ピークに耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV

読取深度 (DoFチャート)

1950g/1952g/1952g-BF スキャナ標準性能

焦点		SR (標準レンジ)		HD (高分解能)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
5 mil Code 39	mm	28	242	14	219
	in.	1.1	9.5	0.6	8.6
13 mil UPC	mm	0	490	0	368
	in.	0	19.3	0	14.5
20 mil Code 39	mm	4	822	6	604
	in.	0.1	32.4	0.2	23.8
6.7 mil PDF417	mm	34	220	17	211
	in.	1.4	8.7	1.4	8.3
10 mil Data Matrix	mm	29	245	12	211
	in.	1.1	9.7	1.1	8.3
20 mil QR Code	mm	0	438	0	331
	in.	0	17.2	0	13
Resolution (1D)		3 mil (.076mm)		2.5 mil (.064mm)	
Resolution (PDF-417)		4 mil (.102mm)		3 mil (.076mm)	
Resolution (QR/DM)		6 mil (.152mm)		5 mil (.127mm)	

1950g/1952g/1952g-BF スキャナ保証性能

焦点		SR (標準レンジ)		HD (高分解能)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
5 mil Code 39	mm	37	219	21	206
	in.	1.5	8.6	0.8	8.1
13 mil UPC	mm	10	419	10	328
	in.	0.4	16.5	0.4	12.9
20 mil Code 39	mm	13	609	14	526
	in.	0.5	24	0.6	20.7
6.7 mil PDF417	mm	46	205	20	200
	in.	1.8	8.1	0.8	7.9
10 mil Data Matrix	mm	44	227	18	195
	in.	1.7	8.9	0.7	7.7
20 mil QR Code	mm	21	351	23	290
	in.	0.8	13.8	0.9	11.4

1950h/1952h/1952h-BF スキャナ標準性能

焦点		SR（標準レンジ）		HD（高分解能）	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
5 mil Code 39	mm	28	253	16	219
	in.	1.1	10	0.6	8.6
13 mil UPC	mm	0	495	0	366
	in.	0	19.5	0	14.4
20 mil Code 39	mm	3	829	4	620
	in.	0.1	32.6	0.2	24.4
6.7 mil PDF417	mm	34	221	16	212
	in.	1.3	8.7	0.6	8.3
10 mil Data Matrix	mm	27	249	11	214
	in.	1.1	9.8	0.4	8.4
20 mil QR Code	mm	0	453	0	328
	in.	0	17.8	0	12.9
Resolution (1D)		3 mil (.076mm)		2.5 mil (.064mm)	
Resolution (PDF-47)		4 mil (.102mm)		3 mil (.076mm)	
Resolution (QR/DM)		6 mil (.152mm)		5 mil/4 mil (0.127mm)/ (.102mm)	

1950h/1952h/1952h-BF スキャナ保証性能

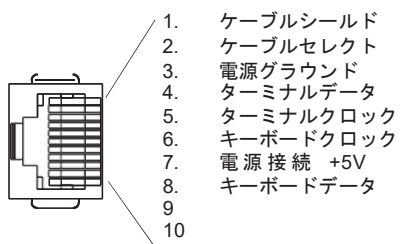
焦点		SR（標準レンジ）		HD（高分解能）	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
5 mil Code 39	mm	38	233	22	201
	in.	1.5	9.2	0.9	7.9
13 mil UPC	mm	10	416	10	322
	in.	0.4	16.4	0.4	12.7
20 mil Code 39	mm	13	602	14	560
	in.	0.5	23.7	0.6	20.7
6.7 mil PDF417	mm	49	208	24	200
	in.	1.9	8.2	0.9	7.9
10 mil Data Matrix	mm	46	233	18	194
	in.	1.8	9.2	0.7	7.6
20 mil QR Code	mm	15	373	13	259
	in.	0.6	14.7	0.5	10.2

標準ケーブルのピン配

注意：ピンの配列はハネウエルのレガシー製品と互換性がありません。不適切なピン配列ケーブルの使用は機器に損傷を与える可能性があります。メーカー提供のものではないケーブルの使用による損傷は保証対象となりません。

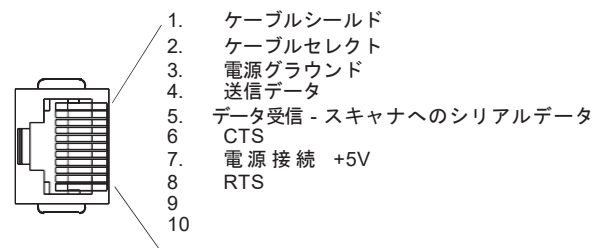
キーボードウェッジ

10 ピンのRJ41 モジュラープラグコードレスペースに接続



シリアル出力

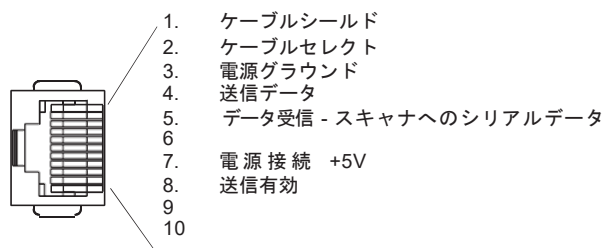
10 ピンのRJ41 モジュラープラグコードレスペースに接続



RS485 アウトプット

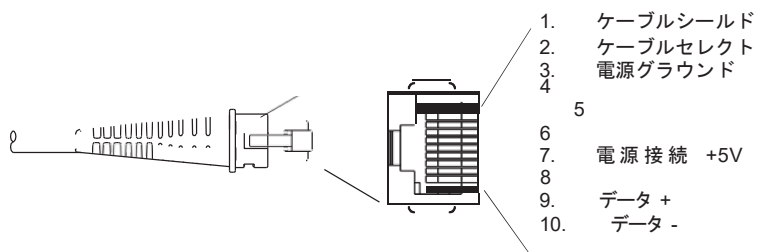
10 ピンのRJ41 モジュラープラグコードレスペースに接続

注意：RS485 信号変換はケーブルで行われます。



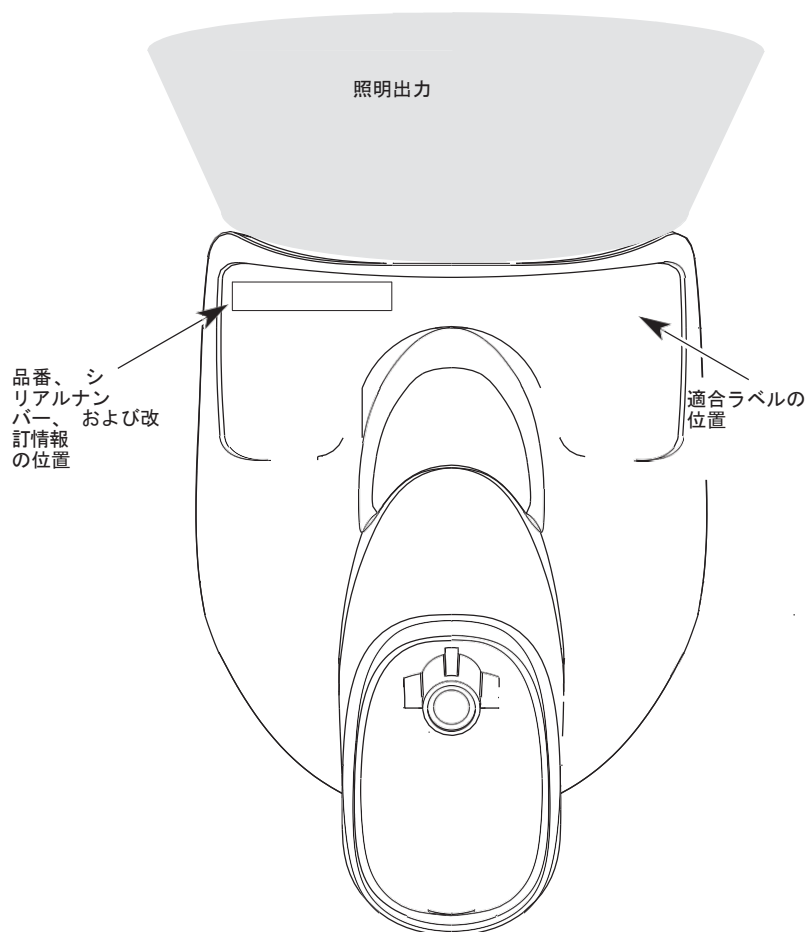
USB

10 ピンのモジュラープラグコードレスベースに接続

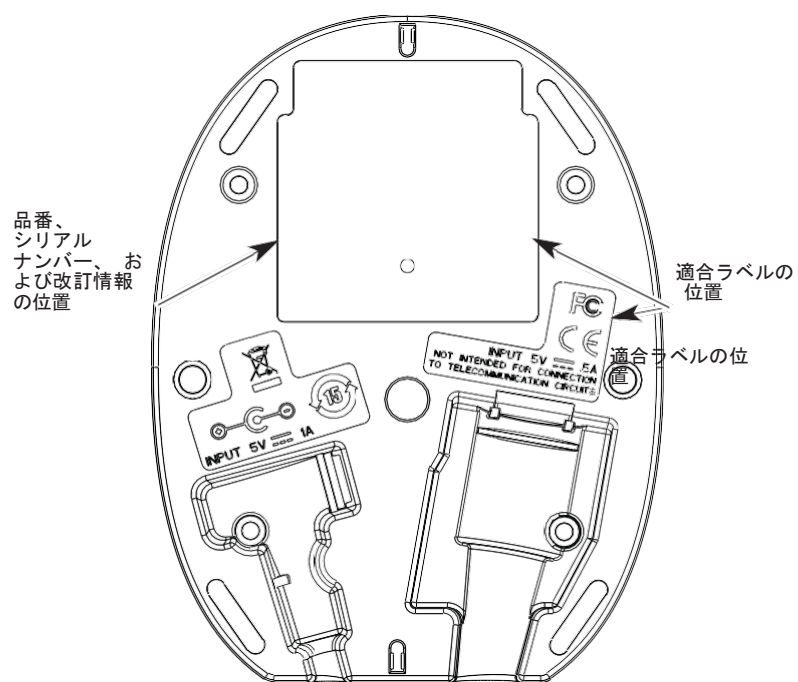


必要な安全ラベル

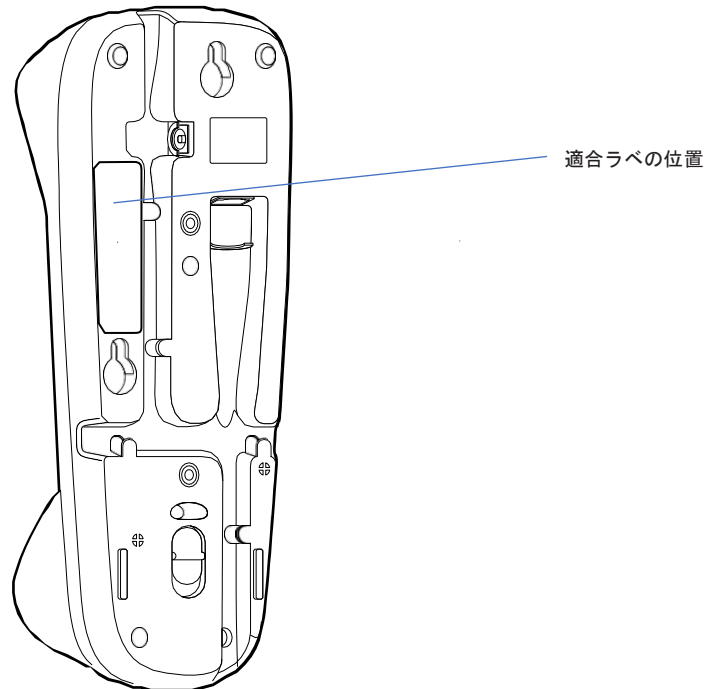
Xenon 1950/1950h/1952/1952h スキャナ



CCB01-010BT/CCB01-010BT/BF コードレスベース



CCB-H-010BT/CCB-H-010BT-BF Base



修理

修理、ファームウェアのアップグレードは、かならず正規のサービスセンターで受けてください。

保守

本機器は、最低限の手入れで確実に効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いスキャナの動作を確保できます。

機器の清掃

スキャナまたはコードレススペースの筐体が汚れている場合、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。



警告

スキャナを水に浸けないでください。スキャナのハウジングに耐水性はありません。

研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。スキャナの読み取り窓に傷をつける事があります。アセトン等の溶剤をスキャナのハウジング、読み取り窓に使用しないでください。スキャナにダメージを与える可能性があります。

ウィンドウの清掃

スキャナのウィンドウの汚れが、スキャナの読み取り性能を低下させる原因になる場合があります。スキャナのウィンドウが明らかに汚れている、またはスキャナが上手く動作していない場合は、以下の「ヘルスケアハウジングについて」に書かれている洗浄剤を使用してウィンドウを清掃してください。

ヘルスケアハウジング（殺菌洗浄可能ハウジング）について

Xenon シリーズには殺菌洗浄可能ハウジングオプションがあり、医療の現場で使用されている強力な化学物質に耐えるよう、外部のプラスチックハウジングを備えています。化学物質がハウジングをすり抜けて侵入しないよう、プラスチックが透明になっています。

重要！ 下記は、スキャナの殺菌洗浄可能ハウジングの安全洗浄を試験・確認された洗剤の一覧です。このハウジングの洗浄を認められた洗剤は、下記一覧のみとなります。下記に記された洗剤以外の洗剤を使用することによってスキャナが何らかのダメージを負った場合、そのダメージは保証対象外となりますのでご注意ください。

- Sani-Cloth® HB wipes
- Sani-Cloth® Plus wipes
- Super Sani-Cloth® wipes
- Isopropyl Alcohol wipes (70%)
- CaviWipes™
- Virex® 256
- 409® Glass and Surface Cleaner
- Windex® Blue
- Clorox® Bleach – 10%
- Gentle dish soap and water

ケーブルとコネクタの点検

傷みやその他損傷の痕跡が無いかインターフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、スキャナの動作を妨げることがあります。ケーブル交換については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

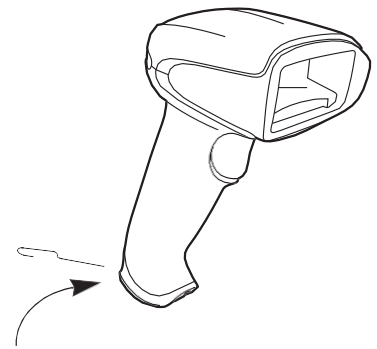
スキャナのインターフェースケーブルの交換

標準のインターフェースケーブルが 10 ピンのモジュラコネクタとともに付属しています。適切に設置された場合、コネクタはフレキシブルリテンションタブによってスキャナのハンドルに収まります。インターフェースケーブルは現場で交換できるように設計されています。

- ・ 交換用ケーブルはハネウエル社もしくは正規の販売店よりお求めください。
- ・ 交換用ケーブルご注文の際は、元々のインターフェースケーブルのケーブル部品番号をご指定ください。

Xenon スキャナのインターフェースケーブルの交換

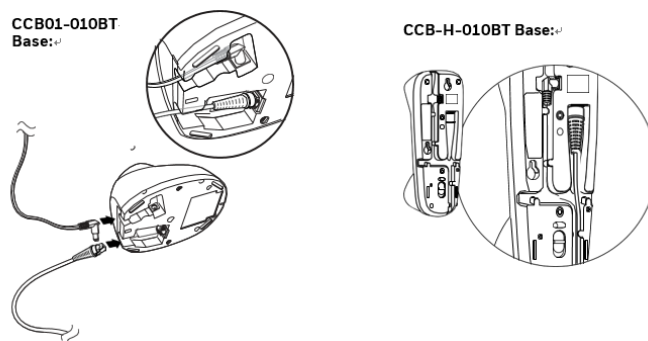
1. ホストシステムの電源を無効にします。
2. スキャナのケーブルをターミナルまたはコンピュータから外します。
3. スキャナのハンドルの裏側にある小さな穴を確認します。これがケーブルリリースです。
4. ペーパークリップの片方の先端をまっすぐにします。
5. 真っ直ぐにしたペーパークリップの先端を小さな穴に差し込んで押します。これによりリテンションタブを押し、コネクタのロックが解除されます。ペーパークリップを押しのままコネクタを引き抜き、その後クリップをはずします。
6. 新しいケーブルと交換します。
コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。



コードレスシステムのケーブルおよびバッテリーの交換

コードレスベースユニットのインターフェースケーブルの交換

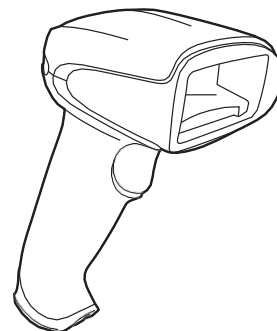
1. ホストシステムの電源をオフにします。
2. コードレスベースユニットのケーブルをホストデバイスから外してください。
3. コードレスベースユニットを裏返しにしてください。
4. ケーブルコネクタのリリースクリップを押しながら、ケーブルをゆっくりと引き抜いてください。



5. 新しいケーブルと交換します。コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。

Xenon スキャナバッテリーの交換

1. スキャナのエンドキャップ（持ち手端部分）にあるネジを回し緩めてください。
2. エンドキャップ外し、バッテリーを持ち手部分からゆっくり引く抜いてください。
3. 新しいバッテリーを同じ箇所に差し込んでください。
4. エンドキャップをかぶせ、スクリューを締めて下さい。



スキャナのトラブルシューティング

電源を入れると、スキャナはその都度セルフテストを自動的に実行します。お使いのスキャナが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？レーザーエイマーがオンになっていますか？

レーザーエイマーが示されない場合は、以下の点をチェックしてください。

- ケーブルが正しく接続されているか。
- ホストシステムの電源がオンになっているか。（外部電源を使用しない場合。）
- ボタンが動作するか。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、スキャナウィンドウが汚れていないか、またシンボルについて以下の点をチェックしてください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- シンボルがスキャナ、またはスキャナが接続されているデコーダーで有効になっているか。

バーコードが表示されても入力されませんか？

バーコードはホスト機器で正常に表示されていますが、入力するためにはまだキーを押す必要があります。（Enter/Return キーや Tab キーなど。）

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージはバーコードデータと必要なキー【CR】などを出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。

スキャナがバーコードを間違って読み取っていませんか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- スキャナが適切なターミナルインターフェース用に設定されていない可能性があります。
例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ&プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでスキャナを設定してください。[インターフェースの設定](#) 2-1 ページを参照してください。

- スキャナは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。 例
例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してイメージを再設定してください。[8 章](#)を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。
お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（8 章を参照。）
2. それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、**すべてのシンボル**を読み取ってください。

スキャナで設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、**初期設定の再設定** ページを参照してください。

コードレスシステムのトラブルシューティング

コードレスベースユニットのトラブルシューティング

注意：スキャナならびにコードレスベースユニットの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポートセクションにアクセスください。

お使いのコードレスベースが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

赤色 LED ライトがつかますか。

赤色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- 電源ケーブルが正しく接続されており、電源に電気が投入されているか。
- ホストシステムの電源がオンになっている。（外部電源を使用しない場合。）

緑色 LED ライトがつかますか。

緑色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- スキャナがコードレスベースにきちんと置かれているか。
- 外部電源またはホストデバイスから 12V の電力が供給されているか。
- 充電モードが有効になっているか。
- バッテリーに異常がないか、重度の充電不足ではないか。この場合は、スキャナの許容レベルまでバッテリートリクル充電を行い、その後、一般の充電サイクルに転じます。

コードレススキャナのトラブルシューティング

注意：スキャナのバッテリーが充電されていることをご確認ください。

スキャナやコードレスベースの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポートセクションにアクセスください。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- スキャナと接続されているコードレスベースもしくはアクセスポイントが有効か。

バーコードが表示されたものの、入力されませんか？

ホストシステムによっては、バーコードデータを入力するためにキーを押す必要がある場合があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージはバーコードデータと必要なキー〔CR〕などを出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。

スキャナがバーコードを間違えて読み取っていませんか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- コードレスベースまたはアクセスポイントが適切なターミナルインターフェース用に設定されていない可能性があります。
例えば、
「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ& プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでコードレスベースまたはアクセスポイントを設定してください。

- コードレスベースまたはアクセスポイントは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。例えば「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してコードレスベースまたはアクセスポイントを再設定してください。[8 章](#)を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

- 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。

お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（[8 章](#)を参照。）

それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、[すべてのシンボル](#)を読み取ってください。

テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、以下の方法でご連絡ください。

サポート情報：www.hsmknowledgebase.com

サポート情報には多くの解決方法がごさいます。サポート情報で解決しない場合は、テクニカルサポート（以下参照）で問題のレポートまたは質問を報告してください。

テクニカルサポートポータル：www.hsmsupportportal.com

テクニカルサポートポータルは問題を報告するだけでなく、サポート情報から技術問題を検索して解決方法を提供します。ポータルにて、オンラインで質問の提出や追跡、ファイルの送受信が可能です。

ウェブフォーム：www.hsmcontactsupport.com

オンラインサポートフォームに入力することで、テクニカルサポートチームに直接コンタクトできます。お客様の情報と質問や問題の詳細を入力してください。

拠点情報：www.honeywellaidc.com/locations

最新の問い合わせ先は、上記のウェブサイトを確認してください。

製品のサービスと修理

Honeywell 社は、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証期間内または保証期間後の修理を受けるためには www.honeywellaidc.com から **Support > Contact Service and Repair** に進んでいただき、ご使用の地域での Return Material Authorization 番号(RMA #) を入手する方法を確認してください。製品を返送する前に、この手順に従ってください。

条件付き保証

Honeywell International Inc.（以下“ハネウェル社”）は、出荷時にはその製品とアクセサリの材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるの公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはハネウェル社の製品であっても対象外となります。（i）設置または使用方法が不適切。（ii）正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または（i）以下の結果損傷した場合：（A）お客様または第三者が変更や改造を行った。（B）インターフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。（C）静電気または静電気放電。（D）指定の動作パラメータを超える条件で使用した。（E）ハネウェル社または正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、ハネウェル社の出荷時点から、ご購入時に製品に対して公式に示した期間【保証期間】とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にハネウェル社の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA（Return Material Authorization）が無ければ、ハネウェル社はどんな製品も受け付けません。RMA は、ハネウェル社に連絡すれば取得できます。保証期間内にハネウェル社または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、ハネウェル社はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。ただし、ハネウェル社への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるハネウェル社の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、ハネウェル社は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでご購入いただいた製品に関して生じたハネウェル社の賠償額は（そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく）その製品のためにハネウェル社にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性について知らされていた場合であっても有効です。ハネウェル社が知らされていた場合であってもまったく有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。Youjie 社提供以外の周辺機器を使用して故障した場合、保証の対象外です。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。ハネウェル社は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

Xenon 1950, 1950h スキャナの保証期間は、5 年とします。

Xenon 1952 および 1952h スキャナと CCB01-010BT コードレスベースユニットの保証期間は、3 年とします。

Xenon のバッテリーの保証期間は、1 年とします。

付録チャート

シンボルチャート

注意：「m」は、AIM モディファイヤのキャラクタを示します。AIM モディファイヤキャラクタの詳細については、*International Technical Specification* の *Symbology Identifiers* を参照してください。

特定のシンボルに対するプリフィックス／サフィックスの入力は、汎用 (All Symbologies, 99) 入力に優先します。

コードID とAIM ID の使用方法については、[データ編集 6-1](#) ページと[データフォーマット 7-1](#) ページを参照してください。

リニアシンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
All Symbologies (全シンボル)				99
Codabar(NW7)	JFm	0-1	a	61
Code 11	JH3		h	68
Code 128	JCm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	JX0		<	3C
Code 39 (Full ASCII モード対応)	JAm	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	JL2		T	54
Code 93 and 93i	JGm	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN	JEm	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (Bookland EAN を含む)	JE0		d	64
EAN-13 with Add-On (アドオン付き EAN-13)	JE3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code (拡張クーポンコード付き EAN-13)	JE3		d	64
EAN-8	JE4		D	44
EAN-8 with Add-On (アドオン付き EAN-13)	JE3		D	44
GS1				
GS1 DataBar (GS1 データバー)	Jem	0	y	79
GS1 Limited (GS1 限定型)	Jem		{	7B
GS1 Expanded (GS1 データバー拡張型)	Jem		}	7D
GS1-128	JC1		l	49
2 of 5				
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
Interleaved 2 of 5	JIm	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	JX0		m	6D
NEC 2 of 5	JX0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	JRm	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	JS0		f	66
MSI	JMm	0, 1	g	67
Telepen	JBm		t	74

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	<i>JE0</i>		<i>c</i>	63
UPC-A with Add-On (アドオン付き UPC-A)	<i>JE3</i>		<i>c</i>	63
UPC-A with Extended Coupon Code (拡張コード付き UPC-A)	<i>JE3</i>		<i>c</i>	63
UPC-E	<i>JE0</i>		<i>E</i>	45
UPC-E with Add-On (アドオン付き UPC-E)	<i>JE3</i>		<i>E</i>	45
UPC-E1	<i>JX0</i>		<i>E</i>	45

Honeywell Code ID 追加				5C80
AIM Code ID 追加				5C81
Backslash 追加				5C5C
Batch mode quantity			5	35

2次元シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
All Symbolologies (全シンボル)				99
Aztec Code	<i>jzm</i>	0-9, A-C	<i>z</i>	7A
Chinese Sensible Code (漢信コード)	<i>JX0</i>		<i>H</i>	48
Codablock A	<i>JO6</i>	0, 1, 4, 5, 6	<i>V</i>	56
Codablock F	<i>JOm</i>	0, 1, 4, 5, 6	<i>q</i>	71
Code 49	<i>JTm</i>	0, 1, 2, 4	<i>l</i>	6C
Data Matrix	<i>jdm</i>	0-6	<i>w</i>	77
Dot Code	<i>JO0</i>		<i>.</i>	2E
GS1	<i>jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
GS1 Composite (GS1 コンポジット)	<i>jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
GS1 Ominidirectional (GS1 データバー標準型)	<i>jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
MaxiCode	<i>JUm</i>	0-3	<i>x</i>	78
PDF417	<i>JLm</i>	0-2	<i>r</i>	72
MicroPDF417	<i>JLm</i>	0-5	<i>R</i>	52
QR Code	<i>JQm</i>	0-6	<i>s</i>	73
Micro QR コード	<i>JQm</i>		<i>s</i>	73

郵便シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
All Symbolologies (全シンボル)				99

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
Australian Post (オーストラリア郵便)	JX0		A	41
British Post (英国郵便)	JX0		B	42
Canadian Post (カナダ郵便)	JX0		C	43
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
InfoMail	JX0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	JX0		M	4D
Japanese Post (日本郵便)	JX0		J	4A
KIX (Netherlands) Post (オランダ郵便)	JX0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)	JX0		?	3F
Planet Code	JX0		L	4C
Postal-4i	JX0		N	4E
Postnet	JX0		P	50

ASCII 変換チャート (コードページ 1252)

キーボードアプリケーションで、ASCII コントロールキャラクタは以下のように 3 つの異なる方法で表現されます。CTRL+X ファンクションキーはOS とアプリケーションによって異なります。以下のテーブルは Microsoft で使用される共通の機能のリストです。この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定によって異なる場合があります。

印刷不可能な ASCII コントロール キャラクタ			キーボード コントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	*ントロール + X モードオフ (KBDCASO)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+ @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL+ A	Select all
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+ B	Bold
3	03	ETX	ALT Make	CTRL+ C	Copy
4	04	EOT	ALT Break	CTRL+ D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL+ E	Center
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL+ F	Find
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL+ G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL+ H	History
9	09	HT	Tab	CTRL+ I	Italic
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL+ J	Justify
11	0B	VT	Tab	CTRL+ K	hyperlink
12	0C	FF	Delete	CTRL+ L	list, left align
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL+ M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+ N	New
15	0F	SI	ESC	CTRL+ O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+ P	Print
17	11	DC1	Home	CTRL+ Q	Quit
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+ R	
19	13	DC3	Backspace	CTRL+ S	Save

印刷不可能な ASCII コントロール キャラクタ			キーボード コントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	*ントロール + X モードオフ (KBDCASO)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
20	14	DC4	Back Tab	CTRL+ T	
21	15	NAK	F12	CTRL+ U	
22	16	SYN	F1	CTRL+ V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+ W	
24	18	CAN	F3	CTRL+ X	
25	19	EM	F4	CTRL+ Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+ Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+ [	
28	1C	FS	F7	CTRL+ \	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+ ^	
31	1F	US	F10	CTRL+ -	
127	7F	n	NP Enter		

下位 ASCII R リファレンステーブル

注意 : Windows コードページ 1252 および下位 ASCII は同じキャラクタを使用します。

印刷可能なキャラクタ								
DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z

印刷可能なキャラクタ (Continued)								
DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	n

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
128	80	€	Ç	up arrow ↑	0x48
129	81		ü	down arrow ↓	0x50
130	82	,	é	right arrow →	0x4B
131	83	f	â	left arrow ←	0x4D
132	84	„	ä	Insert	0x52
133	85	...	à	Delete	0x53
134	86	†	á	Home	0x47
135	87	‡	ç	End	0x4F
136	88	^	ê	Page Up	0x49
137	89	%	ë	Page Down	0x51
138	8A	Š	è	Right ALT	0x38
139	8B	‹	ï	Right CTRL	0x1D
140	8C	Œ	î	Reserved	n/a
141	8D		ì	Reserved	n/a
142	8E	Ž	Ä	Numeric Keypad Enter	0x1C
143	8F		Å	Numeric Keypad /	0x35
144	90		É	F1	0x3B
145	91	‘	æ	F2	0x3C
146	92	’	Æ	F3	0x3D
147	93	“	ô	F4	0x3E
148	94	”	ö	F5	0x3F
149	95	•	ò	F6	0x40
150	96	—	û	F7	0x41
151	97	—	ù	F8	0x42
152	98	~	ÿ	F9	0x43
153	99	™	Ö	F10	0x44
154	9A	š	Ü	F11	0x57
155	9B	›	ø	F12	0x58
156	9C	œ	£	Numeric Keypad +	0x4E
157	9D		¥	Numeric Keypad -	0x4A
158	9E	ž	Þ	Numeric Keypad *	0x37
159	9F	ÿ	f	Caps Lock	0x3A
160	A0		á	Num Lock	0x45
161	A1	í	í	Left Alt	0x38
162	A2	ç	ó	Left Ctrl	0x1D
163	A3	£	ú	Left Shift	0x2A
164	A4	¤	ñ	Right Shift	0x36
165	A5	¥	Ñ	Print Screen	n/a
166	A6	¡	ª	Tab	0x0F
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F
168	A8	¨	¿	Enter	0x1C
169	A9	©	—	Esc	0x01

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
170	AA	ª	¬	Alt Make	0x36
171	AB	«	½	Alt Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		ı	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	Alt Sequence with 1 Character	0x36
175	AF	—	»	Ctrl Sequence with 1 Character	0x1D
176	B0	°			
177	B1	±			
178	B2	²	車		
179	B3	³			
180	B4	´	イ		
181	B5	µ			
182	B6	¶	¶		
183	B7	·	11		
184	B8	¸	『		
185	B9	¹			
186	BA	º			
187	BB	»	官		
188	BC	¼	』		
189	BD	½	』		
190	BE	¾	d		
191	BF	¿	「		
192	C0	À	L		
193	C1	Á	J		
194	C2	Â	「		
195	C3	Ã	ト		
196	C4	Ä			
197	C5	Å	í		
198	C6	Æ			
199	C7	Ç	ト		
200	C8	È	住		
201	C9	É	「		
202	CA	Ê	L		
203	CB	Ë	「		
204	CC	Ì			
205	CD	Í			
206	CE	Î	「		
207	CF	Ï	ム		
208	D0	Ð	JL		
209	D1	Ñ	T		
210	D2	Ò	τ		
211	D3	Ó	比		
212	D4	Ô	b		
213	D5	Õ	「		
214	D6	Ö	『		
215	D7	×	+		
216	D8	Ø	+		
217	D9	Ù	J		
218	DA	Ú	「		
219	DB	Û	.		
220	DC	Ü	.		
221	DD	Ý			

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
222	DE	þ			
223	DF	ß	.		
224	E0	à	α		
225	E1	á	β		
226	E2	â	ƒ		
227	E3	ã	TT		
228	E4	ä	L		
229	E5	å	°		
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	‡		
232	E8	è	φ		
233	E9	é	°		
234	EA	ê	O		
235	EB	ë	ð		
236	EC	ì	°		
237	ED	í	中		
238	EE	î	£		
239	EF	ï	n		
240	F0	ð			
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	}		
243	F3	ó	<		
244	F4	ô			
245	F5	õ			
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	~		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù			
250	FA	ú	.		
251	FB	û	. {		
252	FC	ü	n		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	.		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。

コードページ選択方法／国	標準	国別キーボード	Honeywell コードページオプション
米国 (standard ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2 (デフォルト)
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
デフォルトの “ 自動国キャラクタ置換 ” は以下の Code128、Code 39、Code 93. 用 Honeywell コードページオプションを選択します。			
米国	ISO/IEC 646-06	0	1

コードページ選択方法／ 国	標準	国別キーボード	Honeywell コード ページオプション
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC 646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド (拡張 Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

Dec			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
Hex			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	-
CN	92	99	#	¥	@	[	\	]	^	`	{		}	-
GB	7	87	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	µ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	-
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	..
図	ニュー ウェル サー	図	Honeywell ページ コード ISO / IEC 646 国キャラクタ変換											

キーボードマップ

[illegible]

104 Key U.S. Style Keyboard

[illegible]

105 Key European Style Keyboard

サンプルシンボル

UPC-A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

EAN-13



9 780330 290951

Code 128



Code 128

Code 39



BC321

Codabar(NW7)



A13579B

Code 93



123456-98

Code 2 of 5



123456

Matrix 2 of 5



6543210

RSS-14



(01)00123456789012

サンプルシンボル

PDF417



Car Registration

Code 49



1234567890

Postnet



Zip Code

Data Matrix



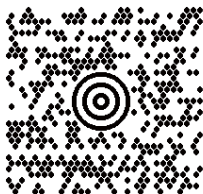
Test Symbol

QR Code



Numbers

MaxiCode



Test Message

Aztec



Package Label

Micro PDF417



Test Message

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9

プログラミングチャート



KAK
A



KCK
C



KEK
E



MNUSAV.
Save



RESET_
リセット



KBK
B



KDK
D



KFK
F



MNUABT.
Discard (破棄)

注意：文字または数字（Save を読み取る前に）をスキャンしエラーした場合は、Discard(破棄) を読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、Save（保存）を読み取ってください。

日本ハネウェル株式会社
ACS/S&PS事業部
センシング&プロダクティビティソリューションズ
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー20階
電話: 03-6730-7344
FAX: 03-6730-7224
MAIL: HSMJapanInquiry@Honeywell.com
WEB: www.honeywellaidc.com/ja-jp